

1. 施設の概要

(1) 文化センター

施設の名	北本市文化センター(北本市中央公民館・北本市立中央図書館)
施設の所在地	北本市本町1丁目2番地1
起工	昭和57年6月22日
竣工	昭和59年2月10日
構造	鉄筋コンクリート造り(一部鉄骨鉄筋コンクリート)
規模	地下1階、地上4階 敷地面積 10,633.46㎡ 建築面積 3,478.18㎡ 延べ面積 7,686.26㎡ (中央公民館 6,307.45㎡)(中央図書館 1,224.99㎡) (レストラン 153.82㎡)

(2) 中央公民館

ホール(1階・2階)、楽屋1、楽屋2、リハーサル室、楽屋控室、シャワー室、主催者控室、事務室、エントランスホール、ホワイエ、研修室(第1、第2、第3)、IT室、展示ホール、プラネタリウム、創作室、会議室(第1、第2、第3、第4、第5)和室、練習室、児童室

(3) 中央図書館

一般開架室、閉架書庫、朗読集会室、事務室、児童図書コーナー、学習コーナー、新聞・雑誌コーナー、えほんコーナー
--

2. 指定管理者

名称	acTrC 北本ネットワーク(あくとーくきたもとねっとわーく)
指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日まで
代表企業	株式会社 東急コミュニティー 所在地 東京都世田谷区用賀四丁目10番地1
構成企業	株式会社 図書館流通センター 所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号
構成企業	アクティオ株式会社 所在地 東京都目黒区東山1丁目5番4号

3) 中央図書館 (令和4年度)

(1) 目標達成状況

① 令和4年度来館者数

年度月来人数	今年度累計来館者数	達成率	前年度累計来館者数	前年比
317,000人	195,542人	61.7%	175,388人	111.5%

※来館者数は機械式カウンターで計測しているため若干の変動あり

(2) 貸出サービス

① 貸出総計

	個人利用	団体利用	合計	前年度	前年比
利用者数	77,284人	80人	77,364人	76,933人	100.6%
貸出点数	231,011点	572点	231,583点	233,099点	99.3%

② 個人市内利用

*学習セ分室・学習センター分室

	中央図書館	南部分室	西部分室	学習セ分室	合計	前年度	前年比	
開館日数	341日	99日	99日	99日	341日	341日	100.0%	
利用者数	65,652人	1,694人	303人	1,224人	68,873人	68,730人	100.2%	
貸出点数	一般書	144,742	3,185	636	2,299	150,862	152,015	99.2%
	児童書	12,005	245	184	471	12,905	13,990	92.2%
	文庫・新書	21,755	725	21	277	22,778	22,055	103.3%
	年鑑・白書	6	0	0	0	6	25	24.0%
	雑誌	11,746	152	21	164	12,083	11,398	106.9%
	紙芝居	51	4	10	0	65	37	175.7%
	CD・カセット	3,888	18	3	0	3,909	5,299	73.8%
	テープ・デジタル図書	1,232	0	0	0	1,232	1,128	109.2%
合計	195,425	4,929	875	3,211	203,840	205,847	99.0%	
登録者数	384人	5人	3人	2人	394人	400人	98.5%	
現登録者数	12,693人	117人	48人	86人	12,944人	12,530人	103.3%	

③ 個人広域利用(桶川市・鴻巣市)

	中央図書館			前年度	前年比	
	鴻巣市	桶川市	合計			
開館日数	341日	341日	341日	341日	100.0%	
利用者数	6,274人	2,137人	8,411人	8,121人	103.6%	
貸出点数	一般書	14,115	4,981	19,096	18,525	103.1%
	児童書	1,342	494	1,836	1,901	96.6%
	文庫・新書	1,601	992	2,593	2,728	95.1%
	年鑑・白書	0	0	0	1	前年より-1
	雑誌	2,030	511	2,541	2,384	106.6%
	紙芝居	4	3	7	5	140.0%
	CD・カセット	413	543	956	931	102.7%
	テープ・デジタル図書	142	0	142	142	100.0%
合計	19,647	7,524	27,171	26,617	102.1%	
登録者数	26人	22人	48人	45人	106.7%	
現登録者数	1,316人	488人	1,804人	1,734人	104.0%	

④ 団体貸出（中央図書館）

		中央図書館	前年度	前年比
利用者数		80人	82人	97.6%
貸出点数	一般書	192	215	89.3%
	児童書	368	404	91.1%
	文庫・新書	5	14	35.7%
	年鑑・白書	0	0	-
	雑誌	7	1	700.0%
	紙芝居	0	1	前年より-1
	CD・カセット	0	0	-
	テープ・ディジー図書	0	0	-
合計	572	635	90.1%	
登録者数	1人	1人	100.0%	
貸券数	48人	47人	102.1%	

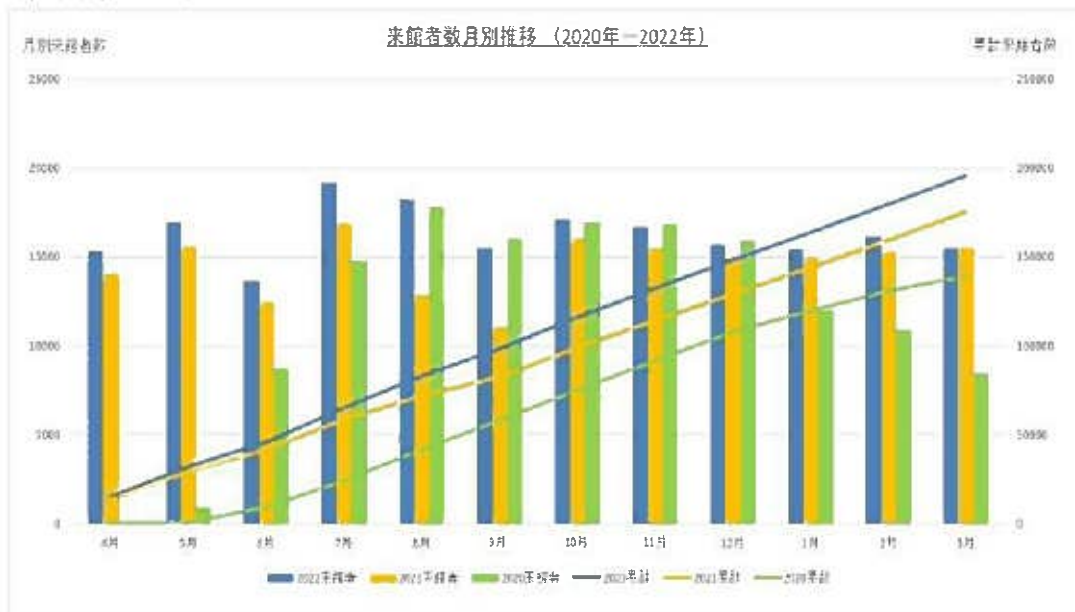
⑤ 年別対比

上段：令和4年度

下段：令和3年度

月	開館日数	来館者数(人)					利用者数(人)					貸出点数(点)				
		中央	東部	西部	学セ	合計	中央	東部	西部	学セ	合計	中央	東部	西部	学セ	合計
4	29	14,891	240	31	172	15,334	6,229	159	22	138	6,548	18,732	390	66	381	19,569
	29	13,722	178	28	144	14,072	6,176	120	23	101	6,420	18,734	281	48	236	19,299
5	30	16,548	229	24	153	16,954	6,439	174	23	121	6,757	19,578	434	71	326	20,409
	30	13,217	217	19	142	13,595	6,563	154	14	110	6,841	20,306	401	47	294	20,743
6	23	13,377	144	37	118	13,676	5,192	117	26	98	5,433	16,016	357	83	296	16,752
	23	12,167	184	17	115	12,483	5,182	125	14	91	5,412	16,145	303	38	265	16,751
7	30	18,792	213	44	144	19,193	6,713	149	27	95	6,984	20,038	373	78	234	20,723
	30	16,500	232	46	146	16,922	6,250	162	23	106	6,541	19,336	411	61	328	19,836
8	30	17,833	208	40	152	18,233	6,587	138	23	114	6,862	19,829	376	57	283	20,545
	30	12,551	207	38	119	12,898	6,396	129	20	91	6,596	19,646	310	62	249	20,267
9	28	15,229	155	26	109	15,519	6,190	112	21	90	6,413	18,431	276	82	230	19,019
	28	10,711	187	28	139	11,055	6,045	124	16	115	6,270	18,298	277	38	309	18,922
10	30	16,738	212	33	130	17,113	6,417	145	30	102	6,694	19,345	348	99	266	20,058
	30	15,673	193	28	129	16,023	6,423	143	20	107	6,693	18,988	242	64	310	19,705
11	29	16,291	227	31	142	16,691	6,184	143	24	105	6,456	18,524	339	54	253	19,170
	29	15,142	193	26	140	15,501	6,122	127	20	109	6,378	18,531	308	66	307	19,212
12	29	15,416	160	24	110	15,710	6,052	118	20	84	6,274	18,442	296	53	201	18,992
	29	14,674	193	33	129	15,029	6,008	124	27	105	6,264	18,449	315	85	302	19,151
1	27	15,089	194	32	136	15,451	5,674	134	27	94	5,929	17,310	389	80	264	18,043
	27	14,558	241	29	153	14,981	6,056	159	18	126	6,359	18,685	419	66	346	19,516
2	27	15,813	195	26	134	16,168	6,058	147	23	98	6,327	18,025	365	60	254	18,704
	27	14,875	225	40	160	15,300	6,056	150	26	131	6,363	18,955	381	79	313	19,128
3	29	15,111	223	47	119	15,500	6,408	158	37	84	6,687	18,898	386	92	223	19,599
	29	15,042	265	32	160	15,499	6,566	175	24	121	6,886	19,769	427	71	306	20,564
計	341	191,128	2,400	395	1,619	195,542	74,148	1,694	303	1,224	77,964	223,168	4,329	875	3,211	231,583
	341	170,862	2,506	354	1,676	175,388	73,693	1,692	245	1,303	76,933	224,833	4,176	726	3,665	233,099

● 来館者数 グラフ



●利用者数 グラフ



●貸出点数 グラフ

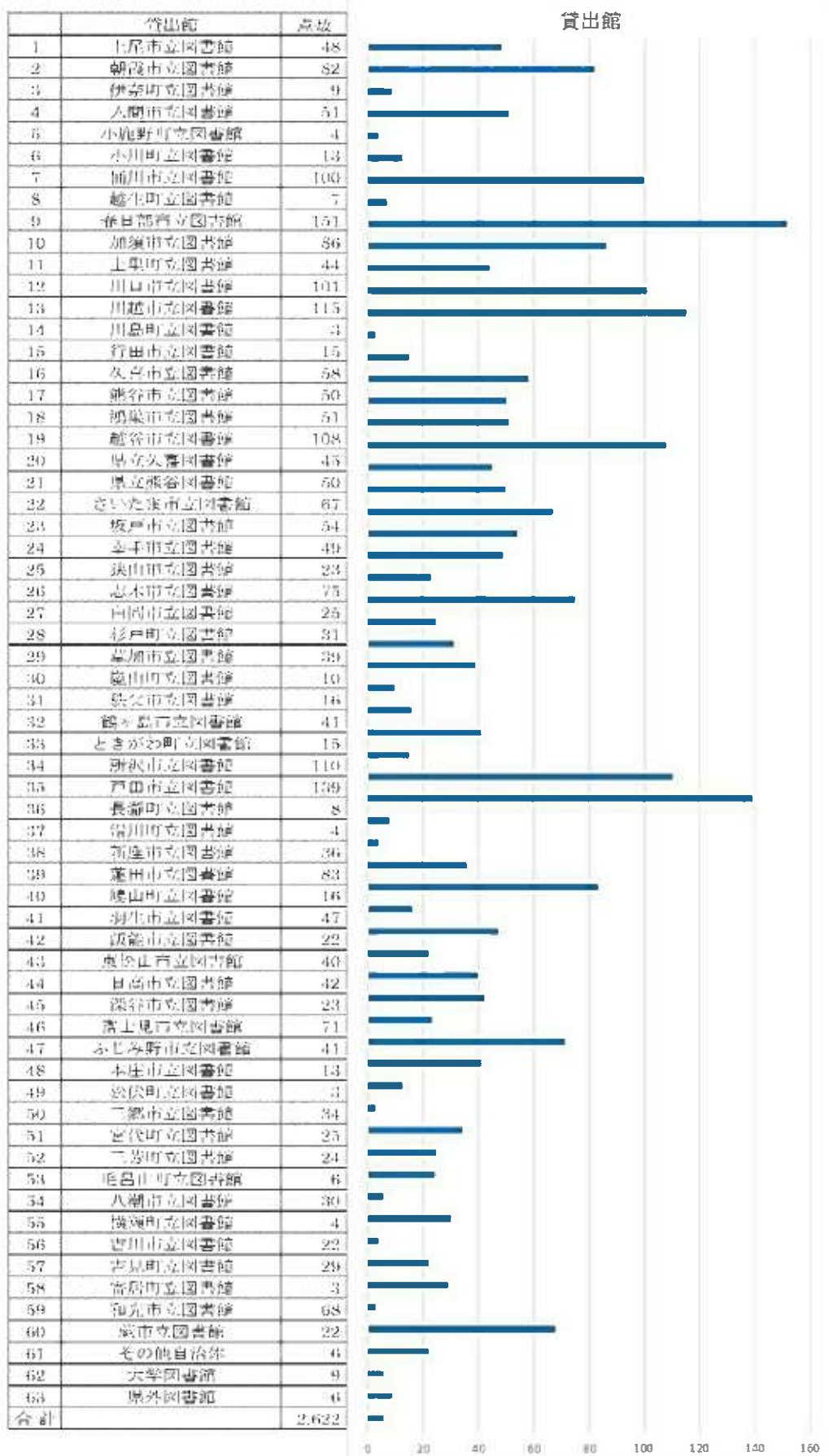


⑤相互貸借サービス

ア) 相互貸借点数

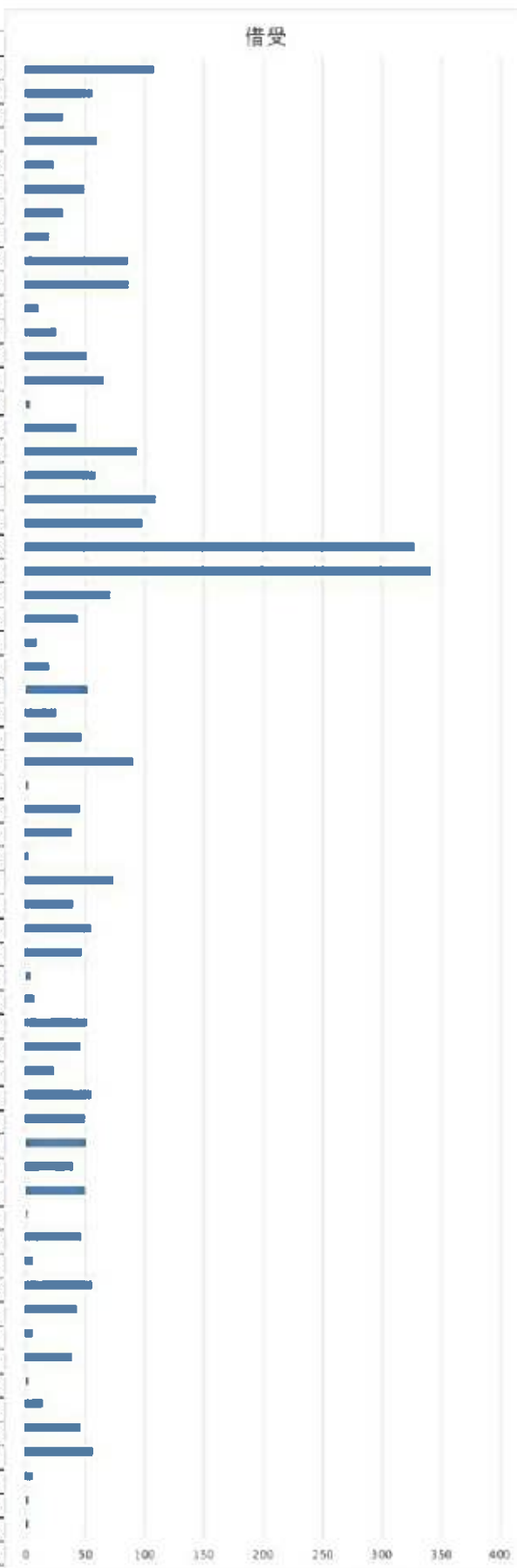
	今年度	前年度	前年比
他市町村へ貸出	2,622	2,577	101.7%
他市町村から借受	3,182	3,095	102.8%

イ) 相互貸借 (貸出館及び点数)



ウ) 相互貸借 (借入館及び点数)

	借入館	点数
1	上尾市立図書館	109
2	桐蔭市立図書館	57
3	伊奈町立図書館	32
4	大田市立図書館	61
5	小幡町立図書館	26
6	小川町立図書館	50
7	稲川市立図書館	32
8	越生町立図書館	21
9	養父市立図書館	86
10	加須市立図書館	87
11	神川町立図書館	11
12	上里町立図書館	26
13	川口市立図書館	52
14	川越市立図書館	66
15	川島町立図書館	3
16	行田市立図書館	44
17	久喜市立図書館	95
18	熊谷市立図書館	60
19	羽栗市立図書館	110
20	越谷市立図書館	99
21	県立久喜図書館	328
22	県立熊谷図書館	342
23	さいたま市立図書館	72
24	坂戸市立図書館	45
25	幸手市立図書館	10
26	狭山市立図書館	21
27	志木市立図書館	52
28	白岡市立図書館	26
29	杉戸町立図書館	48
30	草加市立図書館	91
31	嵐山町立図書館	2
32	駒交市立図書館	46
33	鶴ヶ島市立図書館	29
34	ときがほ町立図書館	3
35	所沢市立図書館	74
36	戸田市立図書館	41
37	新座市立図書館	55
38	蓮田市立図書館	48
39	鳩山町立図書館	4
40	羽生市立図書館	8
41	飯能市立図書館	52
42	東松山市立図書館	46
43	日高市立図書館	25
44	深谷市立図書館	55
45	吉士見市立図書館	50
46	ふじみ野市立図書館	51
47	本庄市立図書館	40
48	三郷市立図書館	50
49	美里町立図書館	1
50	宮代町立図書館	47
51	三芳町立図書館	7
52	毛呂山町立図書館	56
53	八潮市立図書館	44
54	横瀬町立図書館	7
55	吉川市立図書館	39
56	青見町立図書館	2
57	寄居町立図書館	13
58	相光市立図書館	46
59	蕨市立図書館	57
60	その他自治体	7
61	大学図書館	2
62	県立図書館	2
合計		3,182



〈3〉レファレンスサービス（調査等の援助業務）

	所在	書誌事項	文献	事実	その他	合計	前年度	前年比
口頭	1,694件	26件	87件	123件	217件	2,116件	2,162件	97.9%
電話	58件	8件	12件	74件	74件	226件	329件	68.7%
文書	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	前年より-1
合計	1,752件	34件	99件	196件	291件	2,342件	2,492件	94.0%
前年度	1,668件	209件	53件	191件	371件	2,492件		
前年比	105.0%	16.3%	130.2%	102.6%	78.4%	94.0%		

所在：特定資料の有無、所蔵機関の調査

書誌的事項：書名、著者名、出版社、山版年、巻次の調査

文献：一定主題についてどんな文献があるか

事実：軽微な質問で回答そのものを与えるような調査

その他：左記以外で種別機関の紹介等含む

〈4〉館内利用サービス

① 各サービス利用者数（館内）

	今年度利用者数	前年度利用者数	前年比
学習コーナー	17,136人	12,472人	137.4%
PCコーナー	1,708人	856人	199.5%
読感コーナー	10人	14人	71.4%
自動貸出機	28,311人	27,228人	104.0%
	100,978冊	99,066冊	101.9%

中央図書館 利用率	自動貸出機 利用率	前年度
74,143人	38.2%	36.9%
223,168冊	45.2%	44.1%

② 学習室利用者数（館外）

	令和4年度	前年度	前年比
開室回数	0回	0回	-
利用人数	0人	0人	-

☆新型コロナウイルスの影響で開室は無し

〈5〉 障がい者サービス
テープ・デジタイズ図書貸出
対面朗読

	令和4年度	前年度	前年比
タイトル数	1,374タイトル	1,270タイトル	108.2%
巻数	1,374巻	1,271巻	
人数	0人	1人	前年より-1
時間	0時間	0.5時間	前年より-0.5

〈6〉 リクエストサービス業務

	令和4年度	前年度	前年比
	45,952件	46,699件	98.4%

〈7〉 複写サービス業務

	令和4年度	前年度	前年比
	1,555件	1,487件	104.6%

〈8〉 読書前編発行数

	令和4年度	前年度	前年比
	95冊	114冊	83.3%

〈9〉 朗読集会室の利用

	令和4年度	前年度	前年比
利用件数	61件	52件	117.3%
利用人数	350人	156人	224.4%

〈10〉 自主事業

① 企画展示

月	展示のテーマ	貸出冊数
4	「家族の物語」	268
	「LGBTQを理解する」	57
	「新社会人がなれば！」	93
	「ハボース児童」	21
	「18歳、『大人』です！(YA)」	188
	「虹」(部分室)	9
	「富山」(学習センター分室)	29
5	「サイレント茶小説」	110
	「ステップアップ！自分を高める」	404
	「『純平』50周年」	60
	「東登児童」	30
	「『映え』の世界(YA)」	192
	「時」(部分室)	12
	「京都」(学習センター分室)	11
	「ギリシャ」(部分室)	2

月	展示のテーマ	貸出冊数
6	「前を恐れず、共に生きていく」	269
	「知っておきかえ、知急のこと」	296
	「父夜の子育て」	31
	「家(児童)」	29
	「におびに思いを寄せて(YA)」	119
	「雨」(部分室)	12
	「神護」(学習センター分室)	2
7	「何よりも思っている人前」	236
	「雑誌文化の魅力」	117
	「原住民族物語『ついでに』」	—
	「図書館を巡った旅へる学習センター」読書作品 インフォ展示	4
	「山と川(児童)」	13
	「秋の畜産助成隊(YA)」	186
	「2022年度『この本が』〜ベビー55めくれば『時』 キッズブックフェア展示」	—

H	展示のテーマ	貸出冊数	
7	「この本を読んで おすすめの本の展示 グリーンリスト」	26	△
	「この本を読んで おすすめの本の展示 ブルーリスト」	12	△
	「つたがらひのちいさの川の巻紙展2022 夏祭 画」	30	△
	「嵐」(南部分室)	16	
	「霧」(学習センター分室)	6	
	「京都」(西部分室)	2	
8	「伝え続ける物語」	150	
	「夏のはなげき」	494	
	「おはなこころのこころ」	—	※2
	「1冊読む楽しさ」	7	※1
	「伝説上の動物」	3	
	「日本の自然史」	131	
9	「この本を読んで おすすめの本の展示 グリーンリスト」	27	△
	「この本を読んで おすすめの本の展示 ブルーリスト」	11	△
	「つたがらひのちいさの川の巻紙展2022 夏祭 画」	50	△
	「嵐」(南部分室)	11	
	「北海道」(学習センター分室)	9	
	「神馬」(西部分室)	4	
9	「あなたに読んでほしい」読書案内2022」	260	
	「思いやりの心」	44	
	「歌で楽しむ」読書のすすめ2022」	254	
	「夏祭」(南部分室)	16	
	「国語検定講座」	125	
	「図書館からのお便りです」開館100周年記念」	—	※1
10	「伝説上の動物」	33	
	「歴史の影にも物語」	208	
	「戦国150年、戦国の文化と生活」	114	
	「北海道の歴史」	51	
	「もっと知りたい！ 国語の時間」	50	
	「嵐」(南部分室)	5	
11	「伝説上の動物」	8	
	「北海道」(西部分室)	7	
	「ノンフィクションが教えてくれる真実のストーリー」	169	
	「季節に合わせた読書」	194	
	「可憐な動物の物語」	119	
	「建築の歴史」	44	

月	展示のテーマ	貸出冊数
11	「伝説上の動物」	173
	「嵐」(南部分室)	15
	「神馬」(学習センター分室)	14
	「馬」(西部分室)	5
12	「紅白」(本)分室 2022 源氏VS平家」	352
	「鎌倉時代と武蔵武士」	104
	「令和4年度 北朝鮮人権侵害問題啓発週間」	15
	「漢字・全編加工(児童)」	39
	「今日からできる環境保全」	110
	「霧」(南部分室)	6
1	「長野」(学習センター分室)	9
	「神馬」(西部分室)	4
	「人情あふれる江戸の世界」	493
	「動乱を生きた武士たち」	212
	「2022-2023」	112
	「料理・菓子(児童)」	50
2	「世界のこぼれ」	115
	「嵐」(南部分室)	15
	「大分」(学習センター分室)	13
	「神馬」(西部分室)	6
	「たくさん読みたい！ 短編小説」	256
	「おうちでくくく・家の過ごし方」	197
3	「2022-2023」	142
	「埼玉の高校司書が選んだイブニング2022」	41
	「印刷・製本・4書体(児童)」	20
	「チョコレート」	121
	「嵐」(南部分室)	8
	「石川」(学習センター分室)	12
4	「長野」(西部分室)	6
	「偉い人に贈る読書のすすめ 2023」	139
	「時代についていく！ 常識 教養」	233
	「埼玉の高校司書が選んだイブニング2022」	107
	「漢字・ミニチュア(児童)」	25
	「4月に向けて！ 新生活応援フェア」	129
5	「嵐」(南部分室)	9
	「嵐」(学習センター分室)	10
	「大分」(西部分室)	9
合計		9,906

- ※1 展示用
 ※2 夏休み宿題応援コーナー
 ※3 北本子どもの本を楽しむ会・北本市子ども文庫連絡会との協働開催でのパネル展示のため
 カウントなし。△は北本子どもの本を楽しむ会・北本市子ども文庫連絡会との協働開催
 の企画展示。

② イベント・催し物

番号	日時	事業名	内 容
1	5月15日(日) 14:00 ～ 15:30	連続講座「浪沢栄一を知る」 「第5回 浪沢栄一の運命を変えた人々」	場所:北本市文化センター 第1・2号講堂 参加人数:57名 講師:今井 祐昭氏 内容:昭和未だ印刷の激動の時代に生きた浪沢栄一の生涯と、改訂の功績をたどる連続講座の第5回。
2	6月8日(水) ～ 6月13日(日)	蔵書点検	場所:北本市立中央図書館、南部分室、西部分室、学習センター分室 内容:書架資料と図書館システムの蔵書データを照合することで判別した不明資料のリストを作成し、教育委員会へ報告。 不明資料:13冊(前年:84冊、前年比:15.5%)
		図書館図書資料の除却、廃棄	場所:北本市立中央図書館、南部分室、西部分室、学習センター分室 内容:経年による汚損・破損した図書資料及び利用頻度が著しく低くなり閉架書庫へ移動していた図書資料について、選別し廃棄リストを作成。教育委員会へ提出・廃棄し除却・廃棄。なお廃棄する資料についてはリサイクルに努めている。 図書資料:5,927冊(破点不明3回以上含む) 雑誌:1,629冊
3	6月5日(日) 14:00 ～ 16:00	わくわく工作教室	場所:北本市文化センター 第1研修室 参加人数:24名(子ども15名・大人9名) 内容:北本市立中央図書館スタッフが講師となり、リング・リング・クリイターマかざり等の工作を実施。
4	6月14日(火) ～ 6月30日(水)	図書館クイズ ～あなたの「調べる」を応援します!～	場所:北本市立中央図書館 参加人数:のべ49名 内容:館内にあるポプラディアを使いなぞを解き「あいことば」を見つけるイベント。まずは「百科事典コース」脱走戦。クリアしたら「チャレンジコース」に挑戦。各問題をクリアしたら賞品を授けました。
5	7月1日(金) ～ 7月31日(日)	図書館クイズ ～あなたの「調べる」を応援します!～	場所:北本市立中央図書館 参加人数:のべ41名 内容:館内にあるポプラディアを使いなぞを解き「あいことば」を見つけるイベント。まずは「百科事典コース」脱走戦。クリアしたら「チャレンジコース」に挑戦。各問題をクリアしたら賞品を授けました。
6	7月3日(日) 14:00 ～ 16:00	図書館講座「子どもが自信を持つようになる親子コミュニケーション」	場所:北本市文化センター 第1研修室 参加人数:13名 講師:北本市立中央図書館スタッフ(日本親子コーチング協会認定コーチ) 内容:小中学生のお子を持つ親御さんを対象に、「声かけや関わり方のコツなどコミュニケーションのヒントが満載のワークショップを行なった」。また、子どもの悩みを解決する「ピットインカード」も体験していただいた。
7	7月17日(日) ～ 7月22日(金) 7月24日(日) 14:00 ～ 15:30	「第7回 北本市図書館を使った調べる学習コンクール」支援講座	場所:北本市文化センター 第1研修室(7月17日・22日)、第2研修室(7月24日) 7月17日:参加人数0名 7月22日:参加人数5名(子ども3名 大人2名) 7月24日:参加人数6名(子ども4名 大人2名) 計11名(子ども6名 大人5名) 内容:北本市立中央図書館スタッフによる「第7回 北本市図書館を使った調べる学習コンクール」支援講座を行なった。調べる学習技能本(自由研究のすすめ方ガイド)を使い、作品のテーマの決め方、調べ方、まとめ方のポイントを説明した。
8	7月17日(日) ～ 7月24日(日) 15:00 ～ 15:30	2022夏 この本よんでブックトーク 小学生のための本の紹介	場所:北本市文化センター 第2研修室 7月17日:参加人数6名(子ども2名 大人4名) 7月24日:参加人数6名(子ども3名 大人3名) 内容:北本市立中央図書館スタッフによるブックトークを実施。「恐竜は今も生きている(7月17日)」と「色!いるさがそう(7月24日)」をテーマに、本の紹介を行なった。
9	7月11日(月) 14:00 ～ 16:00	令和4年度創読者研究会	場所:北本市文化センター 第2研修室 参加人数:18名 講師:佐藤 聖一氏(県立久喜図書館職員) 内容:図書館の創読者として、よりよい閱讀の技術向上をめざし、研究会を実施。今回は野宮図書館作成の具体的な手順を学んだ。
10	8月1日(日) ～ 8月31日(水)	図書館クイズ ～あなたの「調べる」を応援します!～	場所:北本市立中央図書館 参加人数:のべ48名 内容:館内にあるポプラディアを使いなぞを解き「あいことば」を見つけるイベント。まずは「百科事典コース」脱走戦。クリアしたら「チャレンジコース」に挑戦。各問題をクリアしたら賞品を授けました。
11	7月1日(金) ～ 8月31日(水)	「YA向け企画 おすすめ本のPOPを作るう!」	場所:北本市立中央図書館 応募人数:6名 内容:7月1日(金)～8月31日(水)まで作品を募集。6名の応募あり。(応募用紙は20部配布)
12	8月8日(月) 14:00 ～ 14:25	2022夏 この本よんでブックトーク&おはなし会	場所:北本市文化センター ホールA(2F)(ロビー) 参加人数:10名(子ども6名 大人4名) 内容:北本市立中央図書館スタッフによるブックトークを実施。「恐竜は今も生きている」をテーマに、本の紹介を行なった。(北本市立中央図書館・北本市子ども図書館・北本市子どもの家を交流し会・北本市子ども文庫連絡会との協働事業)
13	9月11日(日) 14:00 ～ 16:00	図書館講座「知っていますか?エンディングノートのこと エンディングノートは始まるのノートです」	場所:北本市文化センター3階 第1研修室 講師:三輪 鉄郎氏(ファイナンシャルプランナー) 参加人数:18名 内容:エンディングノート作成の意義や書き方についての解説後、実際に作成してもらった。また、デジタル記録や遺言についての基本的な知識についても解説してもらった。

番号	日時	事業名	内容
14	9月12日(月) 13:30 ～ 15:30	令和4年度朗読音研 修会	場所：北本市文化センター3階 第3会議室 参加人数：15名 講師：杉洋 紀美子氏(NHK日本語センタースクール講師) 内容：図書館の司書者として、よりよい朗読の技術向上をめざし、研修会を実施。
15	10月19日(水) 13:30 ～ 16:30	第7回「北本市 回 書館を使った調べる 学習コンクール」第 5次会	場所：北本市文化センター 第3研修室 審査員：北本市教育委員会生涯学習課、北本市教育委員会学校教育課、北本市文化 センター所長、北本市立こども図書館長、中央図書館長、スタッフ 計6名 内容：9月11日から9月30日まで募集があった42作品の中から、教育長賞・校長会全 員賞・文化センター賞・図書館長賞・優秀賞・奨励賞の計7作品を決定。 ※教育長賞・校長会会長賞の2作品は、全国コンクールに出品。
16	11月23日(水) 10:30 ～ 11:30	第7回「北本市 回書 館を使った調べる学 習コンクール」表彰 式	場所：北本市文化センター 第1・2会議室 内容：教育長賞・校長会会長賞・文化センター賞・図書館長賞・優秀賞・奨励賞に 選ばれた7作品について、受賞者4名を表彰。
17	11月27日(日) 13:30 ～ 15:30	第8回 児童文学講座「絵本 と鳥の巣のふしぎー 鳥の巣が教えてくれ ることー」	場所：北本市文化センター 第1・2会議室 講師：絵本 まもる氏(作家、絵本作家、鳥の巣研究家) 参加人数：77名 内容：絵本作家であり、鳥の巣研究家でもある絵本まもるさんを講師に迎えて、絵 本の制作や鳥の巣についての様々な説明を交えて講演していただいた。 ※北本市子どもの本を楽しむ会・北本市子ども文化連絡会との協働開催。
18	11月27日(日) 14:00 ～ 17:00	ブックキョウパン	場所：北本市文化センター 第3研修室 内容：図書館で行っている本の購入方法の一つであるブックキョウパン(現物遣書)を 体験していただいた。
19	12月4日(日) 14:00 ～ 16:00	大掃除の前に！ 図書館員と考える整理 収納講座	場所：北本市文化センター 第1研修室 参加人数：11名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書 館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。
20	12月11日(日) 14:00 ～ 15:30	わくわく工作教室	場所：北本市文化センター 第1研修室 参加人数：40名(子ども22名・大人18名) 内容：図書館スタッフが講師となり、工作教室を行った。今回はメモイクのクリス マス飾りとかみコブターを作成した。
21	12月18日(日) 14:00 ～ 15:45	図書館歴史講座 「島山重忠と菅谷純」	場所：北本市文化センター 第3会議室 参加人数：36名 講師：中村 謙平氏(埼玉共立嵐山史跡の博物館 学芸員) 内容：鎌倉時代の19人の一人で、武勇に優れ、清原源白の入道から「坂東武士の鑑」 と称された島山重忠。その人となりと嵐山町にある菅谷館跡についての講演を行っ た。
22	2月30日(水) 13:00 ～ 15:00	あそびカレッジきたもと 系 子ども司書講座 ～図書館のお仕事を 体験しよう！～	場所：北本市文化センター 第2研修室 参加人数：15名(子ども・13名 おとな・2名) 講師：北本市立中央図書館・こども図書館スタッフ 内容：図書館司書の仕事を紹介、図書館内で司書の体験をした。(中央図書館・こども 図書館とのコラボレーション事業)

その他展示

番号	年月日	案件	内容
1	8月22日(月)	雑誌並べ直し	雑誌を50冊順に並べ直した。
2	9月5日(日) ～ 9月20日(火)	YA展示	YAコーナーの企画を展示(9月5日～)・YA展示板を展示(9月20日～)
3	10月1日(土)	学習センター分室	雑誌コーナーのリニューアル

① 北本市立中央図書館講師派遣事業

番号	日時	事業名	内容
1	6月4日(土) 14:00 ～ 16:00	図書館員と考える整 理収納講座 ～たっぷり書らす整 理収納術～	場所：江東区立東大島図書館(東京都江東区) 参加人数：10名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書 館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。
2	6月18日(土) 14:00 ～ 16:00	図書館員と考える整 理収納講座 ～たっぷり書らす整 理収納術～	場所：佐野市田沼図書館(栃木県佐野市) 参加人数：13名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書 館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。

番号	日時	事業名	内容
3	6月25日(土) 14:00 ～ 16:00	図書館員と考える整理収納講座	場所：浦安市立中央図書館(浦安市) 参加人数：22名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。
4	8月29日(月) 14:00 ～ 16:00	図書館講座 「図書館員と考える整理収納講座」	場所：久喜市立東郷文化会館図書室(久喜市) 参加人数：17名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。講座後、久喜ケーブルテレビからの取材あり。
5	9月2日(金) 14:00 ～ 16:00	「子どもが自信を持てるようになる親子コミュニケーション」	場所：船橋市東図書館2階(多目的室)(千葉県船橋市) 参加人数：7名 講師：北本市立中央図書館スタッフ(日本親子コーチング協会認定コーチ) 内容：小中学生のお子を持つ親御さんを対象に、市がけや関わり方のコツなどコミュニケーションのヒントが満載のワークショップを行った。
6	9月4日(日) 14:00 ～ 16:00	「親と子のコミュニケーション講座」	場所：港南図書館3階ホール(東京都港区) 参加人数：18名 講師：北本市立中央図書館スタッフ(日本親子コーチング協会認定コーチ) 内容：小中学生のお子を持つ親御さんを対象に、声かけや関わり方のコツなどコミュニケーションのヒントが満載のワークショップを行った。
7	10月1日(土) 14:00 ～ 16:00	図書館員と考える整理収納講座	場所：富士見市立図書館ふじみ野分館(富士見市) 参加人数：17名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。
8	10月8日(土) 14:00 ～ 15:30	湯島図書館講座 図書館員と考える整理収納	場所：中央区立湯島図書館(東京都中央区) 参加人数：15名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。
9	10月29日(土) 13:30 ～ 15:30	整理収納アドバイザーに学ぶ！ 楽しい整理収納講座 「実践編」	場所：八潮市立八潮公民館(八潮市) 参加人数：15名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。
10	11月5日(土) 14:00 ～ 16:00	図書館員と考える整理収納講座	場所：港区立港南図書館(東京都港区) 参加人数：16名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。
11	12月16日(土) 14:00 ～ 16:00	整理収納講座	場所：習志野市立新習志野公民館(千葉県習志野市) 参加人数：9名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。
12	1月21日(土) 14:00 ～ 16:00	図書館員と考える整理収納講座	場所：江戸川区立荻田図書館(東京都江戸川区) 参加人数：20名 講師：北本市立中央図書館スタッフ 内容：整理収納アドバイザーの資格を持つ北本市立中央図書館のスタッフが、図書館司書の視点から、整理収納のコツを伝授する講座。

④学校との連携

番号	実施日	案件	活動内容
1	7月26日(火) ～ 7月28日(木)	職場体験	船玉町立伊奈学園中学校から中央図書館・子ども図書館で女子生徒1名を受け入れた。 本の配架、新刊装冊、雑誌登録などの図書館業務を実際に体験した。
2	11月16日(水) ～ 11月18日(金)	職場体験	北本市立北本中学校から中央図書館・子ども図書館で男子生徒2名を受け入れた。 本の配架、新刊装冊、雑誌登録などの図書館業務を実際に体験した。

(11) 資料統計(受入除籍等含数)

① 資料統計 令和4年度

中央図書館(3分室含)

前年度末 所蔵点数	今年度増加点数							今年度末 所蔵点数
	購入	寄贈	自館作成	弁償	移管	廃棄	今年度増減	
156,951	7,675	326	9	23	-1	-7,456	576	157,527

② 種別資料統計

資料種別	所蔵館	前年度末 所蔵点数	購入	寄贈	自館 作成	弁償	移管	廃棄	今年度 増減	今年度末 所蔵点数
一般書	中央	84,286	3,862	183	0	5	967	-4,968	49	84,335
	南部分室	5,274	242	10	0	0	-282	-152	-182	5,092
	西部分室	2,691	278	7	0	1	-230	-72	-16	2,675
	学習七分室	4,222	315	7	0	2	-310	-124	-110	4,112
	小計	96,473	4,697	207	0	8	145	-5,316	-259	96,214
児童書	中央	20,597	524	10	0	0	210	-49	695	21,292
	南部分室	5,831	88	1	0	0	-110	-72	-93	5,738
	西部分室	3,164	58	0	0	0	-18	-29	11	3,175
	学習七分室	3,774	51	0	0	1	-33	-3	16	3,790
	小計	33,366	721	11	0	1	49	-153	629	33,995
文庫・新書	中央	11,339	523	3	0	7	100	-367	266	11,605
	南部分室	334	51	0	0	0	-53	-3	-5	329
	西部分室	79	4	0	0	0	27	0	31	110
	学習七分室	157	48	0	0	0	-52	-3	-7	150
	小計	11,909	626	3	0	7	22	-373	285	12,194
年鑑・白 書・逐次刊 行物	中央	2,948	82	41	0	0	-215	-24	-116	2,832
	南部分室	30	0	5	0	0	-2	-17	-14	16
	西部分室	27	0	5	0	0	-1	-15	-11	16
	学習七分室	32	0	5	0	0	-1	-18	-14	18
	小計	3,037	82	56	0	0	-219	-74	-155	2,882
雑誌	中央	6,883	1,320	40	0	7	248	-1,529	86	6,969
	南部分室	420	106	0	0	0	-179	0	-73	347
	西部分室	65	51	0	0	0	-86	0	15	80
	学習七分室	46	57	0	0	0	-33	0	24	70
	小計	7,414	1,534	40	0	7	0	-1,529	52	7,466
紙芝居	中央	5	0	1	0	0	1	0	2	7
	南部分室	240	2	0	0	0	0	0	2	242
	西部分室	154	2	0	0	0	1	0	3	157
	学習七分室	155	2	0	0	0	0	0	2	157
	小計	554	6	1	0	0	2	0	9	563
カセット	中央	323	0	0	0	0	0	-4	-4	319
C D	中央	3,273	9	0	0	0	0	-6	3	3,276
テープ・デ イジー図書	中央	565	0	6	9	0	0	0	15	580
点字図書	中央	37	0	2	0	0	0	-1	1	38
合計		156,951	7,675	326	9	23	-1	-7,456	576	157,527

③ 館別・種別資料統計

所蔵館	前年度末 所蔵点数	購入	寄贈	自館作成	弁償	移管	廃棄	今年度 増減	今年度末 所蔵点数
中央図書館	130,256	6,320	286	9	19	1,311	-6,948	997	131,253
南部分室	12,129	489	16	0	0	-626	-244	-365	11,764
西部分室	6,180	393	12	0	1	-257	-116	33	6,213
学習七分室	8,386	473	12	0	3	-429	-148	-89	8,297
合計	156,951	7,675	326	9	23	-1	-7,456	576	157,527

〈12〉 書籍消毒機 リザーブ利用回数

	令和4年度	前年度	前年比
利用回数	16,718回	21,539回	77.6%
利用者数	72,616人	72,422人	100.3%
利用率	23.0%	29.7%	77.4%

〈13〉 中央図書館夜間業務状況(平成27年1月より閉館時間延長:閉館19:00⇒21:00)

	令和4年度	前年度	前年比
夜間利用者数(人)	3,284人	2,393人	137.2%
夜間貸出冊数(冊)	10,612冊	7,749冊	136.9%

〈14〉 中央図書館システム関係

番号	日時	内容	対応結果(または予定)
1	10月17日(月)	OSの起動が遅い。	NECフィールドインク米館 メモリ利用率が高いため、メモリ交換と内部清掃を実施。
2	11月18日(金)	カウンターPC(No.1) IC処理反応せず	NECフィールドインク米館 マザーボード交換(22口NECサポーター米館) USBケーブル接続へ設定変更。

(5) アンケート (令和4年度)

③図書館アンケート

中央図書館 図書館講座参加者アンケート

(1) 「子どもが自信を持てるようになる親子コミュニケーション」

実施日：2022.7.3

参加人数：3人 アンケート回収：3人 (回収率：100%)

1. 年齢

～9さい	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	記入なし	計
0	0	0	1	2	0	0	0	0	3

2. 性別

男性	女性	記入なし	計
0	3	0	3

3. お住まいの地域は？

北本市	桶川市	鴻巣市	その他	記入なし	計
1	0	0	1	1	3

4. 今回の講座をどのように知りましたか？

広報 きたもと	文化セン ターだより	ポスター チラシ	知人の紹 介	図書館ホーム ページ・ 館内検索端末	その他	記入なし	計
0	0	1	0	0	2	0	3

5. 今回の講座のご感想をお聞かせください。

とても良かった	良かった	ふつう	不満	記入なし	計
3	0	0	0	0	3

6. 特にご意見がございましたら、ご記入ください。

ずっと聞くだけでなく、ワークしたりシェアしたり、とても有意義な時間になりました。すぐにやりたいヒントがたくさんで、できなくても知っているだけでちがうし、これからの親子の成長が楽しみでワクワクしました！開催していただいて、ありがとうございます。

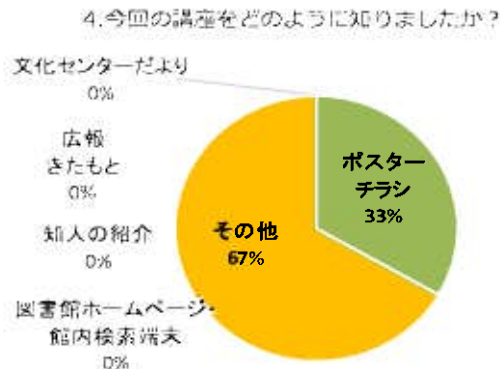
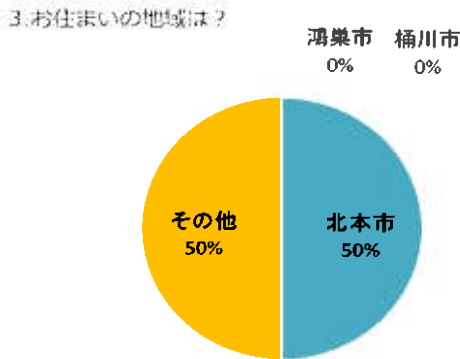
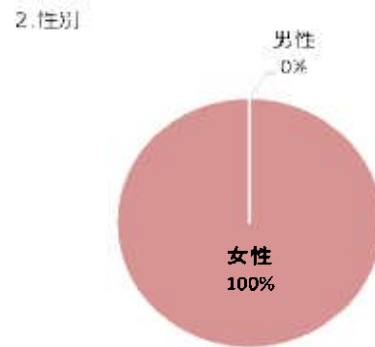
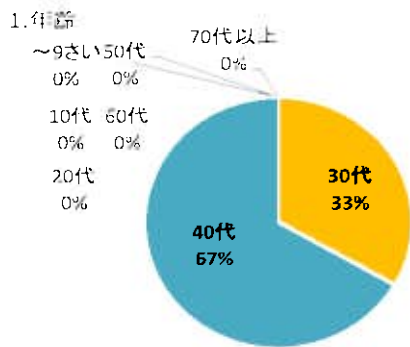
2時間ですっごく濃厚な内容でビックリ!!1日でもさいていたい!!たくさんの人にさいてもらいたい!!内容でした。気づきがたくさんあったので、ベビーステップ1つずつでも意識します。

定期的に参加したい。(忘れないために)

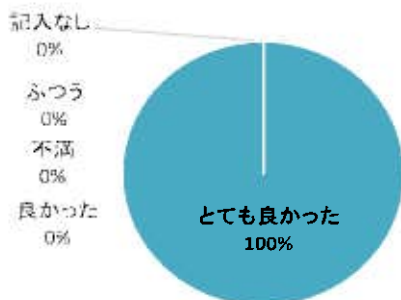
7. 今後の図書館講座で、取り上げてほしいテーマや講師の方はいますか？

ある	ない	記入なし	計
0	1	2	3

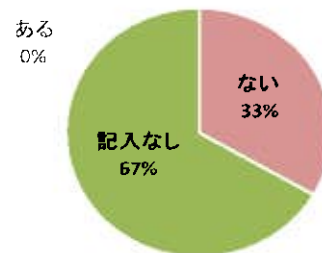
※「ある」の具体的な内容



5. 今回の講座のご感想をお聞かせください。



7. 今後の図書館講座で、取り上げてほしいテーマや講師の方はいますか？



(ii)北本市立中央図書館 利用者アンケート 集計結果
配布：501枚 回収：237枚 回収率：47%

配布期間：令和5年2月1日～2月22日
回収期間：令和5年2月1日～3月8日

1.利用者情報

① 年齢

～9さい	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	未記入	計
0	9	8	8	23	25	62	102	0	237

② 性別

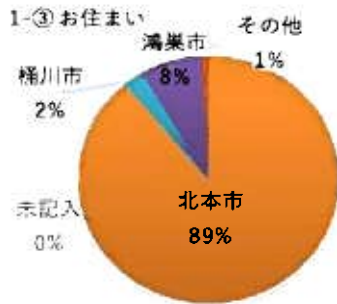
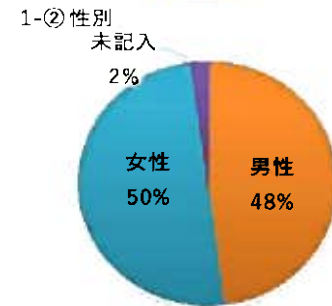
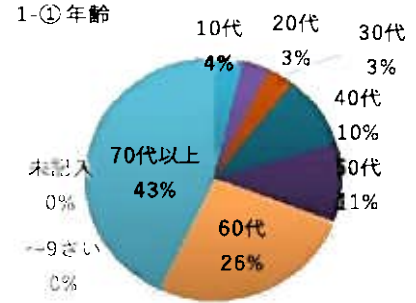
男性	女性	未記入	計
114	118	5	237

③ お住まい

北本市	桶川市	鴻巣市	その他	未記入	計
211	6	18	2	0	237

④ 利用頻度

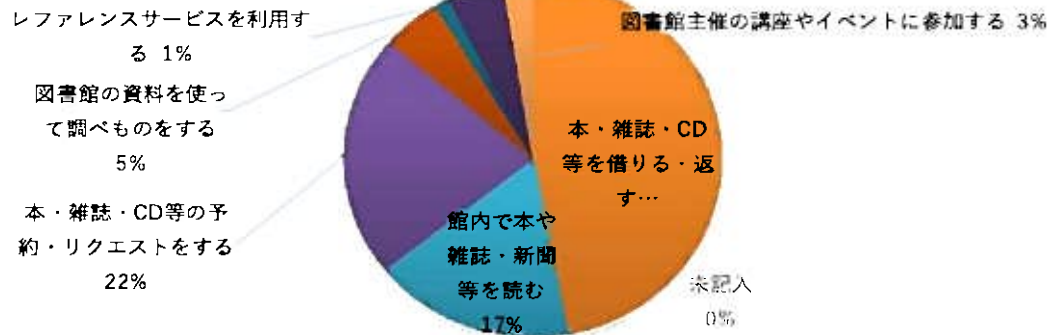
ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	初めて	未記入	計
6	46	164	15	1	5	237



2.図書館の利用について（複数回答可）

本・雑誌・CD等を借りる・返す	館内で本や雑誌・新聞等を読む	本・雑誌・CD等の予約・リクエストをする	図書館の資料を使って調べものをする	レファレンスサービスを利用する	学習コーナーやパソコン優先席を使って自習する	図書館主催の講座やイベントに参加する	未記入	計
223	82	104	24	6	23	12	0	474

2.図書館の利用について学習コーナーやパソコン優先席を使って自習する 5%

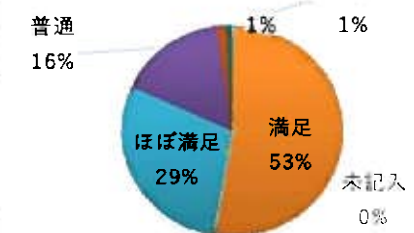


3.満足度について

① スタッフの対応

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
125	69	38	3	2	0	237

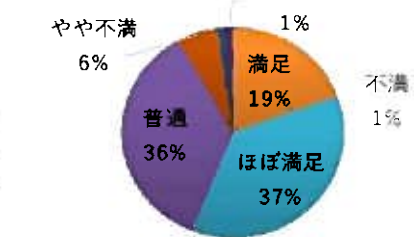
3-① スタッフの対応



② 本の探しやすさ

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
46	87	85	14	2	3	237

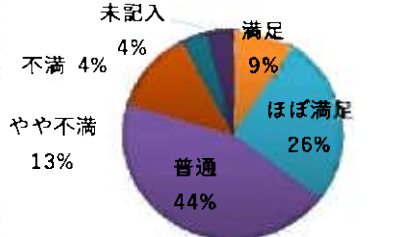
3-② 本の探しやすさ



③ 資料の充実度

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
22	62	105	30	9	9	237

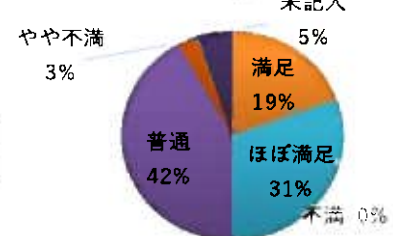
3-③ 資料の充実度



④ おすすめ本や特集

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
46	73	99	7	1	11	237

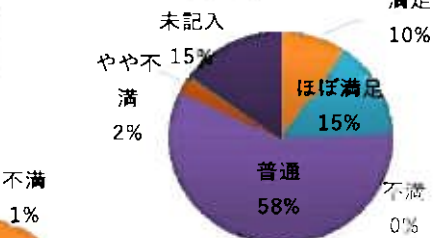
3-④ おすすめ本や特集



⑤ 図書館講座やイベント

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
23	35	137	6	1	35	237

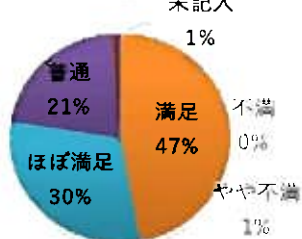
3-⑤ 図書館講座やイベント



⑥ 開館日数や開館時間

満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
112	72	50	1	0	2	237

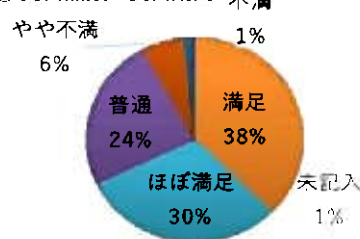
3-⑥ 開館日数や開館時間



⑦ 貸出点数や貸出期間

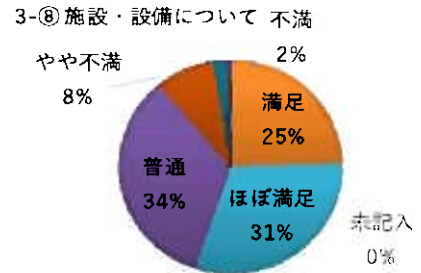
満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
89	72	57	15	3	1	237

3-⑦ 貸出点数や貸出期間



⑧ 施設・設備について

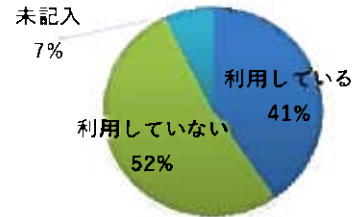
満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
58	73	80	20	5	1	237



⑨ 自動貸出機を利用していますか？

利用している	利用していない	未記入	計
96	124	17	237

3-⑨ 自動貸出機を利用していますか？



⑩ 読書通帳を利用していますか？

利用している	利用していない	未記入	計
28	188	21	237

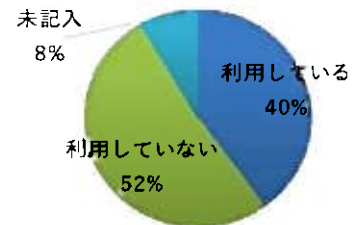
3-⑩ 読書通帳を利用していますか？



⑪ 書籍除菌機を利用していますか？

利用している	利用していない	未記入	計
95	122	20	237

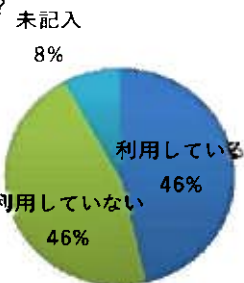
3-⑪ 書籍除菌機を利用していますか？



⑫ 図書館のホームページを利用していますか？

利用している	利用していない	未記入	計
110	108	19	237

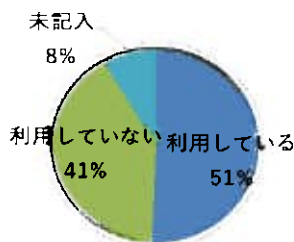
3-⑫ 図書館のホームページを利用していますか？



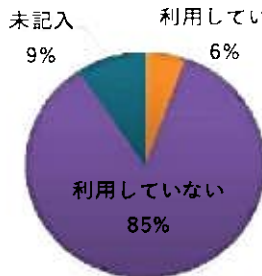
⑬ 図書館内の検索端末を利用していますか？

利用している	利用していない	未記入	計
120	97	20	237

3-⑬ 図書館内の検索端末を利用していますか？



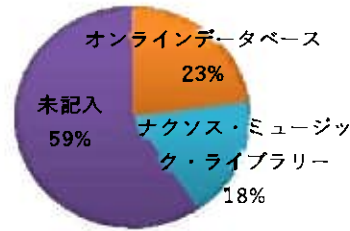
3-⑭ 北本市電子図書館を利用していますか？



4.図書館にあったら利用してみたいものはありますか？（複数回答可）

オンラインデータベース	ナクソ ス・ ミュー ジック・ ライブラ リー	未記入	計
60	47	156	263

4.利用してみたいものはありますか？



5.北本市立中央図書館について、お気づきの点やご意見等がございましたらご記入ください。

（※同意見は要約して集計しています）

調査員

■ 図書館について

満足している・利用しやすい

8

雑誌をよく利用している

貸出レシートに休館日が入れているのはありがたい

北本市の中央図書館としては規模が小さい

文庫本のスペースが狭く本が出しにくい

公的施設は利便的な流行ではなく普遍的な教養としての文化を憲法に保証されている（経済的もしくは家庭の事情などに関わらず）すべての国民（この場合、市の管轄として市民に）"最低限の文化的生活"の不可欠な一要素として提供する場であってほしい

■ 資料の探しやすさについて

常に配架が整い、管理が行き届いている

雑誌をジャンル別に配架してほしい

■ 資料の充実度について

新着図書を必ず見ている。2回に1度は借りたい本がある

古いCDは新しいものに買い替えてほしい

英検やTOEICなど、検定に関する本（単語帳や過去問など）を置いてほしい。また、英語だけでなく、ドイツ語検定やフランス語検定など他の言語のものも充実させてほしい

コミックエッセイも取り扱ってほしい

蔵書が少ない

もっと蔵書数を増やしてほしい（小説・物語本）

蔵書が古い、いつ見ても同じ

3

全体的に整理できていない。古過ぎてあまり借りる人がいないと思われるのは、とっとと書庫に納めた方がいいのでは？少なくとも5年以内に初版が出たのみを館内に、それ以外は書庫にの形をとって欲しい。ものすごく古いのが多くて、時にガッカリだ。新鮮味に欠ける

蔵書に片寄りがある。世界的な著作でも読者層が限られそうな著作は購入されていない（特に哲学・思想）

整理の本は充実しているが、手袋（例えばパッチワーク）の本は少ない

文庫本の時代小説を増やしてほしい

文庫本が少なく、また、探しづらい

話題になった本を読んでもみたいと思ってもほとんど無い。他市図書館と融通し合って利用できるようにしてほしい

話題の本・新しい本・新しい音楽CD・朗読CDをお願いします

2

雑誌を増やしてほしい（ファッション誌・「LEE」・「VERY」）

2

昭和30年頃のヒットの本も読ませて頂き、幅広く利用させて頂きました

シリーズ本が欠本のないようにしてほしい

高齢者向けの健康・旅行・経済関係の最新資料の提供を希望

小学校高学年以上向きの本を増やしてほしい

基本的な教養として読んでおきたいような古典文学（日本のものに限らず）等の充実にも配慮してほしい

■ 企画・特集・講座・イベントについて

企画本をいつも楽しみにしている

2

新しい出会いがあるので、これからも読んでほしい

講座やイベントは不要

■ 開館日数・開館時間について

年末年始の休日が少く便利

正月明けは1/4からの開館でよい

仕事帰りに来やすくなった

閉館時間を30分延長して欲しい

平日（月～木）の閉館時間を早くして、その分、図書を購入にあててほしい

■ 貸出点数・貸出期間について

CD貸出数の増加を希望

■ スタッフの対応について

感じがよい。満足している

6

予約本の連絡（電話連絡）に感謝している

3

挨拶や「ありがとうございました」の言葉が嬉しい

貸出の際、もともと借りていた本（予約待ちなし）の返却期限も延長してくれた

これからも頑張ってください

対応の悪い（妄想がない）スタッフがいる

3

スタッフによって対応に差がある

スタッフの人数が多すぎる（カウンターに利用者が並んでいるのに事務室内にはスタッフが大勢いる）

スタッフのカウンター内での話し声が気になる

2

■ 施設・設備について

暗い

2

床が汚れている感じがする

WiFi（原文ママ）

■ 自動貸出機について

便利

周知不足

自動貸出機の反応が悪い。無料で入れ直してくれるのかききたいが聞きづらい

■ 読書通報について

無効にしてほしい

不要（個人でメモしておけばよい）

■ ホームページ・館内検索端末について

検索窓で調べた事が印刷できたら便利だと思う

検索端末の文字入力を使いづらい

同一作家で同一シリーズの本は発行順に入力してほしい（アイウエオ順ではなく）

新しい図書が分類別になり、1つ1つ見なければならなくなり面倒。〇月〇日～〇月〇日までの新刊というように以前のようにしてほしい

予約の際、何度も予約ボタンを押すようになってしまった（手順が増えて面倒になった）

■ 電子図書館について

便利だが蔵書数が少なく残念

3

周知不足

電子図書館の取り扱いが始まったみたいなのだけれど、そうなるといずれ電子図書の割合が増えて紙の本の蔵書が減ってしまうのではないかととても不安に感じている。電子図書の場合、それこそ削除も簡単だと思うので、入れ替わりが激しくなり、またベストセラーのような本ばかりになってしまうのではないかと心配になる。そういうのはネット上の民間でも安く利用できるサービスがありそうだし、何も自治体がやる必要はなさそうに思う

■ 予約・リクエストについて

よく利用している

いつもリクエストに応じてもらって感謝している

オンライン予約への対応が早く、満足

所蔵していない本も他市図書館から取り寄せて利用できるの嬉しい

インターネットからもリクエスト予約が出来るようにしてほしい

スマホで予約をしたいが、操作がうまくできなかった

図書館にある本の予約は紙に書かなくて良い、というのは不便。予約する間待たなくてはダメだし、あるかどうか調べるのも大変。以前のように全て紙で予約を受けてほしい

(他市図書館と比べて)リクエスト本の待ち時間の短さに感心している

取り置き期間が短い

取り置き期間が短くても、予約本が早く提供されている実感が無い。むしろ期間内に取りにいかねばならないのが大変になった

■ 座席利用について

閲覧環境はほぼ満足している (他市図書館と比べても高く評価できる)

学習コーナーの見回りで気が散る

座席数が少ない

■ 利用マナーについて

利用者の方の会話・スマホの着信音が気になる

■ 新型コロナウイルス感染対策について

安全面でも満足している

■ 意見・要望

無料の補習教室があれば、スタッフとして参加したい

レアな映画 (ニューヨーク公共図書館エクス・リプリスなど) がレンタルできたらいいと思う

暗い、狭い、汚い。近隣の桶川、鴻巣ととっても図書館がきれいになり時間が有れば寄りつきたくなる。それに随員が多すぎるのでは。他の図書館はゆったりできるが北本はいつも見張りがついている様でとてもイヤな感じ。改めて欲しい。調べ物するスペースは撤去して全てオープンにするべきだ。一部の人が毎日同じ席にいる。なぜ?

駅に分室を設置してほしい

駅にブックポストを設置してほしい

閉館日、閉館時間に本の返却をBOXにしていますが、本に折れ目やキズがついたりするのではないかと心配です。BOX内にクッション等が入っているものだと思いますが、輪ゴムでとめて入れるとかプチプチを利用するとかの対応を願います

電話で本の事を教えてもらえて感謝している

アンケートをホームページからも回答できるようにしてほしい

一般書と児童書が同じ館内にあれば良い

北本に住んで30年以上になりますが、車をとるにつれ近くに近くに支所があったらよいなど思うようになりまし。た。自転車で行きづらくなりました。以前は駅に返却することができましたし、各公民館での貸し出しもありました。電子化されるにつれ、不便さも供っているような気がします。本を読む機会が減ってきました。移動図書館など充実させていただきたい

予約(リクエスト)資料を無人で受け取れる仕組みを考えてほしい

虫眼鏡を常備してほしい

指定管理になって利便性が格段に向上し満足

図書館を運営する予算は毎年どのくらいなのか。また、その予算内でどのような規準で書籍を購入しているのか。更に書籍を廃棄する場合、無料でもらい受けることはできないか。等、広報活動の一環として示してほしい

現在北本市に在勤ですが、諦めても利用出来たら嬉しい

ゆったりとお茶を飲みながら読書ができたら嬉しい

入口の誘導。入館してくるっとまわり、受付カウンターに行く矢印となっているが、守らずにすぐ左側から行く人が居て、割り返される感じとなる時があった。"進入禁止"マーク等があれば良いのかも

今度借りようと思って目安をつけておいた本が、けっこうすぐ書庫に行ってしまったり、無くなる(多分処分になってしまったんだと思う)ことが多いのだけど、せめて処分する場合に希望者に譲渡したりしてもらえないかなと思う

2

2

令和4年度 こども図書館事業報告

1 施設の概要

(1) 概要

名称	北本市庁舎・北本市立児童館及びこども図書館	
所在地	北本市本町1丁目111番地	
起工	平成24年9月27日	
竣工	平成27年3月30日	
構造	鉄骨造	
規模	階数	地上3階/塔屋1階
	敷地面積	13,511.14㎡
	建築面積	4,614.73㎡
	延床面積	11,043.42㎡

(2) こども図書館

階数	施設名	床面積
1階	図書館事務室兼書庫	50.2㎡
	図書・閲覧コーナー	155.52㎡
	お話コーナー	27.22㎡
	更衣室	8.13㎡
	倉庫	18.75㎡
	多目的トイレ	33.29㎡
	階段室D(内階段)	28.85㎡
	前室	6.08㎡

(3) 指定管理者

名称	北本まちづくり共同事業体
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
代表企業	街活性化株式会社 所在地 埼玉県鴻巣市逆川1丁目2番2
構成企業	株式会社図書館流通センター 所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号
構成企業	NPO法人 カラーレ 所在地 埼玉県鶴ヶ島市上広谷472-10

2 業務の実施状況及び利用状況

(1) 来館者数

① 月別来館者数

月	今年度	前年度	前年度との比較	
			人数増減	前年比
4月	3,396	3,459	-63	98.2%
5月	3,789	3,416	373	110.9%
6月	3,242	3,201	41	101.3%
7月	5,297	5,097	200	103.9%
8月	5,575	5,378	198	103.7%
9月	4,466	3,210	1,256	139.1%
10月	4,001	4,045	-44	98.9%
11月	3,795	3,400	395	111.6%
12月	3,785	3,600	186	105.2%
1月	3,846	3,395	451	113.3%
2月	3,571	2,986	585	119.6%
3月	4,346	3,566	780	121.9%
合計	49,111	44,753	4,358	109.7%

② 目標達成状況

目標人数	来館者数	前年度来館者数	目標達成率
62,500	49,111	44,753	78.6%

(2) こども図書館業務報告

① 市内利用

		上半期計	下半期計	今年度計	前年度計	前年比
開館日数		177	177	354	355	99.7%
利用者数		9,945	9,094	19,039	19,137	99.5%
(うち自動貸出機利用人数)		3,481	3,470	6,951	6,384	108.9%
貸出 点数	一般書	3,372	3,288	6,660	7,290	91.4%
	児童書	45,978	42,905	88,883	86,354	102.9%
	文庫・新書	101	85	186	182	102.2%
	年鑑・白書	0	0	0	0	-
	雑誌	1,338	1,090	2,428	2,747	88.4%
	紙芝居	1,392	1,295	2,687	3,176	84.6%
	CD・カセット	271	312	583	600	97.2%
	テープ図書・デジター図書	0	0	0	0	-
	合計	52,452	48,975	101,427	100,349	101.1%
	(うち自動貸出機貸出冊数)		19,795	20,055	39,850	35,456
当期登録者数(人)		248	160	408	419	97.4%
現登録者数(人)※1		3,704			3,250	114.0%
読書通帳登録者数	新規	189	127	316	361	87.5%
	再発行	61	48	109	89	122.5%
	合計	250	175	425	450	94.4%
非接触型ICカード登録者数	新規	5	2	7	10	70.0%

※現登録者数とは、有効登録者数を示しており、今年度計の欄は年度末の数字となっている。

②広域利用（鴻巣市・桶川市）

	鴻巣市・桶川市今年度合計			前年度計	前年比	
	鴻巣市	桶川市	今年度計	2市合計		
開館日数	354			355	99.7%	
利用者数	2,529	870	3,399	3,592	94.6%	
（うち自動貸出機利用人数）	1,006			974	0.0%	
貸出点数	一般書	1,040	272	1,312	1,735	75.6%
	児童書	11,738	4,361	16,099	16,432	98.0%
	文庫・新書	23	7	30	50	60.0%
	年鑑・白書	0	0	0	0	-
	雑誌	417	155	572	477	119.9%
	紙芝居	554	270	824	677	121.7%
	CD・カセット	189	40	229	324	70.7%
	テープ図書・デジター図書	0	0	0	0	-
	合計	13,961	5,105	19,066	19,695	96.8%
	（うち自動貸出機貸出冊数）	5,593			6,071	0.0%
当期登録者数	77	46	123	73	168.5%	
現登録者数	723	447	1,170	1,053	111.1%	
読書通帳登録者数	新規	42	24	66	67	98.5%
	再発行	18	5	23	25	92.0%
	合計	60	29	89	92	96.7%
非接触型ICカード登録者数	新規	0	0	0	2	0.0%

※広域利用の自動貸出機統計は、鴻巣市と桶川市の合算でしか抽出することができない。

③個人貸出総計

	今年度計	前年度計	前年比	
利用者数	22,438	22,729	98.7%	
（うち自動貸出機利用人数）	7,957	7,358	—	
貸出点数	120,493	120,044	100.4%	
（うち自動貸出機貸出冊数）	45,443	41,527	—	
読書通帳登録者数	新規	382	428	89.3%
	再発行	132	114	115.8%
	合計	514	542	94.8%
非接触型ICカード登録者数	新規	7	12	58.3%

④団体貸出

		上半期計	下半期計	今年度計	前年度計	前年比
開館日数		177	177	354	355	99.7%
利用者数		606	626	1232	498	247.4%
(うち自動貸出機利用人数)		17	17	34	29	—
貸出 点 数	一般書	69	61	130	67	194.0%
	児童書	1,598	1,441	3,039	2,192	138.6%
	文庫・新書	5	5	10	0	—
	年鑑・白書	0	0	0	0	—
	雑誌	23	32	55	20	275.0%
	紙芝居	290	310	600	405	148.1%
	CD・カセット	10	13	23	33	69.7%
	テープ図書・デジター図書	0	0	0	0	—
	合計	1,995	1,862	3,857	2,717	142.0%
	(うち自動貸出機貸出冊数)	53	52	105	77	—
当期登録者数		2	2	4	3	133.3%
現登録者数		18			18	0.0%

⑤非接触型ICカード新規登録者数

		今年度計	前年度計	前年比	類計数
北本市		7	10	70.0%	15
広域	鴻巣市	0	2	0.0%	3
	桶川市	0	0	—	1
	小計	0	2	0.0%	4
合計		7	12	58.3%	19

⑥相互貸借協力業務

ア 相互貸借点数

		今年度計	前年度計	前年比
他市町村へ貸出(点)		302	252	119.8%
他市町村から借受(点)		250	254	98.4%

イ 相互貸借(貸出館及び点数)

	貸出館	今年度計
1	上尾市図書館	7
2	朝霞市立図書館	6
3	朝霞市立図書館北朝霞分館	12
4	伊奈町立図書館	1
5	入間市立図書館西武分館	3
6	入間市立図書館藤沢分館	1
7	小川町立図書館	1
8	桶川市立坂田図書館	3
9	桶川市立中央図書館	15
10	春日部市立中央図書館	24
11	加須市立騎西図書館	1
12	加須市立童謡のふる里おおとね図書館	6
13	上里町立図書館	3
14	川口市立中央図書館	15
15	川口市立戸塚図書館	5

16	川口市立鳩ヶ谷図書館	1
17	川口市立前川図書館	2
18	川口市立横曽根図書館	1
19	川越市立川越駅東口図書館	3
20	川越市立高階図書館	4
21	川越市立中央図書館	3
22	川越市立西図書館	8
23	行田市立図書館	3
24	久喜市立栗橋文化会館図書室	1
25	久喜市立富浦図書館	1
26	久喜市立中央図書館	2
27	熊谷市立熊谷図書館	9
28	鴻巣市立鴻巣中央図書館	1
29	鴻巣市立吹上図書館	1
30	越谷市立図書館	5
31	埼玉県立久喜図書館	2
32	埼玉県立熊谷図書館	1
33	さいたま市立岩槻図書館	1
34	さいたま市立大宮図書館	1
35	さいたま市立大宮東図書館	1
36	さいたま市立北図書館	1
37	さいたま市立中央図書館	2
38	さいたま市立七里図書館	1
39	さいたま市立南浦和図書館	2
40	さいたま市立宮原図書館	1
41	さいたま市立与野図書館	1
42	坂戸市立図書館	1
43	幸手市立図書館	6
44	狭山市立中央図書館	1
45	志木市立いろは遊学図書館	1
46	志木市立柳瀬川図書館	2
47	白岡市立図書館	5
48	杉戸町立図書館	11
49	草加市立中央図書館	11
50	知識の森 嵐山町立図書館	1
51	鶴ヶ島市立中央図書館	1
52	ときがわ町都幾川公民館図書室	3
53	所沢市立所沢図書館	2
54	所沢市立所沢図書館吾妻分館	3
55	所沢市立所沢図書館狭山ヶ丘分館	7
56	所沢市立所沢図書館新所沢分館	2
57	所沢市立所沢図書館所沢分館	15
58	戸田市立図書館	7
59	長瀬町中央公民館図書室	5
60	新座市福祉の里図書館	4
61	新座市立中央図書館	1
62	蓮田市立図書館	3
63	鳩山町立図書館	1
64	飯能市立こども図書館	1
65	飯能市立図書館	1

66	東松山市立高坂図書館	1
67	東松山市立図書館	5
68	日高市立図書館	8
69	富士見市立中央図書館	2
70	富士見市立図書館鶴瀬西分館	1
71	ふじみ野市立大井図書館	7
72	三郷市立図書館	1
73	三郷市立早稲田図書館	2
74	宮代町立図書館	1
75	三芳町立中央図書館	4
76	八潮市立八條図書館	1
77	八潮市立八幡図書館	2
78	吉川市立図書館	1
79	吉見町立図書館	1
80	和光市図書館	8
合 計		302

ウ 相互貸借（借受館及び点数）

	借 受 館			今年度計
1	上尾市図書館			2
2	朝霞市立図書館			2
3	伊奈町立図書館			4
4	小鹿野町立図書館			4
5	小川町立図書館			2
6	桶川市立桶川図書館			5
7	桶川市立坂田図書館			1
8	桶川市立中央図書館			3
9	越生町立図書館			6
10	春日部市立中央図書館			5
11	神川町多目的交流施設図書室（神泉図書室）			3
12	神川町中央公民館図書室			1
13	川口市立新郷図書館			1
14	川口市立中央図書館			1
15	川越市立高階図書館			1
16	川越市立中央図書館			2
17	行田市立図書館			1
18	久喜市立栗橋文化会館図書室			1
19	久喜市立萬浦図書館			2
20	久喜市立中央図書館			4
21	熊谷市立熊谷図書館			3
22	熊谷市立妻沼図書館			3
23	鴻巣市立川里図書館			1
24	鴻巣市立鴻巣中央図書館			7
25	鴻巣市立吹上図書館			1
26	越谷市立図書館			1
27	越谷市立図書館南部図書室			2
28	埼玉県立久喜図書館			66
29	埼玉県立熊谷図書館			36
30	さいたま市立岩槻東部図書館			1

31	さいたま市立北浦和図書館	2
32	さいたま市立中央図書館	4
33	さいたま市立春野図書館	1
34	さいたま市立南浦和図書館	1
35	さいたま市立与野図書館	1
36	幸手市立図書館	1
37	狭山市立中央図書館	1
38	志木市立いろは遊学図書館	1
39	志木市立柳瀬川図書館	5
40	白岡市立図書館	2
41	杉戸町立図書館	4
42	草加市立中央図書館	4
43	秩父市立荒川図書館	1
44	秩父市立秩父図書館	2
45	鶴ヶ島市立中央図書館	2
46	所沢市立所沢図書館	1
47	所沢市立所沢図書館吾妻分館	1
48	所沢市立所沢図書館樺峰分館	1
49	新座市福祉の里図書館	1
50	新座市立中央図書館	3
51	蓮田市図書館	1
52	飯能市立こども図書館	1
53	飯能市立図書館	3
54	東松山市立高坂図書館	1
55	東松山市立図書館	5
56	深谷市立岡部図書館	1
57	ふじみ野市立上福岡図書館	1
58	本庄市立図書館	2
59	本庄市立図書館児玉分館	1
60	三郷市立図書館	3
61	三郷市立北部図書館	1
62	宮代町立図書館	1
63	毛呂山町立図書館	4
64	八潮市立八條図書館	1
65	八潮市立八幡図書館	1
66	横瀬町立図書館	1
67	吉川市立図書館	2
68	和光市図書館	4
69	蕨市立図書館	5
	合計	250

(3) レファレンス業務（調査等の奉仕）

		上半期計	下半期計	今年度計	前年度計	前年度比
口頭	所在	1,516	1,326	2,842	2,698	105.3%
	書誌事項	6	4	10	10	100.0%
	文献	61	64	125	91	137.4%
	事実	531	396	927	768	120.7%
	その他	18	16	34	29	117.2%
	小計	2,132	1,806	3,938	3,596	109.5%
電話	所在	4	4	8	27	29.6%
	書誌事項	0	1	1	1	100.0%
	文献	3	0	3	1	300.0%
	事実	39	57	96	89	107.9%
	その他	9	7	16	10	160.0%
	小計	55	69	124	128	96.9%
文書	所在	0	0	0	0	—
	書誌事項	0	0	0	0	—
	文献	0	0	0	0	—
	事実	0	0	0	0	—
	その他	0	0	0	0	—
	小計	0	0	0	0	—
合計		2,187	1,875	4,062	3,724	109.1%

(4) その他の奉仕業務

① 児童サービス（指定事業および自主事業の合計数）

絵本の読み聞かせ				
実績		今年度計	前年度計	前年比
実施回数（回）		24	1	2400%
参加人数計（人）		52	1	5200%
内訳	こども（人）	37	1	3700%
	大人（人）	15	0	—
おはなし会・イベント等				
実績		今年度計	前年度計	前年比
実施回数（回）		159	10	1590%
参加人数計（人）		1166	42	2776%
内訳	こども（人）	725	25	2900%
	大人（人）	441	17	2594%

展示（テーマ別企画・特集）等				
実績		今年度計	前年度計	前年比
実施回数（回）		86	88	97.7%
貸出冊数（冊）		8,318	8,807	94.4%

② 障がい者サービス（自主事業）

定期的なおはなし会（毎週金曜日）				
実績		今年度計	前年度計	前年比
実施回数（回）		0	0	—
参加人数計（人）		0	0	—
内訳	こども（人）	0	0	—
	大人（人）	0	0	—

③複写サービス

	今年度計	前年度計	前年比
利用者数(人)	5	9	55.6%
利用枚数(枚)	24	34	70.6%

④リクエストサービス

受付方法	今年度計	前年度計	前年比	
リクエスト トカード なし	窓口受付(Web・窓口)	1186	756	156.9%
	電話受付	21	8	262.5%
	こどもOPAC	520	601	86.5%
あり	窓口受付(記入)	309	429	72.0%
合計(件)	2,036	1,794	113.5%	

(5) 自主事業

①自主事業の実施状況

a.おはなし会・イベント等(内訳)

項目	開催・人数	今年度計	前年度計	前年比
1 読みきかせ 絵本・紙芝居等 (毎日 随時)	開催数(回)	24	1	2400.0%
	人数計(人)	52	1	5200.0%
	こども	37	1	3700.0%
	大人	15	0	—
2 わらべうたと 読みきかせ (毎週水曜日)	開催数(回)	49	4	1225.0%
	人数計(人)	363	11	3300.0%
	こども	187	6	3116.7%
	大人	176	5	3520.0%
3 おはなし会 むしりで囃れる子向け (毎週金・土曜日)	開催数(回)	76	5	1520.0%
	人数計(人)	454	18	2522.2%
	こども	306	10	3060.0%
	大人	148	8	1850.0%
4 障がいのある利用者 のためのおはなし会 (毎週金曜日)	開催数(回)	0	0	—
	人数計(人)	0	0	—
	こども	0	0	—
	大人	0	0	—
5 出前おはなし会 (要請がある場合)	開催数(回)	7	1	700.0%
	人数計(人)	125	13	961.5%
	こども	82	9	911.1%
	大人	43	4	1075.0%
6 こどもの読書週間 イベント等 (毎年4/23-5/12)	開催数(回)	1	0	—
	人数計(人)	10	0	—
	こども	7	0	—
	大人	3	0	—
7 小学生対象「宗宗カ レッジ」事業 7/26,7/27,3/28 3/30実施	開催数(回)	4	—	—
	人数計(人)	23	—	—
	こども	20	—	—
	大人	3	—	—
8 親子交流フェス (9/23児童館と合 同事業)	開催数(回)	1	—	—
	人数計(人)	40	—	—
	こども	40	—	—
	大人	0	—	—

9	季節のおはなし会	開催数(回)	3	2	150.0%
		人数計(人)	53	25	212.0%
		こども	35	15	233.3%
		大人	18	10	180.0%
10	読み聞かせボラン ティアミニ講座 (6/28実施)	開催数(回)	1	—	—
		人数計(人)	2	—	—
		大人	2	—	—
11	読み聞かせボラン ティア養成講座	開催数(回)	1	1	100.0%
		人数計(人)	25	24	104.2%
		大人	25	24	104.2%
12	親子で楽しむ わらべうたと 読みきかせ講座	開催数(回)	1	—	—
		人数計(人)	17	—	—
		こども	10	—	—
		大人	7	—	—
合計		開催数(回)	168	13	1292.3%
		人数計(人)	1164	68	1711.8%
		こども	724	41	1765.9%
		大人	440	27	1629.6%

※障がいのある利用者のためのおはなし会については、新型コロナウイルス感染防止対策として中止した。安全が確認できたら、再開する予定である。

b.月別展示テーマと貸出冊数（内訳）

月	展示(テーマ別企画・特集)内容	貸出冊数	月	展示(テーマ別企画・特集)内容	貸出冊数
4	季節の展示 はる	464	10	季節の展示 あき	486
	季節の展示 こどもの読書週間			ちしき どうぶつのいのち	
	ちしき のぞいてみようじめのした			行事 ハロウィン	
	行事 入園・入学			読書週間 パレットリーディング	
	行事 こどもの日			特集 おふる	
	特集 いろいろなたね			常設展示 外国語の本	
	常設展示 外国語の本			常設展示 プログラミング	
	常設展示 プログラミング				
5	季節の展示 みどりのほん	651	11	季節の展示 ふゆ	580
	季節の展示 こどもの読書週間			ちしき ニンゲンのココロとカラダ	
	ちしき みたい！ あいたい！			行事 クリスマス	
	行事 いくつのえほん			読書週間 パレットリーディング	
	行事 こどもの日			特集 ロ本のむかしばなし 世界のむかしばなし	
	特集 パンたいすき			常設展示 外国語の本	
	常設展示 外国語の本			常設展示 プログラミング	
常設展示 プログラミング					
6	季節の展示 あめ	847	12	季節の展示 ふゆ	745
	ちしき みたい！ あいたい！			ちしき ニンゲンのココロとカラダ	
	行事 こどものための100冊			行事 クリスマス	
	行事 いくつのえほん			行事 お正月	
	特集 パンたいすき			特集 ロ本のむかしばなし 世界のむかしばなし	
	常設展示 外国語の本			常設展示 外国語の本	
	常設展示 プログラミング			常設展示 プログラミング	
7	季節の展示 なつ	1,220	1	季節の展示 ふゆ	590
	ちしき みたい！ あいたい！			ちしき Let's go 工場見学！	
	ちしき つながるいのち(鈴木まもる氏の本)			行事 お正月、お盆、チョコレート	
	行事 平和			特集 かそえてみよう1.2.3	
	読書まつり この本よんでグリーンリスト			常設展示 外国語の本	
	読書まつり この本よんでピンクリスト		常設展示 プログラミングの本		
	特集 2022夏スペシャルistたちが選んだ本		2	季節の展示 ふゆ	509
	常設展示 外国語の本			ちしき Let's go 工場見学！	
	常設展示 プログラミング			行事 お盆、チョコレート、ひなまつり	
	季節の展示 なつ			特集 かそえてみよう1.2.3	
	常設展示 外国語の本				
	常設展示 プログラミングの本				
8	ちしき つながるいのち(鈴木まもる氏の本)	1,238	3	季節の展示 はる	532
	行事 平和			ちしき おおきくなったら	
	読書まつり この本よんでグリーンリスト			行事 通園通学こもの、入園入学	
	読書まつり この本よんでピンクリスト			特集 ネコ	
	特集 2022夏スペシャルistたちが選んだ本			常設展示 外国語の本	
	常設展示 外国語の本			常設展示 プログラミングの本	
	常設展示 プログラミング				
	季節の展示 なつ				
9	ちしき どうぶつのいのち	456		下半年合計	3,442
	行事 おつきさま			今年度総計	8,318
	特集 おふる			昨年度総計	8,807
	常設展示 外国語の本			前年度比	94.4%
	常設展示 プログラミング				
	季節の展示 あき				
上半期合計		4,876			

c. 北本市電子図書館利用統計

項目	月	4	5	6	7	8	9	上半期計	
アクセス件数		61	140	90	99	132	75	597	
コンテンツ貸出点数		47	73	44	99	63	58	384	
項目	月	10	11	12	1	2	3	下半期計	今年度計
アクセス件数		56	63	74	63	59	68	383	980
コンテンツ貸出点数		39	38	46	46	51	107	327	711

d. 読み聞かせボランティア養成講座

1	11月1日	北本まちづくり共同事業体(北本市立こども図書館) 主催自主事業「読み聞かせボランティア養成講座(ステップアップ編)」 講師JPIC読書アドバイザー 見玉ひろ美氏	募集人数：40名／応募人数：22名 ボランティア代表者：3名 10:10～10:30 ボランティア団体の紹介 10:30～12:00 読み聞かせボランティア養成講座 昨年の基礎編に引き続き、ステップアップ編を開催した。
---	-------	---	---

(6) 指定事業

①おはなし会・イベントおよび視察・見学等

	項目	開催・人数	今年度計	前年度計	前年比
ボランティア団体との協働事業					
1	協働おはなし会 ひとりで開ける子向け (第4金曜日・第2土曜日)	開催数(回)	23	2	1150%
		人数計(人)	161	2	8050%
		こども	108	1	10800%
		大人	53	1	5300%
2	子ども読書まつり イベント等	開催数(回)	1	—	—
		人数計(人)	12	—	—
		こども	8	—	—
		大人	4	—	—
体験等利用者への対応					
3	こども図書館 視察・見学等 (随時)	開催数(回)	11	5	220%
		人数計(人)	209	64	327%
		こども	177	55	322%
		大人	32	9	356%

②展示(おすすめ本)の実施状況

月	展示内容	今年度	前年度	前年比
6	課題図書	10	33	30.3%
7	課題図書	88	68	129.4%
	読書感想文におすすめの本	30	145	20.7%
8	課題図書	69	63	109.5%
	読書感想文におすすめの本	58	245	23.7%

※課題図書・読書感想文におすすめの本は毎年6月～8月末までの期間展示としている。

(7) 資料統計

① 蔵書数累計

	累計点数		
	今年度末	前年度末	前年比
一般書	2,184	1,999	109.3%
文庫・新書	42	40	105.0%
児童書	28,438	27,809	102.3%
児童文庫	674	630	107.0%
年鑑・白書	0	0	—
雑誌	5,070	4,911	103.2%
紙芝居	997	948	105.2%
AV(CD/カセット)	386	367	105.2%
合計	37,791	36,704	103.0%

bggv

② 資料統計

前年度末所蔵点数	令和4年度増加点数							令和4年度 期末蔵書数
	購入分		寄贈	弁償	移管	廃棄	当年 増加点数	
	図書類	視聴覚資料						
36,704	2,049	19	21	30	0	▲ 1,032	1,087	37,791

③ 資料種別統計

資料種別	前年度末 蔵書数	内訳					令和4年度 増加合計	令和4年度 蔵書数	差異
		購入	寄贈	弁償	移管	廃棄			
一般書	1,999	189	4	2	▲ 7	▲ 3	185	2,184	0
文庫・新書	40	2	0	0	0	0	2	42	0
児童書	27,809	1,512	16	27	▲ 1	▲ 925	629	28,438	0
児童文庫	630	37	0	0	8	▲ 1	44	674	0
年鑑・白書	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑誌	4,911	261	0	1	0	▲ 103	159	5,070	0
紙芝居	948	48	1	0	0	0	49	997	0
AV(CD/カセット)	367	19	0	0	0	0	19	386	0
合計	36,704	2,068	21	30	0	▲ 1,032	1,087	37,791	0

※廃棄の理由として、児童書・児童文庫については、汚損・破損等これ以上の修理が不可能で、書架に出せないレベルの資料を廃棄している。必要な資料はその都度買い換えをしている。学習書については、子どもたちに最新の情報を提供する使命があるため、情報が古い本は除籍廃棄し、新しい資料を購入している。

北本市立こども図書館
令和4年度 上半期利用者満足度調査結果報告書

1、調査目的

北本市立こども図書館(以下「こども図書館」)における利用実態及び利用者の満足度を把握し、今後のより良い図書館運営に活かすため、令和4年度上半期利用者満足度調査を実施した。上半期は非接触型サービスの調査を中心に設問を作成した。大人用アンケート用紙と子ども用(小学生以下)のアンケート用紙を作成し、同じ質問内容とした。

2、調査概要

実施日	令和4年9月10日(土)～令和4年9月19日(月)
実施時間	午前9時(開館)から午後7時(閉館)まで
実施場所	北本市立こども図書館
調査対象者	北本市立こども図書館来館者
配布枚数	150枚(大人用100枚 子ども用50枚)
回収枚数	101枚
回収期間	令和4年9月10日(土)～令和4年9月25日(日)
回収率	67.3%

3、集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていない。各項目に回答数の集計表を添付し、数字でも分かるようにした。パーセントの計算は回答数を100として計算した。性別は質問していない。

4、利用者満足度調査

配布については、貸出・返却の際にアンケート用紙を手渡し、協力をお願いした。館内に記載台を設け、その場でご記入いただけるようにした。お持ち帰りの場合には「次回の来館時にお持ちください。」とお声がけした。図書館の接客サービスや資料、展示、開館時間等については概ね好評である。自動貸出機利用者62%、図書館ホームページを知っている51%、パスワード登録者34%、電子図書館利用者2%とPR不足が否めない。令和4年度下半期は以上の項目の利用促進に努めたい。10月20日(木)～11月6日(日)に館内に結果を掲示し、利用者に調査結果を報告した。

以上

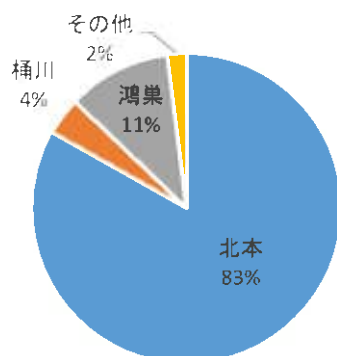
北本市立こども図書館 利用者満足度調査 集計結果

調査実施期間 令和4年9月10日(土)～令和4年9月19日(月)

質問1 ご利用者様について

(1)お住まい

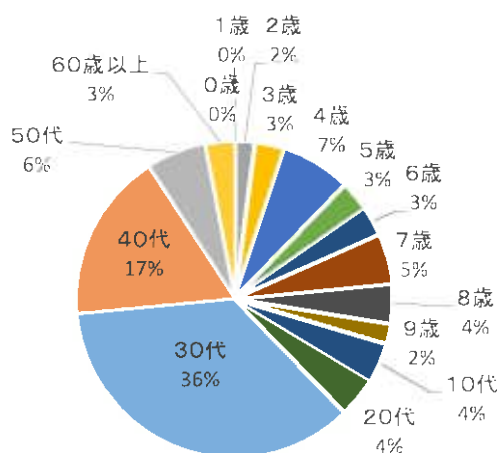
北本	桶川	鴻巣	その他
84	4	11	2
83%	4%	11%	2%



(2)年 齢

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
0	0	2	3	7	3	3	5
0%	0%	2%	3%	7%	3%	3%	5%

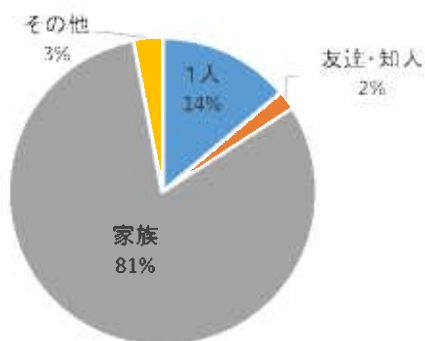
8歳	9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
4	2	4	4	35	17	6	3
4%	2%	4%	4%	36%	17%	6%	3%



(3)どなたと来館されましたか？

1人	友達・知人	家族	その他
14	2	84	3
14%	2%	81%	3%

その他：ヘルパー 2
おばあちゃん 1

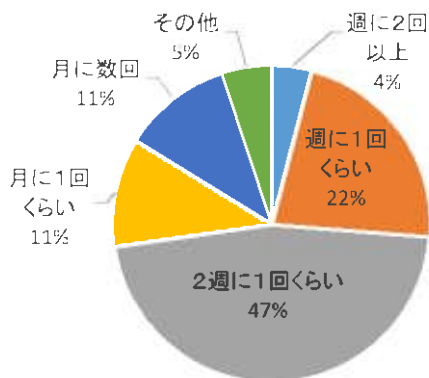


(4)利用頻度

週に2回以上	週に1回くらい	2週に1回くらい
4	22	46
4%	22%	47%

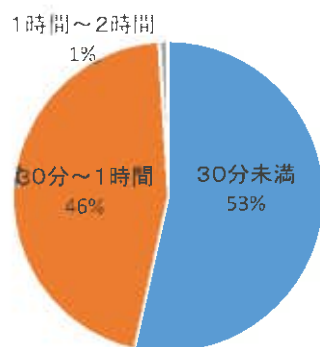
月に1回くらい	月に数回	その他
11	11	5
11%	11%	5%

その他：友達にさそわれた 1
1か月2.3回 1
半年ぶり 1
初めて 2



(5)滞在時間

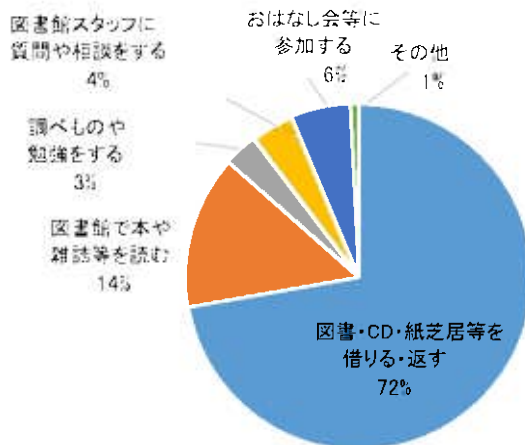
30分未満	30分～1時間	1時間～2時間
54	46	1
53%	46%	1%



(6)利用目的(複数回答可)

①図書・CD・紙芝居等を借りる・返す	91	72%
②図書館で本や雑誌等を読む	18	14%
③調べものや勉強をする	4	3%
④図書館スタッフに質問や相談をする	5	4%
⑤おはなし会等に参加する	7	6%
⑥その他	1	1%

その他:子ども用 1



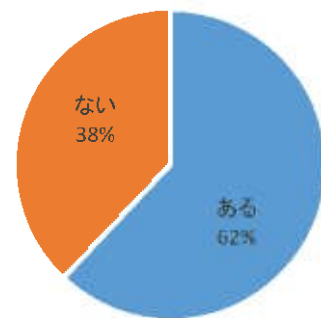
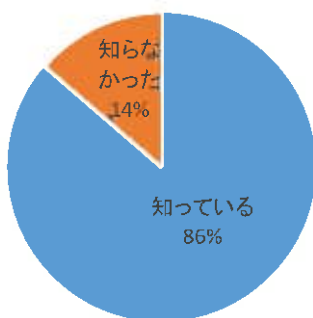
質問2 自動貸出機について

(1)自動貸出機があることを知っていますか？

知っている	知らなかった
82	13
86%	14%

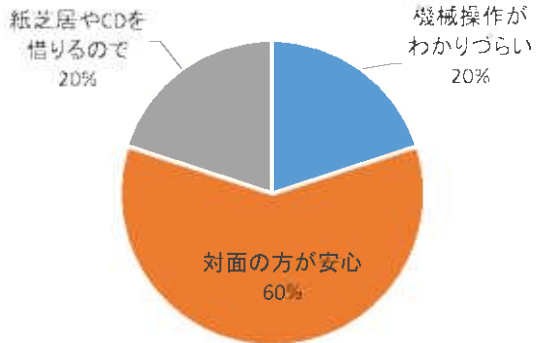
→[(1)で知っていると答えた方のうち]
実際に使ったことはありますか？

ある	ない
49	30
62%	38%



使ったことがない方は当てはまる理由1つに○をつけてください

機械操作がわかりづらい	4	20%
対面の方が安心	12	60%
紙芝居やCDを借りるので	4	20%



→[(1)で知らなかったと答えた方のうち] 今後使ってみたいと思いますか？

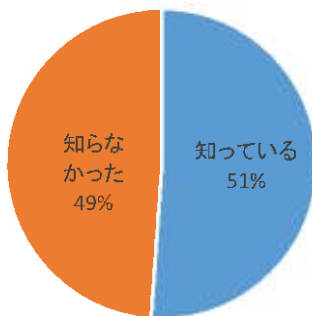
思う	8	73%
思わない	3	27%



質問3 図書館のホームページの利用について教えてください。

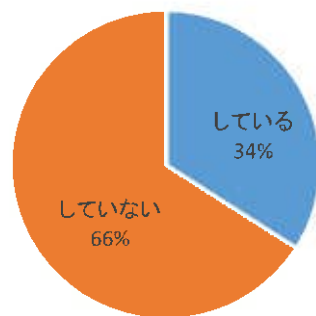
(1) ホームページから本の予約ができることを知っていますか？

知っている	48	51%
知らなかった	46	49%



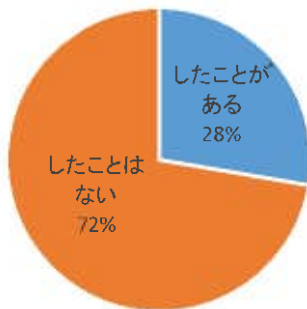
(2) そのために必要なパスワードを登録していますか？

している	32	34%
していない	62	66%



(3) 実際にホームページから本の予約をしたことがありますか？

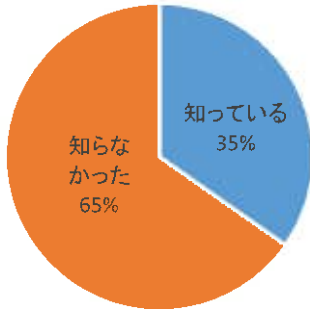
したことがある	26	28%
したことはない	68	72%



質問4 「北本市電子図書館」について教えてください。

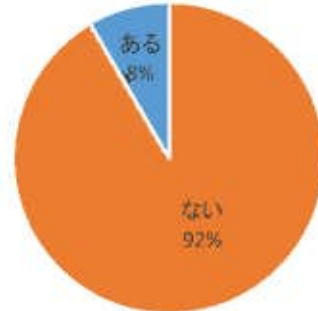
(1)「北本市電子図書館」を知っていますか？

知っている	知らなかった
33	62
35%	65%



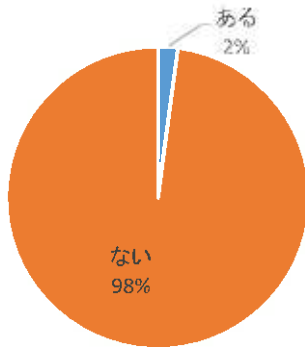
(2)「北本市電子図書館」のホームページにアクセスしたことはありますか？

ある	ない
8	87
8%	92%



(3)電子書籍を借りたことがありますか？

ある	ない
2	93
2%	98%



質問5 こども図書館について、ご意見がありましたらお聞かせください。

いつもキレイな本で 北本市はうらやましいです。
本がきれいで、よく整理されていると 思いました。
きれいで本も見やすくて楽しいです。おかげで子どもたちも 本好きになりました。
もっとたくさんかりたい
いつも色々な本を 気軽にかりることができて 親子で楽しんでいます。 ありがとうございます。
いつもかわいくて ステキな空間だと思います！
きれいで 子供と過ごしやすい 良いです
どこに こどもとしゃかんの 本のまとまりのちずがあるんですか。
カードを紛失しても 同じNoで 再発行していただきたい
たくさん本があるので 楽しいです
いつもありがとうございます。
他の市よりも 本が充実していて 見やすく すばらしいと思います。
いつも 丁寧な対応ありがとうございます。これからも 楽しい本を沢山お願いします。
しかけ絵本を 増やしてほしい
いつもキレイで 安心して利用できます。ありがとうございます。
子供向けのイベントを 増やしてほしい。
いつも子供と 利用させていただいており、本についての 相談ものっていただいたことが あり、とても親切にさせていただいています。
金曜のおはなし会にも参加させていただいており、とても良い会と想っております。
いつも大変助かっています。ありがとうございます。
孫の本の事で 大変お世話になっております。
心から感謝しております。有難う御座います。
英語の絵本を 増やしてほしいです
分からない事を親切に教えてくれたり、ありがとうございます。
何年前から通っていましたが 知らないことがあり、時間がある時に電子図書館見ても よいと思います。
クイズなどをやったらいいと思う
ねこちゃんのごほんが たくさんよみたいです。
月齢ごとの 絵本セットなどあったらナァ・・・ と思っています（選ぶのが苦手で・・・）
おはなしかいと、じどうかんのダンスのじかんが 同じなので（金曜日）じかんがずれて いると 両方参加できると思います。
いつもありがとうございます。
蔵書を 増やしてもらえると うれしいです（ロングセラー、絶版、DVD）。 読書通帳は引き続き提供希望です。

北本市立こども図書館
令和4年度 下半期利用者満足度調査結果報告書

1、調査目的

北本市立こども図書館(以下「こども図書館」)における利用実態及び利用者の満足度を把握し、今後のより良い図書館運営に活かすため、令和4年度下半期利用者満足度調査を実施した。下半期は図書館サービス全般についての調査を中心に設問を作成した。大人用アンケート用紙と子ども用(小学生以下)のアンケート用紙を作成し、同じ質問内容とした。

2、調査概要

実施日	令和5年2月5日(日)～令和5年2月12日(日)
実施時間	午前9時(開館)から午後7時(閉館)まで
実施場所	北本市立こども図書館
調査対象者	北本市立こども図書館来館者
配布枚数	150枚(大人用100枚 子ども用50枚)
回収枚数	66枚
回収期間	令和5年2月5日(日)～令和5年2月25日(土)
回収率	44.0%

3、集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていない。各項目に回答数の集計表を添付し、数字でも分かるようにした。パーセントの計算は回答数を100として計算した。性別は質問していない。

4、利用者満足度調査

配布については、貸出・返却の際にアンケート用紙を手渡し、協力をお願いした。館内に記載台を設け、その場でご記入いただけるようにした。お持ち帰りの場合には「次回の来館時にお持ちください。」とお声がけした。図書館の接客サービスや資料、展示、開館時間等については概ね好評である。自動貸出機利用者48%、館内検索端末を利用者56%、電子図書館利用者8%とPR不足が否めない。令和5年度上半期は以上の項目の利用促進に努めたい。3月15日(水)～3月31日(金)に館内に結果を掲示し、利用者に調査結果を報告した。

以上

北本市立こども図書館 利用者満足度調査 集計結果

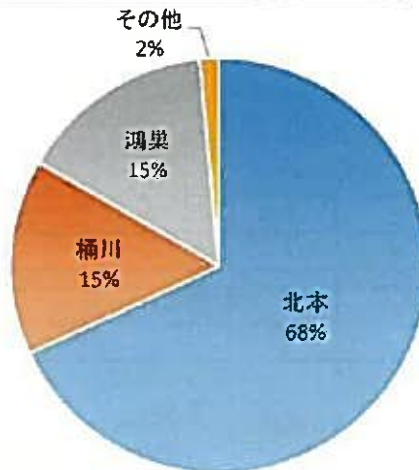
調査実施期間 令和 5年 2月 5日(日)～令和 5年 2月12日(日)

質問1 ご利用者様について

(1)お住まい

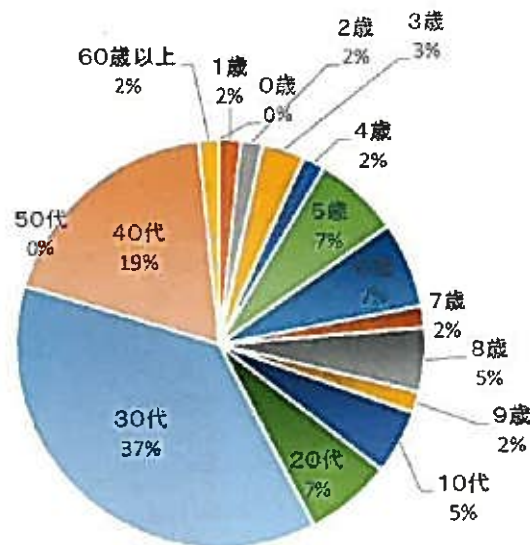
北本	桶川	鴻巣	その他	合計
45	10	10	1	66

その他:川越 1



(2)年 齢

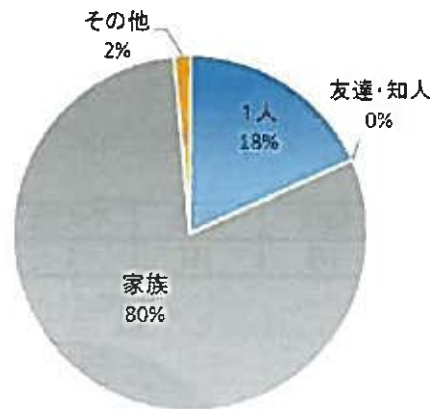
0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳
0	1	1	2	1	4	4	1
8歳	9歳	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
3	1	3	4	22	11	0	1



(3) どなたと来館されましたか？

1人	友達・知人	家族	その他
12	0	53	1

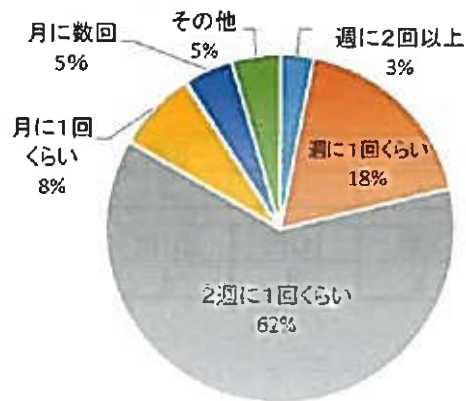
その他:子供 1



(4) 利用頻度

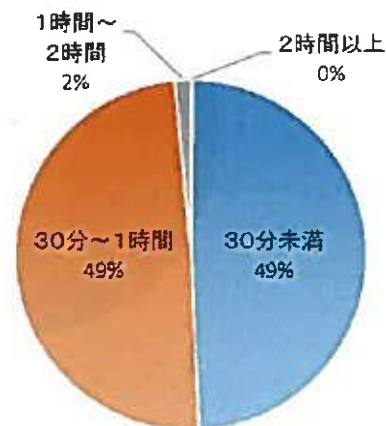
週に2回以上	週に1回くらい	2週に1回くらい
2	12	41
月に1回くらい	月に数回	その他
5	3	3

その他:初めて 1
3回目 1
ときどき 1



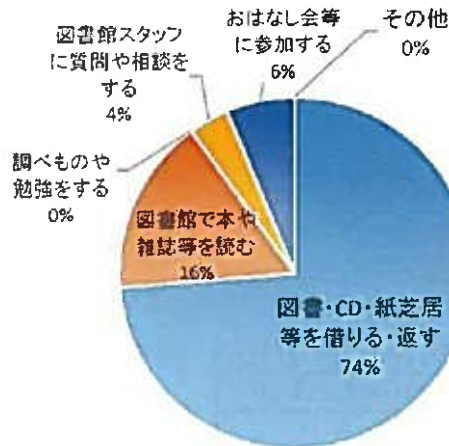
(5) 滞在時間

30分未満	30分～1時間	1時間～2時間	2時間以上
32	32	1	0



(6)利用目的(複数回答可)

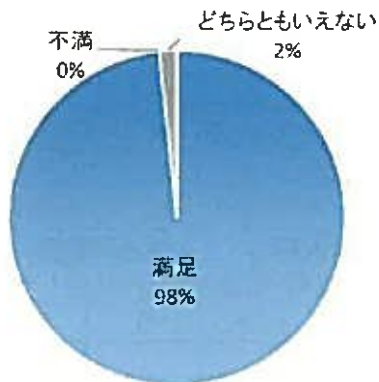
①図書・CD・紙芝居等を借りる・返す	59
②図書館で本や雑誌等を読む	13
③調べものや勉強をする	0
④図書館スタッフに質問や相談をする	3
⑤おはなし会等に参加する	5
⑥その他	0



質問2 こども図書館の満足度について教えてください。

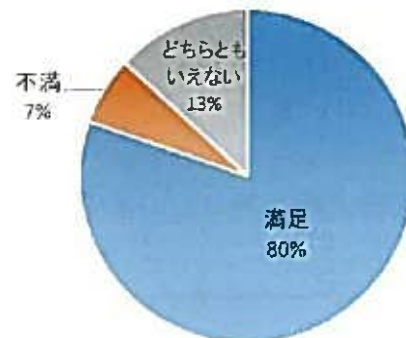
(1)スタッフの対応(窓口・電話)

満足	不満	どちらともいえない
59	0	1



(2)本の探しやすさ

満足	不満	どちらともいえない
49	4	8



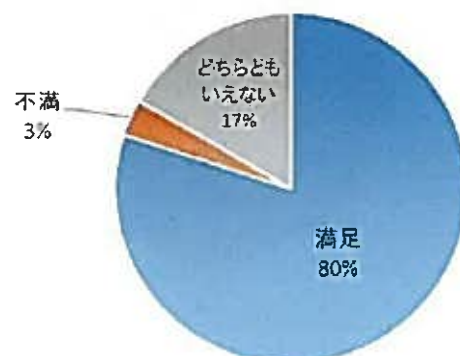
(3)本や雑誌の充実

満足	不満	どちらともいえない
51	3	6



(4)おすすめの本のコーナー

満足	不満	どちらともいえない
48	2	10



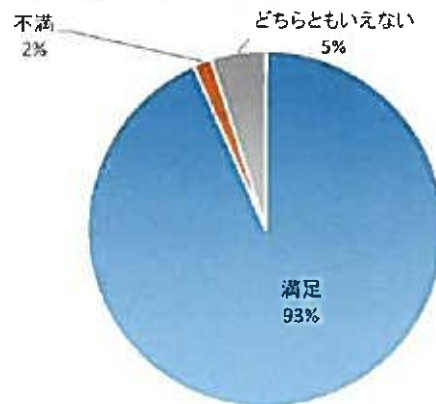
(5)おはなし会や行事

満足	不満	どちらともいえない
25	13	18



(6)開館時間(9時~19時)

満足	不満	どちらともいえない
56	1	3



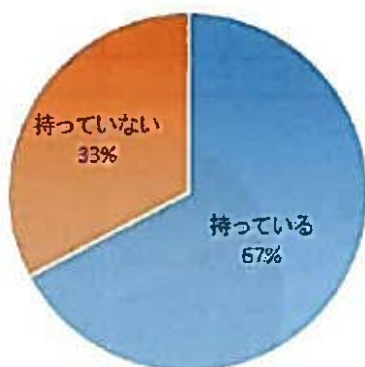
(7)貸出数(本・雑誌10冊、CD・カセット・紙芝居2点)や貸出期間(2週間)

満足	不満	どちらともいえない
55	3	3



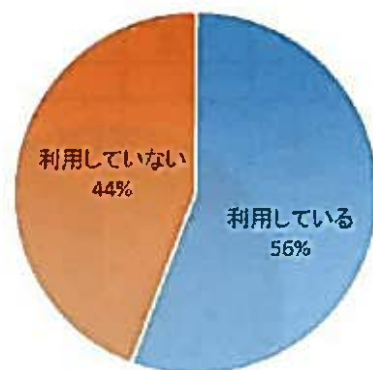
質問3 読書通帳を持っていますか?

持っている	持っていない
41	20



質問4 こども図書館内のOPAC(検索端末)を利用していますか?

利用している	利用していない
34	27



質問5 自動貸出機を利用していますか？

※令和3年4月～導入しました。

利用している	利用していない
29	32

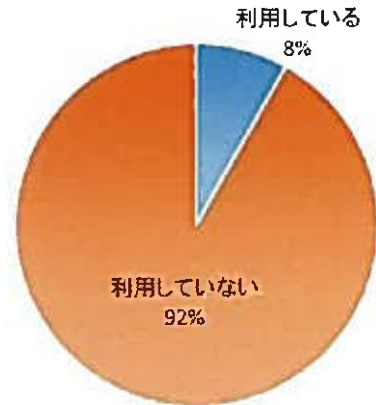


質問6 「北本市電子図書館」を利用していますか？

※2令和3年11月～サービス開始。

(北本市内在住・在勤・在学の方限定)

利用している	利用していない
5	56



質問7 こども図書館をまた利用したいですか？

利用したい	利用したくない
61	0



質問8 こども図書館について、ご意見がありましたらお聞かせください。

※別紙参照

質問8 こども図書館について、ご意見がありましたらお聞かせください。

こそだてしえんの本をジャンル別にしてほしい
たくさん絵本を入れて下さい。
いろいろ読みたいです。
人気の本をふやしてください。
ほんがすてきでおへやきれいですてきです。
「～のひみつ」シリーズが読みたいです。
もうちょっといい本があるといいです
とてもきれいで気持ちいいです。
いつも気にはしていたが初めて図書館に入って、思っていたよりも充実しました！ また利用したいです。
おすすめの本コーナーがあればいいかな
幼児・低学年・中学年とか (読んだ方がいい本とかの本があると思うがそれについての本のコーナーとかあると便利かも)
きれいな図書館があつてうれしい
いつも子どもと楽しく利用させていただきありがとうございます！
絵本のシリーズを充実させてほしい(コロちゃんシリーズ)
遅くまで開館しているので利用しやすいです。 又、コロナに感染してしまい返却ができなかった時も、Telで継続対応してくれて助かりました。
作者で絵本が並んでるとよりさがしやすく嬉しです。
季節の本をとりあげてるコーナー好きです。
いつもたのしみにしています。
いつもありがとうございます。
ぞうのエルマーの絵本が大好きです。いつもありがとうございます。
床暖房で、ゆったりくつろぎながら子どもとふれあえるスペースだと思いました。
川越、ふじみ野図書館を普段利用します(子どもエリアはかつて利用した)が、 全てのエリアでくつをぬいでではない。
いつもいいえほんをありがとう
下の子が動き回ってしましますが、温かい目で見ていただけるのでほっとします。 ありがとうございます。
最新刊の本に興味があるのですが、借りられないのが残念です…
科学漫画サバイバルシリーズ、おしりダンディなどを置いてほしいです。 スタッフのみなさんとても感じが良いです。
ルルとララの本をいっぱいよみたい。
子育てしている親に向けた図書や雑誌も充実していてありがたいです。
ほんやかみしばいおもしろいからいっぱいだしてくれともっといいとおもう！

1. 施設の概要

(1) 文化センター

施設の名称	北本市文化センター(北本市中央公民館・北本市立中央図書館)
施設の所在地	北本市本町1丁目2番地1
起工	昭和57年6月22日
竣工	昭和59年2月10日
構造	鉄筋コンクリート造り(一部鉄骨鉄筋コンクリート)
規模	地下1階、地上4階 敷地面積 10,633.46 m ² 建築面積 3,478.18 m ² 延べ面積 7,686.26 m ² (中央公民館 6,307.45 m ²) (中央図書館 1,224.99 m ²) (レストラン 153.82 m ²)

(2) 中央公民館

ホール(1階・2階)、楽屋1、楽屋2、リハーサル室、楽屋控室、シャワー室、主催者控室、事務室、エントランスホール、ホワイエ、研修室(第1、第2、第3)、IT室、展示ホール、プラネタリウム、創作室、会議室(第1、第2、第3、第4、第5)和室、練習室、児童室

(3) 中央図書館

一般開架室、閉架書庫、朗読集会室、事務室、児童図書コーナー、学習コーナー、新聞・雑誌コーナー、えほんコーナー
--

2. 指定管理者

名称	acTrC 北本ネットワーク(あくとーくきたもとねっとわーく)
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで
代表企業	株式会社 東急コミュニティー 所在地 東京都世田谷区用賀四丁目10番地1
構成企業	株式会社 図書館流通センター 所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号
構成企業	アクティオ 株式会社 所在地 東京都目黒区東山1丁目5番4号

3. 指定管理業務を行うにあたっての基本方針

(1) 管理運営方針について

第2期は「10年後、20年後も北本市民の生涯学習の拠点として発展していく」を基本方針に、「北本市民・利用者とともに創り上げる文化センター」をビジョンとして取り組んできました。第2期はコロナ禍という困難もありましたが、日々の運営でいただくご意見や要望を真摯に受け止め、時間をかけて利用者との信頼関係を構築してきました。

第3期は文化センターが何世代にもわたって愛され続け、北本市の持続可能性に貢献し、「生涯学習の中核施設」や「文化の発信基地」として、本施設をさらに活性化するため、第3期の新ビジョンと基本方針を下記の通り定めます。

●第3期における新ビジョン

「何世代にもわたって愛される文化センターを目指して

～新しい世代の取り込みと、施設価値を最大限に発揮する仕掛けづくり～

●第3期における基本方針

- ①若者も考える、参加する、創る、文化センターへ
- ②文化センターに呼び込む仕掛けづくり
- ③発想転換による市民活動の場の拡大
- ④デジタル活用による利用サービス向上

令和5年度は、第3期の新ビジョンの実現に向け、コロナ禍を乗り越え、市民との文化的な活動や生涯学習の拠点を取り戻し、新しい関係や新しい環境づくりに積極的にチャレンジします。

●令和5年度運営方針

【位置づけ】『再興』～コロナ禍を乗り越え、生涯学習の拠点を取り戻す～

【テーマ】新しい関係、新しい環境の積極的な創造

- ①市民との新しいネットワークづくり（例：市民との利用促進WS、北本福祉祭連携 等）
- ②市民活動の場を広げる取り組み（例：リハーサル室の利活用 等）
- ③利用サービス向上に向けた環境づくり（例：キャッシュレス決済導入 等）
- ④デジタル活用推進（例：電子図書館コンテンツ拡充、図書館タブレット端末導入、Wi-Fi活用 等）

目標	位置づけ	『再興』～コロナ禍を乗り越え、生涯学習の拠点を取り戻す～
	テーマ	「新しい関係、新しい環境の積極的な創造」
内容	新型コロナウイルスの5類感染症への移行（令和5年5月8日）により、社会や人々の意識はコロナ禍前の日常に戻ってきません。コロナ禍で急速に進んだデジタル化等、社会変化にも柔軟に対応しながら、生涯学習の拠点として市民がもっと気軽に集える場として再興します。市民との新しい関係や環境創りにチャレンジし、文化センターの利用促進につなげます。	
中央公民館	<公民館事業> ・下記講座等のプログラム改善と実施 通年「子ども劇場」「第40期 考入学級」 展示「北本美術展」「きたもと写真コンクール入賞作品展」「きたもと子ども劇場パネル展」 「トランプサイズからはじめる油絵講座受講生作品展」 講座「夏休み子ども公民館」「リコーダーアンサンブル教室」 「トランプサイズからはじめる油絵講座」「茶道教室」「いけばな教室」「簡単、楽しくダンス体験ZUMBA」 ・利用者ニーズを考慮した新規講座の開催 <自主文化事業> ・毎月2回開催が定着した「みんなのピアノの日」に加え、開催同日舞台裏「リハーサル室」にて北本市社会福祉協議会と連携し、市内の小・中学生を対象にした「無料・ピアノレッスン体験」を下期から実施 ・「子ども劇場フェスティバル」は、密集を避け5月4日・5日の2日間で4団体の公演。開催期間中には、地域で活動するこれまでの出演団体を支援する為、活動状況を伝えるパネル展を開催。次代を担う世代に向け発信 ・「太鼓祭inきたもと」7回目を迎える津軽笛奏者 佐藤ぶん太と市内太鼓3団体が共演する参加型共催事業 ・「東京音楽大学提携コンサート」は、5月・7月・9月・1月・3月の計5回開催（感染状況を考慮しつつ、本来のホールホワイエではなくホール内で開催予定） ・「吉野直子ハーブ体験演奏会」「吉野直子ハーブ・リサイタル」を6月23日、24日に開催 ●使用制限が解除されたホールホワイエで、新たに『ロビーライブ2023』と題し施設、地域に根差した事業を開催 ・3年振りに「モンゴル馬頭琴ライブ」を4月開催するのを皮切りに、5月～8月に「音楽で綴るモンゴルの伝統文化」と題した4回連続講演会をホールホワイエで開催。締めくくりの9月には、伝統の歌唱法オルティンドーの演奏会も実施 ・中秋の名月「十三夜」と音楽・お茶会・お花を融合させた「お月見演奏会」は、昨年復活し2回目を開催。今年も10月に実施 ・北本市社会福祉協議会と連携して開催する「北本福祉祭」では、「珈琲と文化講演会」、北本団地・ジャズ喫茶「中庭」カルテットのライブセッションを開催 ●毎年開催する文化センターを代表する定番事業 ・星まつりコンサート2023 加賀谷 玲「銀河鉄道の夜」を弦楽合奏と声優の朗読で構成する新たなバージョンとして開催 ・「鬼太鼓座北本公演2023」7回目を迎える日本を代表する太鼓グループの演奏は、年末の文化センター恒例事業 ・きたもと名画展「ラゲリより愛を込めて」：戦後シベリアに抑留された日本兵とその家族の絆を描く 俊逸な作品を選び、本年度は2回の映画上映会を予定 ・さくまひでき・タブレット純・パーマ大佐 トリプルライブ「北本でショー」：本年度で4回目となる北本ゆかりのメンバーによるエンターテインメントショー	
	目標利用者数	7,000人
	北本市文化センター	<新型コロナウイルス感染防止と緩和対応> ・マスクの着用個人判断に伴い、マスク着用優先席とマスクなし優先席を設定 ・家族向けの投影は、3密を避けるよう一部のドアを開けたままの投影と時間短縮する代わりに、コロナ禍前より投影回数を増やし、粗品（オリジナルカードゲーム）を配布 ・ドアを開けての星空解説は、長時間の密室を避けるために30分間の投影実施と粗品（星空観測の資料）を配布 ・全ての投影時間と定員は、前年度より10%増 ・団体専用投影は、新型コロナウイルスを考慮し利用者側と内容相談後決定 <新サービス/特別投影> ・エンターテインメント性の強いデジタル映像投影回と星空解説重畳投影回を明確化 ・新たに特別投影（有料/無料）の回を設定し、イベントを充実 ・夏休み期間は「夏の星まつり」を設定し通常番組と期間限定番組を追加して充実化 ・「YouTube」を活用した番組投影とのコラボレーション的対応 <設備面> ・プラネタリウムシステム劣化対応として星空解説投影よりデジタル映像投影を90%に大幅引き上げ
目標利用者数	（コロナ緩和の定員40名を考慮し） 5,700人	
中央図書館	<図書館事業> ・電子図書館のコンテンツの拡充及び、利用促進（電子図書館利用体験会等） ・タブレット端末の導入（Wi-Fi設備活用）及び、データベースの活用（レファレンス支援） ・子ども図書館との連携事業の強化（調べる学習コンクール、こども司書講座等の実施） ・「図書館を使った調べる学習コンクール」の継続、周知徹底 ・「子ども読書まつり」及び「児童文学講座」の実施 こども図書館・市内ボランティア団体との協働開催 ・バリアフリーサービスの推進 朗読者スキルアップ研修、デジター図書館の整備等 ・若年層（YA世代）へのアプローチ ・現在実施している事業の継続、スタッフ研修の充実、他施設との連携	
	目標利用者数	210,000人
施設内連携 利用促進の取組み	<施設内連携> ・星まつりコンサート2023 加賀谷 玲「銀河鉄道の夜」でのホール、プラネタリウム、図書館事業の連携 ・考入学級に自主事業等を盛り込み、考入学級を支援 ・中央図書館での公民館事業・プラネタリウム事業・自主事業に関連した資料展示、連携 <利用促進の取組み> ・SNS（Instagram、Twitter、Facebook、Line、YouTube）の有効活用による利用促進 ・利用促進に関する新たな取組み（利用促進ワークショップ、利用促進アンケートイベント、キッチンカー出店） ・公民館窓口のキャッシュレス決済導入による利用サービス向上 ・館内無料Wi-Fiサービス継続、周知強化（中央公民館2階、3階、中央図書館）、中央図書館のタブレット端末導入 ・リハーサル室等新しい貸館利用の検討開始（施設の空き時間、空き空間の有効活用）	
	目標利用者数	貸館利用者数 令和4年度比102%

(2) 市民の平等な利用について

①設置目的の理解

●基本的な考え方

- ・北本市文化センターは、中央公民館、中央図書館で構成されております。社会教育法第 20 条「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もつて住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」とあります。
- ・「北本市立中央図書館設置及び管理条例」第 1 条は、「市民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。」とあります。
- ・設置目的と、関連する施行規則、各種規則等に則り、適切な施設の運営を行います。
- ・公共施設として、公平、公正、平等なサービスを提供し、利用者の声を運営に反映する仕組みを一層強化していきます。

②開館時間、休館日の考え方

●利用者の利便性を高め、利用機会を拡大

・開館時間の設定

利用者の利便性向上のため、中央公民館の窓口受付対応時間を午後 7 時までを午後 7 時 30 分までとし 30 分延長しています。

文化センター	午前 9 時～午後 10 時
中央公民館窓口受付	午前 8 時 30 分～午後 7 時 30 分
中央図書館	午前 9 時～午後 9 時

・休館日の設定

	令和 5 年度
全館休館日	16 日
中央図書館のみ休館	6 日(蔵書点検)
休館日合計	22 日

図書館は 6 月に蔵書点検を行うため、図書館のみの休館日を 6 日とします。

例年、年末年始の利用が極めて少ないため、環境への影響・省資源・省費用を考慮し、申し込み状況を見て休館を検討します(協議事項)。

<休館日>

中央公民館・中央図書館：12 月 31 日から翌年の 1 月 2 日まで

その他の管理上必要な休館日：

日程	作業内容	休館場所
4 月 24 日(月)	消毒・定期清掃	公民館、図書館
5 月 22 日(月)	定期清掃・消防設備点検	公民館、図書館
6 月 14(水)～19 日(月)	蔵書点検	図書館
6 月 26 日(月)	水槽清掃(断水)	公民館、図書館
7 月 24 日(月)	消毒・定期清掃	公民館、図書館
8 月 28 日(月)	定期清掃	公民館、図書館
9 月 25 日(月)	定期清掃	公民館、図書館
10 月 23 日(月)	定期清掃	公民館、図書館

日程	作業内容	休館場所
11月27日(月)	定期清掃・消防設備点検	公民館、図書館
12月25日(月)	定期清掃	公民館、図書館
12月30日(土)	年末年始特別休館	公民館、図書館
1月3日(水)	年末年始特別休館	公民館、図書館
1月22日(月)	消毒・定期清掃	公民館、図書館
2月26日(月)	停電	公民館、図書館
3月11日(月)	停電予備日	公民館、図書館
3月25日(月)	館内整理・定期清掃	公民館、図書館

③中央公民館の窓口業務の方針

●公平・公正・平等の原則に則り、利用者がわかりやすい利用案内の説明

・北本市文化センターの運営にあたり、5つの方針を掲げ、実施します。特定の団体に有利または不利にならず、平等にご利用いただけるよう利用規則等のルールを徹底します。

方針①：特定の団体に有利・不利にならず、平等に利用いただけるよう徹底します。

方針②：利用ルールは口頭だけでなく、チェックシート等を用いて丁寧に説明します。

方針③：予約受付だけでなく、気軽な「相談窓口」という意識で利用者とのコミュニケーションを第一とします。

方針④：情報発信はホームページ、SNS、館内掲示、電話連絡を有効活用します。

方針⑤：利用団体アンケート等で活動内容を把握し、参加者と活動団体とをつなぐ役割を担います。

・本施設は、図書館や総合受付の窓口にて、利用者に各種ルールを説明する機会が多いことから、受付マニュアルを窓口に整備するとともに、料金表や会場図など別途ご用意し、より丁寧でわかりやすく説明することを徹底しています。

・特に総合受付窓口で、パンフレットを使用し、説明する機会が多いことから、指定管理者1期目には図や写真を多用したわかりやすい資料に刷新しました。

・指定管理者1期目に直當時のホームページも刷新し、平等な情報の発信を行ってきました。

・条例や施行規則の内容が「なぜ」設定されているか、より深く理解することで、一方的な説明にならないよう利用者とのコミュニケーションをより重視し、説明・対応します。

・災害が想定される場合などは、施設の利用制限について一団体ごと丁寧に連絡、案内を行います。

④施設予約時及び図書貸出のルールの徹底

●施設予約受付フローの周知・遵守により、快適で使いやすい公民館の利用促進

・現在の予約の流れを踏襲しつつ、利用者からのご意見を反映し、より分かりやすい案内に努めます。

・ルール徹底のため、窓口対応のスタッフのみならず全スタッフが利用案内を行えるよう共有し、定期研修を実施します。

・ホームページからの予約については、仮予約となるため、本予約までの流れをより丁寧にわかりやすく説明を行います。

・社会教育法第23条の解釈について、北本市と協力して運用ルールの変更やマニュアルの修正等を検討します。

●貸出ルールを徹底し、たくさんの人が気持ちよく利用できる図書館利用案内

- ・北本市立中央図書館の図書貸出は、貸出手順に沿って行っています。
- ・図書はたくさんの方に受け渡されていきます。利用者のマナー・ルールの順守が、次の利用者の快適な利用につながるため、利用案内を徹底します。

⑤利用者とのコミュニケーションの重視

●利用者の意見をもとに平等性・快適性を見直し

- ・利用者の方々と直接ルールについてお話をすることで、たくさんの要望や意見をいただきます。また、施設内アンケートを積極的に活用します。
- ・公平・公正・平等の原則に則り、最終決定は文化センター所長、図書館長が判断しますが、必要に応じ北本市に報告、相談します。
- ・北本市の他施設でのルールとの整合性等にも配慮し、利用者への丁寧な説明と、密なコミュニケーションを徹底し、市民の平等な利用の確保を引き続き行います。

⑥利用料金等金銭管理の徹底

●定期的な金銭監査チェックについて

- ・利用者から施設利用料金を徴収しており、大部分が総合受付窓口での現金収受が中心となります。
- ・適正な利用料金の徴収、つり銭渡しのチェックのため、毎日4回の現金棚卸し残高チェック、毎月の責任者による確認、年2回本社監査部門によるチェックを行い、2重3重の体制で厳正な金銭管理を徹底します。

⑦多様な利用者への対応

●ハンディキャップを持った利用者への対応

- ・視覚障がいを持つ方や、高齢者、車椅子をご利用の方へのサービスのあり方についてバリアフリー研修を通して学び、技術を習得します。
- ・公民館窓口と図書館窓口にて耳の不自由な方向けに筆談ボードや「耳マーク」を設置するなど、適切に配慮します。
- ・さまざまなハンディキャップを持った方に、こちらから「何かお困りのことはありますか？」と積極的に声かけを行います。
- ・あらゆる市民の方が垣根なく、平等に施設を利用できるように、最大限配慮して運営を行います。

●多様な利用者への配慮

- ・LGBTについて、適切な配慮ができるよう各社eラーニング等を通して学び、理解を深めます。
- ・各社にて人権啓発推進員を定め、北本市人権啓発推進員研修会に出席し、人権問題に対する理解を深めます。

(3) 施設の利用促進やサービスの向上について

3 期目指定管理者のビジョン・コンセプトの実現に向けて、公民館事業・プラネタリウム事業・図書館事業において施設内設備の充実を図ります。

①施設課題解決のための利用者サービス向上

●現状の施設課題や利用者動向

- ・本施設の貸館利用にあたり、利用促進を積極的に展開していく観点から、これまで継続していただいている利用者のご意見やアンケート結果からみた課題や利用者動向を下記の通り整理しています。
- ・新たな設備投資や備品等の新調が難しい中、原状の課題を克服していくため、第1期から培ってきた各施設の目的や利用方法のノウハウを最大限に生かし、工夫することにより利用促進を図ります。
- ・サービスの向上策について。現状の課題や利用者動向のほか、時流も踏まえ、積極的に新しいサービスを導入し、施設の利用促進につなげます。

【貸館利用にあたっての課題・利用者動向】

- 課題1 公民館利用団体（130団体から回収）の約70%が60代以上 ※令和3年度アンケート結果
- 課題2 利用件数・利用者数がコロナ禍により減少、サークル等の解散も増加
- 課題3 施設や設備の変化が乏しく、使用用途が限定されている（ミニ発表会の開催場所がない等）。
- 課題4 練習室など他に代用ができない施設の予約が取りにくい。
- 課題5 これまで利用団体以外の“声”を聞く機会がなく、新たな利用者獲得につながっていなかった。

②利用促進に向けての方策

●公民館の利用促進に関するワークショップの開催

- ・若い方々や子育て世代の利用を促進にするにあたり、若者の直接の意見を盛り込みます。具体的には市民の生の意見を反映させるため、利用促進に関するワークショップを開催します。
- ・令和5年度は3～5回の講座として、地元企業のパブリシキング欄と協力し、市民から講座参加者を募ります。ワークショップでは「文化センター活性化プロジェクト（仮）」として、参加者から施設の改善点や様々な意見を盛り込み、今後の施設改善や事業計画に反映させます。
- ・参加した市民が第3期の5年間で文化センターを舞台に活躍ができることを目標とします。

●公民館の利用促進に向けた新しい施設活用法

- ・ホールリハーサル室やプラネタリウムなど、多目的に活用できる空間を市民活動の場に生かすことができると考えています。
- ・現在は条例により貸出に関するルールが備わっていませんが、令和5年度は実験的に一般市民に開放するなど、今後の利用貸出について検討を開始します。

●SNS（Instagram、Twitter、Facebook、LINE、YouTube）の活用

- ・各種SNSを活用して広報活動のツールとして活用します。本施設の事業活動を広報することが主な役割となっていますが、施設の様々な情報も発信していきます。
- ・プラネタリウムではYouTube配信により番組とのコラボレーションを図り、広報活動以外にもコンテンツ配信などに取り組みます。

●利用者の声を施設運営に反映するための取組み

- ・毎年1回、利用団体向けにアンケートを実施しています。利用者から貴重な声を聞くことができるツールです。令和5年度も2月から3月にかけて実施します。
- ・アンケート結果は「施設・運営改善の取組み報告」と題して、事例ごとに一枚のシートに取りまとめ、エントランスの掲示板で利用者に周知をします。
- ・文化センターの利用促進を図っていくためには、これまで本施設を十分に活用したことのない方々の意見を聞いていくことが重要です。
- ・本施設の新たな利用促進を図るため、例えば、利用促進ワークショップと連携し、施設見学会と無料体験イベントなどを実施、アンケートを募るなど、今後の貸館や事業企画に生かす取り組みを行います。
- ・文化センターの受付窓口にはサークルを紹介して欲しいという問い合わせがあります。サークル団体から活動状況についてアンケートを実施して活動状況を把握し、問い合わせいただいた方に紹介するなど、サークル活動の活性化にも努めます。

●フリーWi-Fiサービスの拡充・IT室の利用環境改善

- ・本施設では、指定管理2期目において中央図書館、2階研修室フロア、3階会議室フロアにフリーWi-Fiサービスを導入しました。
- ・IT室においてもフリーWi-Fiサービスを導入することで、備え付けPC以外の端末を利用した講座もインターネットが利用可能となりました。
- ・令和5年度もサービスを継続していくことで、デジタル社会をハード面からサポートします。

4. 職員体制

経験豊富なスタッフを配置し、施設が一体となって運営を行い、各社の専門性を発揮した安定的な体制を構築します。

(1) 管理運営の組織・体制

●各社の専門性を発揮できる組織の形成

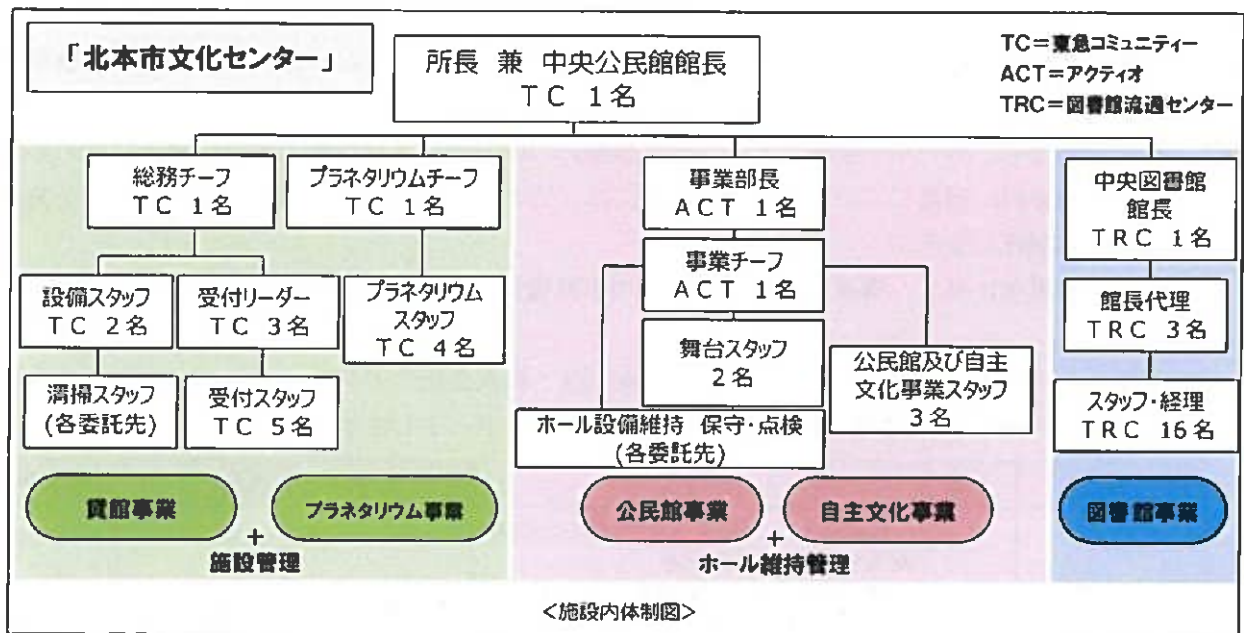
- ・東急コミュニティー(TC)、アクティオ(ACT)、図書館流通センター(TRC)の3社の強みを発揮できる組織を形成します。

①スタッフの継続雇用による安定

これまで一丸となって施設運営に取り組むことで、利用者や地域の人々に親しまれ、愛される施設となりました。今後も既存スタッフの継続雇用に努め、信頼感・安心感のある関係性を継続していきます。

②新規雇用の際は、地域内の雇用を優先

地域の雇用提供の場として、当地域からの採用を最優先とします。



(2) 管理に係る職員の人数・資格・配置等

④図書館事業の体制

●スタッフ配置

- ・人員配置にあたっては、実務経験の有無を優先し、以下の業務分掌のもと、安定的な管理運営が可能な配置を行います。
- ・業務仕様書に定める通り、司書有資格者を50%以上配置し、司書資格を有さないスタッフについても司書資格取得を促進・支援します。
- ・こども図書館との人事交流等で緊密な連携を図り、質の高い図書館サービスを提供します。

職種	人数	業務分掌	能力・資格等	勤務形態
館長	1名	・図書館運営の統括	館長養成講座終了者、マネジメントスキルを有する者	常勤
館長代理	3名	・館長補佐、業務指示 ・労務管理	図書館業務経験者 司書資格	常勤
スタッフ	16名	・図書館業務全般	司書(有資格者を優先)	常勤 非常勤

(3) 職員の人材育成(研修等)

①施設全体での人材育成に向けた取り組み

●人材育成の考え方

- ・各スタッフの能力、スキル、業務に対する姿勢、意欲や利用者が感じるサービスの質や施設の魅力に直結するため、スタッフの育成は施設の継続的発展に欠かせない要素だと認識しています。
- ・本施設のスタッフ一人一人が日々の運営業務で生じる問題を想定し、利用者対応やトラブル時の対応など、スタッフ自ら進んで課題解決できるよう施設全体での研修を実施します。

- ・第2期はコミュニケーション・マナー研修、普通救命講習、防犯研修などを施設全体で実施しました。第3期も必要に応じてオンライン研修やeラーニングなども活用して取り組みます。
- 全館スタッフに向けた新たな取り組み
 - ・第3期は「障がいのある方・高齢者への理解と配慮」に向けたスタッフの研修を新たに企画し、令和5年度の実施を予定しています（講師：ユニバーサル検定2,3級受講者）。
 - ・「障がいのある方・高齢者への理解と配慮」に向けた研修を通して、利用される全ての方が本施設を平等に利用できるよう取り組みます。

②専門性の高い業務を担う人材育成に向けた取り組み

- 公民館事業スタッフに向けた人材育成
 - ・構成企業アクティオでは、基礎マナー研修（接客研修）、人権研修等を通して、利用者と接する際に必要な接遇力を身につける基礎研修期間を設けています。
 - ・公の施設の指定管理者として、利用者から「来てよかったね」「また来たいね」と思ってもらうことを喜びとし、さらなる施設価値が付加できる運営を目指します。
- プラネタリウムスタッフに向けた人材育成
 - ・代表企業の東急コミュニティーは都内を中心に30年以上に渡り、現在では11施設のプラネタリウムの運営実績があります。
 - ・スケールメリットを生かし、統括本部である本社が月1回の情報交換と全体報告を行い、最新の運営ノウハウを現場で生かしています。
 - ・令和5年度も初任者研修やチーフ意見交換会、他施設訪問等、本社が最大限バックアップして人材育成を行います。
- 中央図書館スタッフに向けた人材育成
 - ・構成企業図書館流通センターでは図書館員がステップアップしながら業務を遂行できるよう、令和5年度も体系的な研修プログラムを用意しており、スタッフは任意に受講することができます。
 - ・コロナ禍前の2019年度においては549講座を開催しています。図書館学専門の大学教授をはじめ、多彩な講師陣による研修を実現しています。
 - ・eラーニングによる学習システムも導入しており、教材は全て自社開発による実践に基づく内容となっています。

④図書館事業について 図書館におけるサービス向上のための取り組み

●電子図書館の拡充

2021年度11月より、こども図書館と連携しクラウド型電子図書サービス LibrariE&TRC-DI を導入いたしました。図書館閉館中も含め365日24時間いつでもどこでもご利用いただけるのが、電子図書館の強みです。日中の来館が難しいビジネスパーソンや子育て・介護などをされている方、身体的理由などで来館が難しい方にも広くご利用いただけます。

電子図書館のコンテンツ拡充をすることで、非来館型サービス、障がい者向けサービスの充実を図ります。

・タブレット端末を活用した電子図書館利用案内をこども図書館と連携しながら実施し、電子図書館サービスの周知と利用促進を図ってまいります。



●タブレット端末の導入

・2021年度6月より導入したWi-Fi設備を有効利用するためタブレット端末を導入し活用します
 タブレット端末導入でできること

1. 電子図書館サービスの利用周知、促進（電子図書体験会等）
2. オンラインデータベース利用
3. 図書館HPの閲覧および、各Web検索

・スペースの限られた北本市立中央図書館では、専用のPC席の設置が難しいため、タブレット端末の導入活用が最適と考えます。

●オンラインデータベースの導入

- ・オンラインデータベース導入し利用者の課題解決を支援します。
- ・また、オンラインデータベース導入することにより一部の新聞縮刷版や法規等の所蔵を整理することにより書架スペースを確保し、新たな書棚スペースを設置することができます。

●若年層（YA：ヤングアダルト世代）へのアプローチ

同事業体のコンセプトにありますように若年層の取り込みが挙げられています。中央図書館でも若年層（YA：ヤングアダルト世代）へのアプローチが課題となっています。図書館は学習する場所と思われがちですが、気軽に図書館のサービスを利用していただくためには「気軽に立ち寄っていい場所」、「興味の幅を広げることができる場所」という印象を持っていただける取り組みを実施します。

・YA世代向け広報誌の発行

『OPEN THE DOOR』YA世代の関心があるようなテーマに沿ったYA向け資料の紹介等を掲載し配布。

・YAポスト、YA掲示板の設置

おすすめ本の紹介、POP等を募集、YA利用者と交流を図る。

・YA向け特集展示

学習コーナー入口付近に配置し、時事に関するテーマ、YA世代の興味、関心のあるテーマを取り上げて特集展示を実施



●図書館講座

①	プログラム名	図書館歴史講座
②	目的	市民の知りたいのニーズにあわせ、図書館資料の利用促進を図る。
③	事業内容	利用者のニーズに合わせた郷土歴史に関する講座を実施します。 （今年度予定のテーマ） ・清水卯三郎 ナポレオン三世から銀メダル授与された商人 ・わが街の歴史を知ろう
④	実施時期	1～2回/年

①	プログラム名	図書館文芸・生き方講座
②	目的	市民の知りたいのニーズにあわせ、図書館資料の利用促進を図る。
③	事業内容	文芸作品や高齢化社会における生き方等に関する講座を実施します。 （今年度予定のテーマ） ・認知症について～認知症と物忘れのちがいについて～ ・セカンドライフの確認事項
④	実施時期	1～2回/年

①	プログラム名	図書館趣味・暮らし講座
②	目的	市民の知りたいのニーズにあわせ、図書館資料の利用促進を図る。
③	事業内容	利用者の関心、趣味等ライフステージに合わせた講座内容で実施します。 (今年度予定のテーマ) ・50代から始める“超”簡単な老後資金の貯蓄術 ・図書館員と考える整理収納
④	実施時期	1～2回/年

●こども図書館との連携事業

①	プログラム名	図書館を使った調べる学習コンクール
②	目的	調べ学習の普及、学校との連携、図書館利用の促進を図る。
③	事業内容	こどもたちの「見つけ、調べ、まとめ、発表する」ことはいわゆる生涯学習に繋がります。とりわけ小中学生の年代層にとっては、この主体的な学びを体験することが、彼らの素晴らしい成長の支えとなり、生涯の記憶として残るものだと考えます。今年度もこども図書館と連携を図りながら実施します。
④	実施時期	1回/年(6月～11月)

①	プログラム名	一日図書館員、こども司書講座
②	目的	子ども読書活動推進、図書館利用の促進を図る。
③	事業内容	図書館の仕事を経験することにより、普段とは違った視点で図書館を楽しんでもらい図書館員の仕事に興味をもちたいことを目的に開催します。本の探し方や書架整理、バックヤード業務、お話し会にチャレンジしてもらおう事業です。
④	実施時期	1回/年

●若年層（YA：ヤングアダルト世代）へのアプローチ事業

①	プログラム名	ボードゲーム、ブックコート体験等
②	目的	YA世代への図書館来館アプローチ、図書館利用の促進を図る。
③	事業内容	YA世代が興味、関心があるプログラムを実施することにより、YA世代の図書館への来館に繋げる。また、学習コーナーを利用しているYA世代にアピールして図書館を身近な場所と感じていただく。
④	実施時期	1～2回/年

●バリアフリーサービスの推進

①	プログラム名	朗読者スキルアップ研修会
②	目的	朗読者の方たちのスキルアップを図る。
③	事業内容	北本市立中央図書館でのデジ図書の貸出数は県立図書館を除くと県内3位と健闘しています。朗読者ボランティアの技術向上のため研修会を実施しています。また、埼玉県立図書館と連携を図り必要に応じて研修会を計画しサポートしていきます。
④	実施時期	1～2回/年

①	プログラム名	デジター図書整備等
②	目的	デジター図書の充実と整備を図る。
③	事業内容	デジター化される前の貴重な音訳資料（カセットテープ）をデジター化することによりデジター図書の所蔵充実を図ります。 また、大活字本やLLブックの所蔵充実を図っていきます。
④	実施時期	随時

●市民ボランティアとこども図書館との協働事業

①	プログラム名	児童文学講座
②	目的	児童文学を通して読書活動の普及と利用促進及び、地域活性化を図る。
③	事業内容	児童文学作家、児童文学に啓蒙の深い方を講師に迎え児童文学、子育て等の講座内容で実施します。
④	実施時期	1回/年

①	プログラム名	こども読書まつり
②	目的	こどもたちの読書活動推進と利用促進及び、地域活性化を図る。
③	事業内容	夏休み期間中にこどもたちや親子で楽しんでいただくため、お話し会、わらべうた、ブックトーク及びテーマ展示等を三者協働で事業を実施します。
④	実施時期	夏休み期間中

●図書館スタッフ派遣事業

①	プログラム名	整理収納、親子コミュニケーション講座
②	目的	地区公民館等との連携、地域活性化及び、図書館利用促進。
③	事業内容	整理収納アドバイザーやコーチング協会認定の資格を持つ図書館スタッフが中央図書館外での市内地区公民館等の施設とコラボレーション企画として講座を開催し、北本市全体の文化の醸成及び、図書館利用促進に努めます。 また、要請があれば他自治体の図書館へも派遣します。
④	実施時期	随時

●その他の事業

①	プログラム名	桜の怪異の残る町・北本 怪談がたり
②	目的	図書館の利用促進、文化センター及び、プラネタリウムの利用促進
③	事業内容	北本市及び近隣に伝えられる昔話を怪談師が怪談がたりとして開催します。 プラネタリウムとコラボレーション出来れば、プラネタリウム内の特別な雰囲気の中での新たなお話し会事業として期待できます。
④	実施時期	1回/年（7月頃）

①	プログラム名	タブレット端末導入による活用
②	目的	図書館の利用促進及び、電子図書館の利用促進。
③	事業内容	タブレット端末を活用して電子図書館体験会等を開催し、電子図書館の利用促進に繋がります。 また、データベースが導入されれば、利用者の課題解決のためツールとなります。
④	実施時期	随時

①	プログラム名	特集企画展示
②	目的	図書館資料の有効活用、利用促進及び、電子図書館の利用促進。
③	事業内容	季節や時事の話題に加えて、利用者の関心のある企画展示を行います。今年度も文化センター事業、地区公民館事業（分室）と連携したテーマ展示・特集を行い文化センター全体及び、地区公民館の利用促進を図ります。また、電子図書館でも定期的に特集を組み電子図書館の利用促進を図ります。
④	実施時期	随時

②図書館事業 地域連携の取り組み

●身近な図書館として親しまれる地域連携の取り組み

- ・当グループは指定管理者1期目においては、地域連携の取組みとして「調べる学習」等の新たな取組みを実施しました。今年度においても、1期目からの取組みを継続することと、図書館利用者に親しまれる図書館を目指し、市民サービスの向上に努めます。

・こども図書館との連携

中央図書館、こども図書館それぞれの図書館事業と連携して、図書館資料の収集・展示・貸出を実施し、両図書館及び各分室の利用促進を図るとともに調べ学習支援や連携事業などで、さらに緊密な連携を図り、一体的な北本市立図書館の利用促進に努めます。

●学校との連携

・図書館見学・職場体験

図書館の理念や目指す姿をふまえ、貸出・返却・配架といった全体的な図書館業務はもちろん、レファレンスサービスやおすすめ本紹介記事作成などのサービスも体験してもらいます。実際的な知識や技術・技能に触れることで、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、図書館の果たす役割を実感できる場の形成に努めます。

・調べる学習の推進と講座開催

指定管理者1期目の平成28年度から「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクー

ルを開催しています。北本市立中央図書館の運営に携わる中で、「調べる学習」に関する講座や、入賞作品を展示することで、調べ学習の推進を図ります。

・学校図書館へ団体貸出

子どもたちの読書活動推進や、授業で活用できる資料を揃え、学校図書館で不足している調べ学習用の資料の購入を推進し、引き続き団体貸出で提供します。

③ボランティア団体との連携

●公民館事業のボランティア育成

- ・ 公民館事業において、ボランティア活動・生涯学習の研究の場であるとともに、発表・活躍などの実践の場とするために「公演ボランティア」を既に組織・運用しており、ボランティア活動の支援・育成・場の提供をしています。
- ・ 中学生から高齢者まで幅広い世代の利用者にボランティア参加を促し、「市民参加型の生涯学習拠点」を目指し、ボランティア育成に積極的に取り組みます。

●図書館事業のボランティア団体との協働事業

- ・ 今年度も「こども読書まつり」「児童文学講座」を開催し、「北本市子ども文庫連絡会」「北本子どもの本を楽しむ会」及び、こども図書館との協働事業を継続して実施していきます。

1. 施設の概要

北本市立こども図書館

施設の所在地	北本市本町1丁目111番地	
開設年月日	平成26年11月1日	
構造	鉄筋造3階建て（こども図書館は1階部分）	
面積等	図書館事務室兼書庫	50.20 m ²
	図書・閲覧コーナー	155.52 m ²
	お話コーナー	27.22 m ²
	エントランスホール	56.68 m ²
	更衣室	8.13 m ²
	倉庫	18.75 m ²
	多目的トイレ	33.29 m ²
	風除室	10.73 m ²
	階段室E	19.52 m ²
	階段室D	28.85 m ²
	前室	6.08 m ²

2. 指定管理者

名称	北本まちづくり共同事業体(きたもとまちづくりきょうどうじぎょうたい)	
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで	
代表企業	街活性室 株式会社 所在地 埼玉県鴻巣市逆川1丁目2番2	
構成企業	株式会社 図書館流通センター 所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号	
構成企業	NPO法人 カローレ 所在地 埼玉県鶴ヶ島市上広谷472-10	

3. 指定管理者を行うに当たっての基本方針

○基本方針

株式会社図書館流通センター（以下、TRC）は北本市立中央図書館指定管理者として、全国的なネットワークとノウハウのもと、運営にあたらせていただいております。令和3年度からは北本市立図書館として中央図書館と共に市内一体となった図書館サービスを提供しております。具体的には、こども図書館では、下記の北本市子ども読書活動推進計画の基本方針に沿って、児童館、地域子育て支援センターとのより緊密な連携により、お子さんからお年寄りまで、北本市に暮らす皆様に等しく質の高いサービスを提供いたします。

- ①読書機会の提供と充実・・・平等利用の確保
- ②読書環境の整備・充実・・・図書館機能の充実
- ③読書活動の啓発・広報・・・子ども読書の日に合わせた読書活動の推進
- ④読書推進の体制の充実・・・関係課・関係機関との連携

4. 管理運営について

再来館をしなくなる図書館を実現するために、そして新たな利用者拡大を図るために、利用者一人ひとりの特性に合わせた図書館サービスを実施します。また、ボランティア団体との協働事業、指定管理者の連携事業も積極的に実施いたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、教育委員会と協議のうえ実施いたします。

令和5年度 北本市立こども図書館事業計画

(1) 自主事業

事業	対象	事業内容、目的等
<ul style="list-style-type: none"> ・わらべうたとよみきかせ ・ひとりで聞ける子向けおはなし会 ・「子ども読書の日」おはなし会 ・近隣施設への出張おはなし会 	乳幼児 保護者	ブックスタート事業協力や保護者に向けた子育て支援の取り組みを充実させます。ご要望に応じて、地域の子育て支援事業にも協力します。
<ul style="list-style-type: none"> ・読書週間に合わせた特集展示 ・「子ども読書の日」おはなし会 ・おすすめ本の展示 ・「みらいカレッジきたもと」夏・春 ・調べる学習コンクール ・調べる学習個別相談会の充実 ・本の紹介(ブックトーク) ・放課後児童教室への出張おはなし会 ・団体貸出 	小学生	総合学習による団体貸出等やアクティブラーニングの視点から児童の調べ学習の支援を行います。また、子どもたちの読書活動推進のため、ご要望に応じて近隣の教育施設と積極的に連携し、おはなし会やブックトークを行い、読書や本の楽しさを伝えます。「みらいカレッジきたもと」では、学びと職業体験を提供します。調べる学習コンクール対応では、個別相談の充実を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者サービスや障害児教育テーマにした展示と資料収集 ・やさしい図書館利用案内の導入 ・電子図書館の利用促進 (支援を必要とする子ども達に向けて) 	障害児 者	障害者差別解消法を考慮した従来の充実した取り組みのほか、令和3年度から開始したデジタルコンテンツによる電子資料の音声読み上げ機能などを活用し、図書館への来館に不自由を抱えている方々にも図書館サービスを利用できる環境を整備します。
<ul style="list-style-type: none"> ・英語資料の充実 ・やさしい図書館利用案内の導入 	外国人	令和4年度の利用者アンケートで希望があった英語の図書資料収集や管理に努め、カウンター対応やこども図書館で作成した「やさしい利用案内」の配布を通じ、利用拡大を図ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティア養成講座 ・子育て支援としてのわらべうたや絵本講座 	一般	子育て支援として保護者に役立つ資料の収集に努めます。 子どもに対するボランティア活動をされている方や児童文学を学ぼうとする方々に必要とされる講座や資料を提供します。

(2) 指定事業

事業	事業内容、目的等
協働おはなし会	毎月第4金曜日と第2土曜日に、ひとりで開ける子向けおはなし会を、ボランティア団体(北本子どもの本を楽しむ会、北本市子ども文庫連絡会)と協働で開催します。
子ども読書まつり	北本市立中央図書館およびボランティア団体(北本子どもの本を楽しむ会、北本市子ども文庫連絡会)と協働で夏休み期間に良書を紹介する展示と協働おはなし会を開催し、子どもたちの読書活動の支援に努めます。
こども図書館 視察・見学	北本市立こども図書館の利用案内の説明を通して、図書館への理解を深める支援に努めます。せいかつか見学では、体験おはなし会等を開催します。

(3) 継続事業

事業	事業内容、目的等
これよんで!	利用者からの希望に応じ、随時フロアでの絵本の読みきかせを行います。本に親しむきっかけを作り、読書に興味をもっていただきます。
わらべうたの会 おはなし会	手あそびや絵本の読みきかせなど、各ボランティア団体と協働し、定期的で開催いたします。
本の紹介展示と おはなし会	「子ども読書の日」に合わせた読書活動の推進として、おすすめ本の展示とボランティア団体と協働でおはなし会を開催し、読書や本の楽しさを伝えます。

(4) 児童館、子育て支援センターとの連携事業

事業	対象	実施日	事業内容、目的等
みらいカレッジ きたもと夏	小学生	7月23日(日) ～8月31日 (木)	地域団体・企業・市民を講師とした体験型の講座を実施し、こどもの「知りたい」「やってみよう」という知的好奇心に応える事業です。こども図書館は「百科事典の使い方」と「読み聞かせ」の講座を行います。
親子交流フェス	子どもと その保護者	10月1日(日)	児童館・こども図書館・市役所前広場を利用し、こどもオーナーの店舗や観光協会、地域商店街のブースを設置します。こども図書館はゲームで協力します。
あきの おはなし会	ひとりで 開ける子 向け	10月28日 (土)	ハロウィンにちなんだテーマ展示を行い、こども図書館では読み聞かせも行います。児童館ではフォトブースを設けるなど、連携した事業を行います。
ふゆの おはなし会	ひとりで 開ける子 向け	12月23日 (土)	こども図書館ではボランティア団体(北本子どもの本を楽しむ会・北本市子ども文庫連絡会)との協働おはなし会「ふゆのおはなしかい」を行います。児童館ではクリスマス会が行われます。
みらいカレッジ きたもと春	小学生	3月23日(土) ～4月7日(日)	こども図書館は「工作教室」と中央図書館とコラボした「子ども司書講座」を行います。

5. 市民の平等な利用の確保について

(1) スタッフの意識徹底と研修を実施

図書館のサービスは、障害者や高齢者、外国人や遠方にお住まいの方などを含む、すべての人が平等に利用できるという原則に基づいて提供されなければなりません。スタッフは研修を実施しながら平等利用を徹底します。

(2) コミュニケーションボードの活用

耳の不自由な方やお子さんや保護者、発話が苦手な方に対する合理的配慮を提供するため、わかりやすいコミュニケーションボードを設置しております。筆談ボードと合わせて、コミュニケーションのツールとして、レファレンスや検索の補助として活用してまいります。

(3) 電子図書館の利用促進

令和3年11月1日より、来館が困難な方への支援サービスも含めた非来館型サービスとして電子図書館を導入しています。利用者のニーズに沿ったコンテンツを購入し、利用促進をはかります。

6. 適切な施設の運営

「北本市立こども図書館設置及び管理条例」と、関連する施行規則、各種規則等に則り、適切な施設の運営を行います。公共施設として、公平、公正、平等なサービスを提供すると同時に、利用者ニーズにも沿ったサービスの提供を心がけます。

(1) 開館時間、休館日について

開館時間：午前9時～午後7時

休館日：12月31日から1月2日および施設の管理上必要な日

令和5年度 特別休館予定日

- ・蔵書点検……………6月20日(火)～22日(木)
- ・空調設備点検……………6月・12月
- ・市庁舎受変電設備年次点検…9月
- ・図書館システム計画停止日…9月25日(月)・3月11日(月)

★第三者委託業者による維持管理業務実施予定表

項目	委託業者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
日常清掃業務	街活性室株式会社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	毎日
定期清掃(窓)	(株)リンレイサービス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	毎月
定期清掃(床)	(株)リンレイサービス			●						●				年2回
空調設備点検	(株)サイオー			●						●				年2回
フロン点検	(株)サイオー			●			●			●			●	年4回
警備業務	セコム(株)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	開館中以外
廃品回収業務	北本リサイクル事業協同組合	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	毎月

(2) 安全で安心して利用できる施設管理運営

スタッフが毎時館内外を巡回し、危機の早期発見と解消に努めます。これは、館内の秩序維持の他、施設や設備の不備への早期発見にもつながり、施設運営の安全性向上につながると考えています。公共施設として、利用者が安全で安心して施設をご利用いただけるよう、運営を行います。

(3) 緊急連絡体制の整備

危機発生時の初動体制の整備と指揮命令系統の安定を目的に、緊急連絡体制を組み、有事の際は速やかに情報共有を行うとともに、北本市へのご報告、ご連絡を行います。

(4) 各種マニュアルの整備

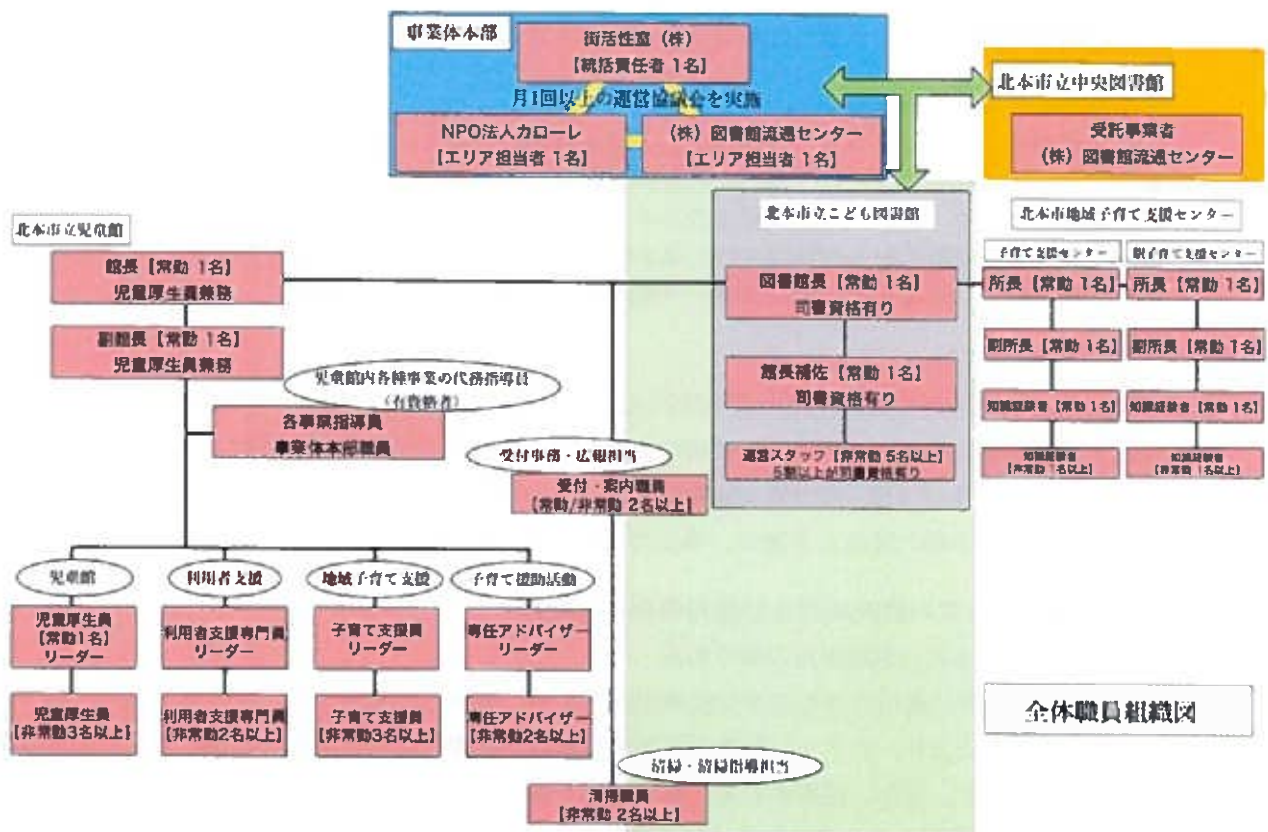
各種業務に対応したマニュアルを整備し、日常的にスタッフが手順の確認を行いつつ、業務にあたります。以下のマニュアルや行動基準も用意しています。

- ・危機管理マニュアル：事故発生時、火災発生時、地震発生時、不審者発見時の対応や近隣医療機関の各種連絡先、避難経路図、応急手当の手順等の項目に分けて、対応等をマニュアル化しています。事務室に保管し、スタッフがいつでも見られる状態にし、緊急時はマニュアルに則った対応を行います。
- ・新型コロナウイルス感染の疑い発生におけるフロー：施設内で新型コロナウイルス感染の疑いが発生した場合は、自治体、事業体内との情報共有に並行して、感染疑い発生におけるフローに従って行動します。施設の除菌消毒など、早期復旧に努め、図書館の役割を継続的に果たすよう努めていきます。

7. 職員体制（組織・勤務体制・職員の配置）

TRC 受託館の中央図書館と緊密連携し、安定的な管理運営が可能な配置を行います。

(1) 全体組織図



全体職員組織図

統括責任者を中心とした各館長・所長が常に情報共有する指揮系統を確立し、日々の業務における情報共有のあり方、指示の流れを明確にできる体制を構築します。

(2) こども図書館の体制について

人員配置にあたっては、以下の業務分掌のもと、安定的な管理運営が可能な配置を行います。

職種	人数	業務分掌	能力・資格等	雇用形態
館長	1名	・こども図書館運営の統括	・司書 ・管理職としての勤務経験あり ・組織の長として、リーダーシップを発揮する能力と経験あり	常勤
館長代理	1名	・館長補佐 ・業務指示 ・労務管理	・司書 ・館長の業務を補佐し、スタッフを指揮し、館長不在時は館長の職務・権限を代理できる能力を有する ・公立図書館又はその他の図書館で、図書館業務に一定程度の勤務経験を有する	常勤
スタッフ	9名	・図書館業務全般	・全従事者の5割以上が司書有資格者であり、図書館業務に一定程度の勤務経験を有する	常勤 非常勤

8. 管理運営を通じて取得した個人情報の適切な取扱い

業務上知り得た機密情報、及び図書館利用に関する情報については、「地方公務員法」第34条1項（秘密を守る義務）の条文と同レベルで守秘義務の徹底に努めます。



(1) プライバシーマークの認定

TRCは一般財団法人日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)より「個人情報について適切な保護措置を講ずる体制にある事業者」として「プライバシーマーク」の認定を受けています。当業務におきましても、個人情報の適正管理を実現します。

(2) 個人情報保護監査の実施

「個人情報管理チェックリスト」を作成し、個人情報の「発生」「過程」「管理」「廃棄」の全ての手順をマニュアル化します。このチェックリストをもとに、TRC本社の監査チームによる個人情報保護監査を年1回以上行います。業務を受託する上で取り扱う、全ての個人情報の処理方法について細かく調査し、問題があると判断された場合は、直ちに改善します。TRC受託館の北本市立中央図書館でも、監査による指摘事項の取扱い手順を改善し運営を行います。

(3) 情報漏えい時対応

様々な取組みをもって受託期間中の事故防止に努めます。しかし万が一、事故が発生した際には、原因と被害範囲を特定したうえで、被害の拡大防止に努め、迅速に教育委員会、当事業体の代表企業統括責任者、及びTRC内の個人情報取り扱い責任者に事故報告を行います。そのうえで、事故発生に至る処理手順の見直しを図り、事故の再発防止に努めます。

9. 指定管理業務従事者の継続雇用及び雇用条件への配慮

(1) 指定管理業務従事者の継続雇用の取り組み

全図書館業務従事者に適用される公平な就業規則を定め、運用しております。この就業規則に基づいた人事制度の適用により、スタッフ自身の所属する職層が明確になり、安心して働くことのできる環境を整えております。また、従事者の男女構成比率を顧みましても、図書館は女性が多く働く職場です。結婚、出産、介護等、それぞれのライフステージに合わせたサポート制度を整備することで、安心

して長く働くことができる職場づくりを進めることができると考えます。具体的には以下の制度を整備しています。

・福利厚生制度

労働災害保険、雇用保険、厚生年金、健康保険、賠償責任保険・損害保険などを、各雇用条件に即して適用します。さらに全社員に就業規則を適用し、年次有給休暇制度なども設けております。

・子育て支援制度

子育てをしながら安心して仕事が続けられる応援制度です。産前産後休業や、育児休業期間の延長、時間単位で取得できる「子の看護有給休暇制度」を設け、女性が働きやすい環境づくりに務めています。

・介護支援、慶弔見舞、災害補償等

親の入院や自宅看護等、介護に必要な長期休暇制度を設けるほか、災害・事故等による罹災などによる疾病、本人・家族の慶弔に際しての休暇制度／見舞金支給制度を整備し、スタッフのサポート体制を整備しています。

・メンタルサポート・ハラスメント防止

メンタルヘルスに関する社内相談窓口を設置し、社員のメンタル面をサポートしております。その他各種ハラスメント等に関する相談窓口、オープンドアームを設置しています。

(2) 指定管理業務従事者の雇用条件配慮への取り組み

ノーマライゼーションの観点から、障害を持ったスタッフも、チームの一員として積極的に図書館業務に従事できるよう、サポート体制を整備しています。TRC は、厚生労働省が全面的に協力する障害者雇用支援総合ポータルサイト「ATARIMAE プロジェクト」に、企業サポーターとして登録し、障害者雇用の促進を支援しております。

10. 地域との連携に関する考え方

今後の図書館サービスの発展のためには、市民や団体との協働が必要不可欠と考えます。図書館員が専門性を高めつつ、図書館と市民が互いに向上しあう関係性を築くことが、より良い協働関係の基盤です。地域とつながることで様々な情報共有を行い、地域に根ざした図書館運営へと結び付けることが可能となります。

(1) ボランティア団体との協働について

図書館とボランティアとの「協働」を軸に、お互いの立場を尊重しながら、日常的に綿密なコミュニケーションを図り、良好な関係を築いていきます。これまで図書館にボランティアとして関わった経験のある市民・団体だけでなく、新たに図書館でボランティアを行ないたい市民のためにボランティア養成講座を開催し、図書館における市民との協働を盛り上げる活動を実施します。



令和4年度12月24日（土）協働事業「ふゆのおはなしかい」の様子



令和4年11月1日(火)「読み聞かせボランティア養成講座～ステップアップ編～」の様子

★こども図書館とボランティア団体の協働事業について(令和5年度予定)

	事業名	事業内容	実施日	対象	開催場所
1	協働おはなし会	ボランティア団体による協働おはなし会	第4金曜日・第2土曜日	ひとりで聞ける子向け	こども図書館
2	子ども読書の日おはなし会	ボランティア団体とのコラボおはなし会	4月22日(土)14:00～	ひとりで聞ける子向け	こども図書館
3	読書まつり「この本よんで!」	中央図書館・ボランティア団体との協働で展示とおはなし会	夏休み期間	0歳～9歳位までの子ども	中央図書館・こども図書館
4	「ふゆのおはなしかい」	児童館のクリスマス会関連事業	12月23日(土) ①11:00～ ②15:00～	0歳～9歳位までの子ども	こども図書館
5	読み聞かせボランティア養成講座	プログラムの立て方(2回講座)	10月6日(金) 10月20日(金)	一般	文化センター

(2) 学校との連携について

児童や生徒の職場体験受け入れに対応します。実習や接客を通じて、学ぶこと・働くことの意義を理解し、公共図書館の果たす役割を体験してもらえ、場の形成に努めます。

・図書館見学会

図書館の構造やしくみ、普段は見られないバックヤードや本の物流、そこで働く人について紹介します。質問等にも対応し、地域や仕事を知り、興味を持ってもらう機会とし、また、図書館を活用していただくことで、生涯学習の場を知っていただく機会となるよう努めます。学年とご要望、目的に合わせてお手伝いさせていただきます。生活科・社会科の授業のまち探検として等、地域の施設やそこで働く人のことから、簡単な図書館の使い方やおはなし会等も実施します。

・こども司書講座

普段とは違った視点で図書館を楽しんでもらい、図書館員の仕事に興味を持ってもらうことを目的に開催します。本の探し方やカウンター業務、おはなし会などにチャレンジしてもらいます。

・調べる学習の推進と講座の開催

TRCが運営する北本市立中央図書館では平成28年度から「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域版を指定管理事業として開催しています。こども図書館でも中央図書館と密に連携し、入賞作品の展示などを行い、応募作品数の向上と内容のレベルのアップに貢献し、子どもたちが自ら調べて学ぶことの喜びを実感でき、図書館が子どもの成長を支える一助になるよう取り組んでいきます。これらの事業は中央図書館と連携し、実施します。

(3) その他の連携

★こども図書館が他団体に協力している事業

	事業名	主催団体	事業内容	対象	開催場所
1	ほっと・ホットサロン	社会福祉協議会（本町西高尾支部）	手遊び・読み聞かせ	0歳～未就学児とその保護者	コミュニティセンター2階和室
2	親子ほっとサロン	社会福祉協議会 親子ほっとサロン運営委員会(南部支部)	手遊び・読み聞かせ	0歳～未就学児とその保護者	南部公民館
3	石戸小放課後児童教室おはなし会	石戸小放課後児童教室	読み聞かせ	小学生	石戸小ふれあいルーム
4	学校図書館指導員研修会	北本市教育委員会学校教育課	学校図書館指導員の研修	学校図書館指導員	文化センター
5	ブックスタート	北本市(健康づくり課)・子育て支援センター	4か月検診の会場で読み聞かせを行う。	4か月検診児とその保護者	保健センター 母子健康センター

※令和4年度に依頼があった事業です。

(4) 共同事業体内での連携

共同事業体内では相互に協力し合い、子どもと保護者に向けた取り組みを行います。

★指定管理者自主事業（令和5年度こども図書館連携事業のみ掲載）

	事業名	事業内容	実施日	対象	開催場所
1	みらいカレッジきたもと 夏	地域団体・企業・市民を講師とした体系型の講座を実施予定	7月23日(日)～8月31日(水)	小学生	児童館 こども図書館
2	親子交流フェス(児童館フェスティバルとして参加)	遊び・学び・3世代交流を目的とした事業で地域団体や企業の協力を頂いて開催している。	10月1日(日)	市民	児童館・こども図書館・庁舎ホール・芝生広場
3	みらいカレッジきたもと 春	地域団体・企業・市民を講師とした体系型の講座を実施予定	3月23日(土)～4月7日(日)	小学生	児童館 こども図書館
4	出張ひろば みんなで遊ぼう in ヘイワールド(事業により協力)	北本市子育て支援センターと北本駅子育て支援センターによる出張子育て支援事業	毎月第3金曜日	未就学児	ヘイワールド
5	北本ニュース	子育て情報誌の発行・配布	毎月発行・配布	全来館者	児童館・子育て支援センター・こども図書館で配布

(5) 北本市立中央図書館との連携

現在、北本市立中央図書館を受託運営しているTRCが、こども図書館も運営することにより、指定管理者として統一した体制を構築することが可能になります。それにより、さらなる市民サービスの提供、問題発生時の早急な対処が可能になると考えています。急な欠員や不慮の事態が発生した場合でも、中央図書館と連携して迅速にカバーし合います。また合同の研修や打ち合わせを通じて人事交流やスキルアップを図り、統一した方針のもと安定した運営を実施していきます。

11. 適切な収支計画について

指定管理料は公費であることを理解し、事業の安定性を確保しつつバランスの良い経費節減計画を策定し削減した費用を活かした更なるサービス向上に努めます。

(1) 効率的な人員配置

採用活動においては、事業方針や就業環境等の情報開示、当人の意向に沿った多様な雇用形態の活用を通じて「働きがいと働きやすさ」を確保しており、スタッフの長期雇用に結び付け、採用コストを縮減しています。また、スタッフが複数の業務を兼任する多様化を推進することで、情報の共有化、人員補完体制の整備等、人員配置の効率化を図ります。

(2) 効率的な施設運営

省エネルギー化を推進します。スタッフ全員で省エネルギーの推進意識を持ち、気候に即した照明、空調の調整や、消し忘れ防止などに努め、省エネルギー化を推進します。事務経費等の省コスト化を推進します。両面印刷やペーパーレス化を推進し、印刷費用や通信費の縮減につなげます。また、備品・消耗品は、一括発注などの方法により、経費の縮減を推進します。

(3) 効率的な人材育成

図書館運営業務についても、全国での実践を積み重ね、各地のスタッフが日々サービスに対して問題意識を持ち業務改善を図っております。全国でのサービス事例を地域ごとの研修や専用情報ツールでの事例紹介で共有しており、他の受託館の取組みを参考にしながら、サービスの提供を行うことが可能です。また全国での状況を分析し、業務改善を繰り返すことで、もっとも効率的であり質の高いサービスを行うための業務体制を見出しています。

★職員研修（令和5年度受講予定）

事業名	事業内容	対象	実施日	目的
避難訓練	火災・地震・不審者を想定して児童館と合同で訓練する。※市役所との合同開催（年2回）	全来館者	毎月第1月曜日 ※曜日変更有	防災意識を高め、火災や地震時にスムーズに避難できるようにする
職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県図書館協会主催の研修各種 ・その他団体や北本市主催の研修各種 ・TRC 主催社内研修各種 ・こども図書館内部研修 	全職員	研修機関の実施日	積極的に資質の向上に努め、経験や担当に応じた研修を受講する

資料5

節	項目	事業名	細目	令和4年度実施状況	今後の課題・方向性	担当部署
(1) 家庭における推進	① ブックスタート			乳児（4か月児）集いの会場でブックスタートのコーナーを設け、子ども図書スタッフ、支援ボランティア（北本市子どもの本を楽しむ会・北本市子ども文庫連絡会）による絵本の読み聞かせや絵本のある子育て等を説明し、絵本等が入ったバッグを手渡した。 配布回数：24回 配布絵本書数：320冊	国際色豊かな親子の増加に伴う多言語への対応や、視覚障がい、聴覚障がいの保護者や赤ちゃん向けの対応も必要となる。ブックスタートが絵本との出会いのきっかけとなるよう、それぞれの親子に合わせた取り組みになるよう引き続き検討していく。	子育て支援課
	② 読み聞かせ等			「読み聞かせボランティア養成講座（ステップアップ編）」を開催した。昨年の基礎編に続き、同じ講師に依頼、基礎編より一歩踏み込んだ講座になった。参加人数40名のところ、一般の参加は23名、ボランティア代表者が3名参加した。	引き続き今年度もボランティア養成講座を開催する。ステップアップまで受講した方向けの内容になるので、初心者でも参加しやすい基礎編の養成講座も行う予定。	子ども図書課
	③ 読み聞かせ等			・児童向け月別テーマ展示（12回、貸出：315冊）	令和3年度に展示場所や内容の変更を行い、貸出数が増えたところから、更に貸出数を増やすことができた。今後もより良い展示方法や内容にできるよう努め、児童の読書推進につなげたい。	中央図書課
(2) 地域における推進	① 市立の各図書館における推進	ア 子ども図書課		・読書の充実（児童書：26,436冊）子育て支援の資料（2,184冊） ・月別テーマ展示、おすすめの本展示、常設展示 貸出数：6,316冊 ・視察見学対応：11回/209人（子ども177人/大人32人）	子どもの発達に沿った内容、子どもを取り巻く大人を対象とした内容の二つの側面を全面に、読書の充実、各種事業、図書と子どもたちを結びつける、視察見学の対応を行っていく。	子ども図書課
	① 市立の各図書館における推進	イ 中央図書課		・児童向け月別テーマ展示（12回、貸出：315冊） ・YAコーナー展示（貸出：1,673冊） ・YA向けブックリスト「OPEN THE DOOR」の作成、配布（年4回、配布：186部）	YAコーナーの貸出数が昨年度の約1.6倍に増え、学習コーナーを利用する中高生にも認知されるようになってきた。ブックリストの配布も好評なので、他の図書館の取り組み等も参考にしつつ、より多くのYA世代にアプローチできるようにしたい。	中央図書課
	① 市立の各図書館における推進	ウ 図書課分室		・分室児童書貸出数：13,039冊	引き続き古い資料の入れ替えや買い替えを進める。	中央図書課
	② 民間団体等における推進			ボランティア団体（北本市子どもの本を楽しむ会／北本市子ども文庫連絡会）と連携して事業を行った。 ・協賛おはなし会（毎月第4金曜日、第2土曜日） ・協賛「季節のおはなし会」を開催した。 ・ブックリスト（対象年齢別3種類）作成及び改訂作業と社内配布。 ・「2022 夏 この本よんで〜ページをめくればドキドキわくわく〜」リスト本展示を行った。	協賛おはなし会、勉強会、ブックリストの改訂作業、情報交換などの様々な場面で各団体との連携を深め、読書活動の支援とボランティアの育成を継続する。	子ども図書課
	③ 民間団体等における推進			・ブックリスト作成、配布（対象年齢別3種類、ホームページ掲載） ・読書まつり「この本よんで」（7/15〜8/31） ・ネットランスノベル展示 リスト本展示（貸出：107冊） 鳥・SDGs展示（貸出：80冊）	前年度に引き続き縮小しての開催となった「この本よんで」だが、児童文学講座（11月開催「絵本と鳥の翼のふしぎ」）に合わせたテーマ展示（鳥）やSDGs関連の展示が好評だった。今後も各団体と連携を取り、事業を継続していく。	中央図書課
	④ 民間団体等における推進			保育所で地域ボランティア団体による読み聞かせを行った。 保育所における絵本の購入時に、ブックリストを参考にした。	今年も地域ボランティア団体と連携し、読み聞かせ等の事業を継続する。	保育課
	⑤ 民間団体等における推進			北本市子育て支援センターが北本市子どもの本を楽しむ会に依頼し、絵本の読み聞かせやわらべうた、手遊びを楽しむ行事を開催。 実施回数：2回 参加人数：31人	事業の基盤を継続する。	子育て支援課
⑥ 民間団体等における推進			・実施できなかった。 （1校のみ地域ボランティア等の活動あり）	・民間団体等と連携し読み聞かせ等の活動は、感染症拡大防止のためストップしてきたが、順次状況を見ながら復活させていく。	学校教育課	
(3) 学校等	① 保育所等における推進			保育所の図書を保護者へ貸し出したほか、保育所において読み聞かせを行った。	実施事業を継続する。 保護者へ積極的に絵本を紹介する。	保育課

① 家庭、地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

節	項目	事業名	細目	令和4年度実施状況	今後の課題・方向性	担当部署
	における推進	各小学校・中学校における推進		<ul style="list-style-type: none"> ・教職員・図書館委員会児童・文芸部生徒による読み聞かせ ・リモートでの読書集会 ・校基講話による本の紹介 ・図書館委員会による多読書の表彰 	<ul style="list-style-type: none"> ・リモート等、各校で工夫を凝らした取組を主とし、今後は徐々に対面での活動を増やしながら読書集会の充実を図っていく。 	学校教育課
		市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の生活科見学(2回/166人) ・学校との連携：石戸小学校放課後子ども教室への出前おはなし会の協力をした。 ・学校図書館との連携：令和4年度第1回図書館指導員研修会で講師として講演した。 ・民間団体との連携：「北本市子ども文庫連絡会」「北本市子どもの本を楽しむ会」と協働で「季節のおはなし会」を開催した。 ・中央図書館との連携：「図書館を借りた読める学習コンクール」の協力、ボランティア団体「北本市子ども文庫連絡会」「北本市子どもの本を楽しむ会」と協働事業「2023夏 この本よんで〜ページをゆくれば、ドキドキわくわく〜」事業で展示、わらべうたと読み聞かせなどを行い、良書の紹介と読書推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校他の読書見学を受け入れる。 ・石戸小学校放課後子ども教室へ出前おはなし会の協力(6回/年)を行う。 ・令和5年度第1回図書館指導員研修会の講師として学校図書館に協力する。 ・中央図書館とボランティア団体「北本市子ども文庫連絡会」「北本市子どもの本を楽しむ会」と協働で「2023夏 この本よんで〜ページをゆくれば、ドキドキわくわく〜」事業で展示、わらべうたと読み聞かせなどを行い、良書の紹介と読書推進を図る。 	子ども図書館
(4)市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力		市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力		<ul style="list-style-type: none"> ・読める学習コンクール(応募数：43作品、全国コンクール：3作品) ・小学校施設見学(2回、109名) ・中学校団体貸出(82回、193冊) ・埼玉県の高校司書が選んだイチャイチャ本展示 ・ブックリスト作成、配布(対象学年別3種類、ホームページ掲載) ・読書まつり「この本よんで」 ・ニートランスノベル展示 ・リスト本展示(貸出：107冊) ・鳥・SDGs展示(貸出：80冊) ・第38回児童文学講座(参加人数：77名) 	施設見学や団体貸出数は減ってしまいましたが、読める学習コンクールへの応募数は増加し、前年に引き続き参加児童の数も増えてきた。市内ボランティア団体との協働である読書まつりや児童文学講座も、多数の貸出やイベント参加があり、引き続き各所との協力のうえ、事業を継続していきたい。	中央図書館
		市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力		市立図書館と連携し、図書館見学や図書館の貸し出しを行った。	今後も市立図書館と連携し、図書館の蔵書を活用した事業を継続する。	保育課
		市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力		<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校全校で、市立図書館の図書資料を活用した。特に、総合的な学習の時間や社会科等の教科の調べ学習で市立図書館等から本を借りた。 ・小学校低学年の生活科「まうちんけん」にて、教職員と児童が市立図書館にいき、公共施設のはたらきや図書館の仕事について学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は各学校、市立図書館、民間団体等の連携の充実を図る予定である。 	学校教育課
(1)市立の各図書館の整備・充実	①資料の整備・充実	ア 子ども図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の図書資料：2,184冊 ・児童書：26,483冊 ・雑誌の充実：子育て支援雑誌(18タイトル)、子ども向け雑誌(8タイトル) ・その他の資料の充実：紙芝居(997点)、CD(386点) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生(主に3年生位まで)の学習単元に沿った選書と年齢に相応しい読み物を充実させる。幼児期に必要な良書を適宜に充実を図る。親子で楽しめる内容の本や子育てに悩む親の助けになるような資料を収集し、子育て支援を促進する。 ・電子書籍コンテンツの充実を図り、子どもが電子図書館を活用し利用できるようにする。(令和4年度は199点受入) 	子ども図書館
	①資料の整備・充実	イ 中央図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館児童書蔵書数：21,219冊 ・YAコーナー展示(貸出：1,673冊) 	新しいものだけでなく、広く子どもたちの読書活動や調べ学習に役立つ資料の把握、収集に引き続き努める。	中央図書館
	②設備等の整備・充実	ア 子ども図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・未所蔵本のリクエストの申請が出来るフォームを図書館ホームページに実装 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全に快適に利用できるよう、自動貸出機の利用と電子図書館の利用を促進する。 	子ども図書館
	②設備等の整備・充実	イ 中央図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・学習コーナー(YA特集棚裏面)にYA掲示板・YAポストを設置し、特集で扱ってほしいことや、日常で気になることなどの意見を始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時事や生活のことについて投稿があり、YA担当からの回答として、小冊子やおすそ本の紹介などをした。設置初年度から反応があったので、今後は展示などを通してYA世代へのアプローチを続けていきたい。 	中央図書館
	③図書館職員研修等の充実(市立図書館)			<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修：20回(図書館業務全般研修・個人情報保護研修・読み聞かせ研修・わらべうた研修・電子図書館サービス研修等) ・外部研修：18回(読書推進講座・児童サービス研修会・春季読書研修会・図書館中級職員研修会・読書のリアフリー研修・読み聞かせボランティア養成講座・図書館サービス研修) 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修では課題解決に向けた内容で図書館員としての向上を図る。オンライン研修は特に積極的に受講していく。 ・埼玉県図書館協会主催の研修、その他の外部研修の受講を積極的に継続し、職員間で共有する。職員会員のスキルアップを図り、出来る事を増やしていく。 	子ども図書館

節	項目	事業名	細目	令和4年度実施状況	今後の課題・方向性	担当部署	
2 子ども読書活動を推進するための環境の整備・充実		③図書館職員研修等の充実（市立図書館）		・オンライン研修を受講した。 <ul style="list-style-type: none"> 読書学習支援 多文化サービス 図報物作成 ほか 	今後も各種研修を通じてスキルアップに努める。	中央図書館	
	(2) 学校図書館の整備・充実	①図書資料の整備・充実		・各校において適切かつ定期的に図書資料を購入し、図書資料の充実を図った。 <ul style="list-style-type: none"> 紙書数が「学校図書館図書推進」を達成している学校は11校中6校であった。 各校において計画的に新規購入や廃棄を実施した。 	・「学校図書館図書推進」については、前年度より達成校が1校増とはなかったが、基準に達するよう改善すべき課題であり、計画的な図書資料の新規購入と廃棄を行う必要がある。この点について、各校の学校図書館推進員を中心に積極的に行っているため、今後も図書資料の整備・充実に向けて推進していく予定である。	学校教育課	
		②設備・環境の整備・充実		・児童・生徒や教職員が選んだ本をその児童自らポップを作成し、掲示した。 <ul style="list-style-type: none"> テーマに合わせた本を集め、展示した。 小学校では、児童の目線の高さに展示した。 時季にあわせた掲示物の作成・掲示を行った。 	・掲示物・表示等の工夫について各校で力を入れて行っている。今後も環境の整備・充実に向けて推進していく予定である。	学校教育課	
	(3) 学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進	①司書教諭の配置		・司書教諭は、12学級以上（特別支援学級含む）の公立学校に置くことや学校図書館法で定められており、本市では、司書教諭を置く義務があるのは9校だが、10校に司書教諭を配置し、学校図書館の充実に努めた。	・引き続き、司書教諭の配置を適切に行い、学校図書館活用の充実に努める。	学校教育課	
		②学校図書館推進員の配置		・各学校に1名の学校図書館推進員を配置し、週3日勤務している。司書教諭や学校図書館担当と連携し、図書館の整備、活用の推進を行った。	・引き続き、学校図書館推進員の配置を配置し、学校図書館活用の充実に努める。	学校教育課	
	(4) 環境のある子どもたちのための読書環境の整備・充実			・案内掲示や表示等を分かりやすくした。 <ul style="list-style-type: none"> 配架する高さを工夫した。 重くても自由に動き回れる書架の配置を工夫した。 リーディングトラッカーを活用した。 文字の大きさや絵図等の多い本の選定をした。 特別支援学級用のパンフレットを作成した。 	・様々な視点から各校が工夫をしているので、今後も整備の充実に努めていく。	学校教育課	
	3 子どもの読書活動に関する普及・広報の推進	(1) 「子ども読書の日」を中心とした普及・広報	①子ども図書館		ボランティア団体「北本市子どもの本を楽しむ会」 「北本市子ども図書連絡会」と協働で年齢にあわせた4種類のブックリストの作成・改訂・配布を実施。良書の普及に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> こどもとっしよに（ブックスタート向け） このほんよんでⅠ（赤ちゃん＆小さい子から小学3年生くらいまで） このほんよんでⅡ（小学3年生くらいから小学5年生くらい） このほんよんでⅢ（中学生から大人） おすすめの本展示・テーマ別企画・特集展示 86回実施（貸出冊数8,315冊） 読書感想文課題図書等の展示 ブックリストの本の展示（2022夏 この本よんで～ページをめくればトキトキわくわく～）貸出冊数1,200冊 この本よんで ブックトーク＆おはなし会（ボランティア団体と協働で開催） 図書館だより（毎月発行 おすすめ本の紹介） HP（毎月掲載） 	ボランティア団体「北本市子どもの本を楽しむ会」 「北本市子ども図書連絡会」と協働し、継続しておはなし会でリスト本を紹介していく。子どもが良書を手にする機会を増やすため、楽しいイベント・展示・配布物・ホームページ等の異なる媒体を活用し、子どもたちが「お気に入りの1冊」にめぐり会えきっかけづくりをする。	子ども図書館
			②中央図書館		・読書まつり「この本よんで」 パネル展示 リスト本展示（貸出：107冊） 暑・SDG展示（貸出：80冊） ・図書館だより（毎月発行） ・YA向けブックリスト「OPEN THE DOOR」の作成、配布（年4回、配布：166部）	YA向けブックリストや市内ボランティアと協働で作成したリスト、図書館の情報を発信する図書館だよりの発行など、本を手にするきっかけを提供するため、効果的な広報ができるよう各所と協力していきたい。	中央図書館
			③小・中学校		・ポスター、図書館だより、放送等で読書普及活動を行った。 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒・教職員による推奨図書紹介を行った。 学校図書館でのイベントを行った（読書かるた、貸し出し券の配布、）。 	・今後も各校の実態に応じて、継続的に普及活動を推進していく。	学校教育課

節	項目	事業名	細目	令和4年度実施状況	今後の課題・方向性	担当部署
② 優良な 読書の普及	① 児童図書館	① 子ども図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書週間にはおススメ本の展示（4/23～5/12）と、ボランティア団体と協働で季節のおはなし会を開催した。 ・6月中旬から7月末まで、読書感想文の課題図書を表示。167冊の貸出があった。 	<p>子ども読書の日には、ボランティア団体と協働で「子ども読書の日おはなし会」を開催する。ストーリーテリング・手袋シアター・ブックトーク・大型絵本の読み聞かせ等、子どもが興味を持つようにプログラムを作成し、読書への興味を喚起する。事前に館内ポスターやチラシ、図書館ホームページ、指定管理者のポータルサイトとインスタグラムで広報する。</p>	子ども図書館
		② 中央図書館		<ul style="list-style-type: none"> ・指定図書、課題図書展示 ・リスト本コーナー（貸出：440冊） ・埼玉県高校の可書が選んだイデオシ本展示 ・YAコーナー展示（貸出：1,673冊） ・YAリスト「OPEN THE DOOR」の作成、配布（年4回、配布：186部） 	<p>YAコーナーの貸出数が昨年度の約1.6倍に増え、学習コーナーを利用する中学生にも認知されるようになってきた。ブックリストの配布も好評なので、他の図書館の取り組み等も参考にしつつ、より多くのYA世代にアプローチできるようにしたい。</p>	中央図書館
		③ 小・中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・優良読書の紹介コーナーの設置や図書だよりでの紹介を行った。 ・優良読書を用いた校内移動図書館を運営した。 	<p>各校で様々な工夫をしているので、情報を共有し各校の異なる取組の推進を行っていく。</p>	学校教育課

第2次北本市子ども読書活動推進計画
(素案)

- 第1章 計画の概要
 - 1 計画策定の目的
 - 2 計画の期間と対象
 - 3 計画の位置づけ
 - 4 SDGsとの関連

- 第2章 計画の振り返り
 - 1 前回計画の総括
 - 2 前回計画の主な成果
 - 3 今後の主な課題

- 第3章 第2次計画の方針
 - 1 基本の方針
 - 2 計画の体系

- 第4章 読書活動の推進に向けた取組
 - 基本の方針1 家庭、地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実
 - (1) 家庭における推進
 - (2) 地域における推進
 - (3) 学校等における推進
 - (4) 市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力
 - 基本の方針2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実
 - (1) 市立の各図書館の整備・充実
 - (2) 学校図書館の整備・充実
 - (3) 学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進
 - (4) 障害のある子どものための諸条件の整備・充実
 - 基本の方針3 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進
 - (1) 「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報
 - (2) 優良な図書の普及
 - 基本の方針4 子どもが読書に親しむための推進体制の充実

- 第5章 資料
 - 1 第2次北本市子ども読書活動推進計画策定のためのアンケート結果
 - 2 北本市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱
 - 3 北本市図書館協議会委員名簿
 - 4 第2次北本市子ども読書活動推進計画策定委員名簿
 - 5 第2次北本市子ども読書活動推進計画策定の経過

第1章 計画の概要

1 計画策定の目的

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。私たちを取り巻く社会環境は高度情報化、少子高齢化、核家族化などめまぐるしく変化し、大人だけではなく、子どもの心身の発達や生活環境などに大きな影響を与えています。

こうした状況のもと本市では「北本市子ども読書活動推進計画」を、平成31年3月に策定しました。計画の期間は、平成31年度(令和元年度)から平成35年度(令和5年度)までの5年間としています。

子どもの健やかな成長のために、この計画に基づいた施策により、家庭、地域、学校等を含めた、社会全体で子どもを取り巻く環境を整備して、読書活動を推進していく必要があります。

近年のインターネットやスマートフォンなどの普及等や、学校でのGIGAスクール構想実現のための1人1台学習用端末整備など、情報化社会は急激に進展しています。そのほかの分野でも、社会は大きく変化を続けています。このままでは、子どもたちが読書から離れてしまう危惧を払拭するのは困難です。

北本市子ども読書活動推進計画を引き継ぐ「第2次北本市子ども読書活動推進計画」は、目まぐるしく変化する情報化社会に対応したものとしました。

2 計画の期間と対象

計画の期間は令和6年度から令和10年度までの概ね5年間とします。本計画における「子ども」とは、概ね18歳以下の人をいいます。また、子どもの読書活動の推進に関わる保護者、地域、教育・福祉・保健等の関係者も対象に含みます。

3 計画の位置づけ

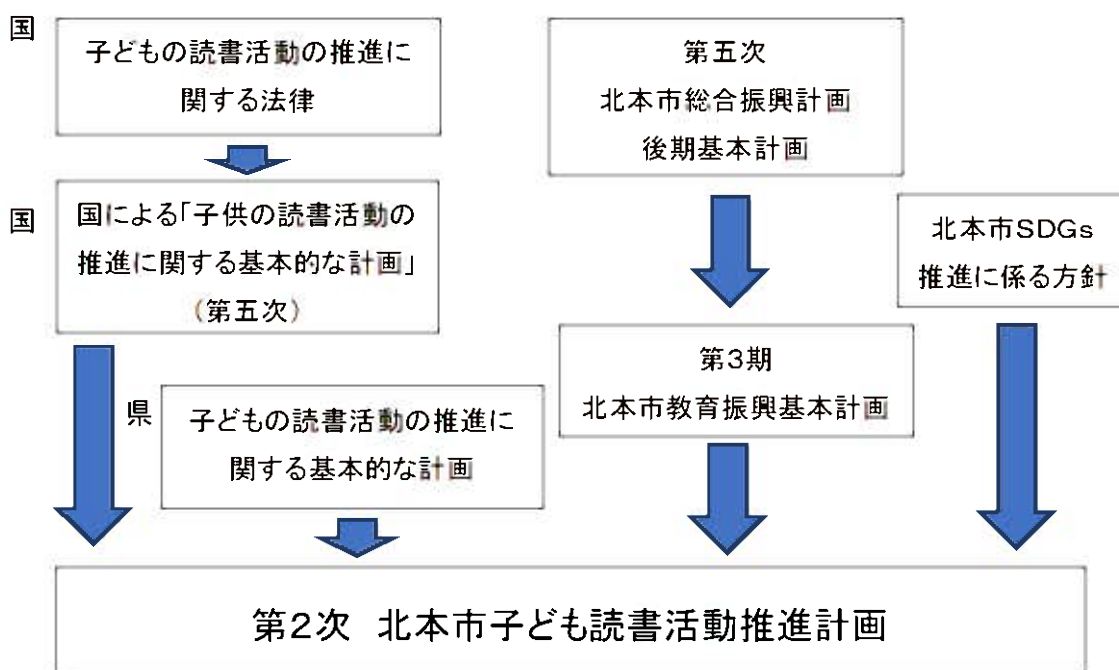
本計画は、国において平成30年4月に策定された「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律第154号)第9条第2項に規定する、市町村における子どもの読書活動

の推進に関する施策についての計画として位置づけられます。

また、埼玉県では令和5年3月、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が最新の計画として策定されています。

北本市では、国と埼玉県の動きを踏まえるとともに、市政全般の指針となる計画「第五次北本市総合振興計画後期基本計画(令和4年3月)」及び教育行政分野における計画「第3期北本市教育振興基本計画」(令和5年2月)との整合性を図り、子ども読書活動にかかる施策を総合的に推進するためのものとして「第2次北本市子ども読書活動推進計画」を策定するものです。

計画の関連図



4 SDGsとの関連

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、平成27(2015)年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。

17のゴール・169のターゲット・231の指標(重複を除く。)から構成され、開発途上国のみならず、我が国を含む各国において、令和12(2030)年までの目標達成に向けた積極的な取組が進められています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



多様性や包摂性を前提とするSDGsの理念は、北本市（以下「本市」という。）のまちづくりの基本理念「市民との協働による持続可能なまちづくり」や、将来都市像「緑にかこまれた健康な文化都市～市民一人ひとりが輝くまち北本～」と方向性を同じくしています。

これを踏まえ、北本市では、「第五次北本市総合振興計画後期基本計画」（計画期間：令和4（2022）年4月1日から令和8（2026）年3月31日まで）（以下「後期基本計画」という。）において、各施策分野に掲げられた「施策の目指す姿」に該当するSDGsのアイコンを示すとともに、内閣府作成の「地方創生SDGsローカル指標リスト」を参考としてSDGsのゴールと結びつけた「施策の成果指標」や「基本事業の指標」を設定しました。

第2次子ども読書活動推進計画においても、17の目標のうち「4 質の高い教育をみんなに」と「17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」を主な目標とし、本計画を推進することにより、SDGsの達成を目指していきます。

4 質の高い教育を みんなに

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

17 パートナーシップで 目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

第2章 計画の振り返り

1 前回計画の総括

前回計画平成31年度（令和元年度）から平成35年度（令和5年度）では、本市の子ども読書活動を推進していくため、第2期北本市教育振興基本計画の基本的理念「共に学び 未来を拓く 北本の教育」の実現に向けて、4つの基本の方針を柱に、多様な取組を推進してきました。家庭、地域、学校における取組は確実に進められ、それぞれ一定の成果をあげていることから、前回計画の基本の方針、施策の方向性は評価できます。

しかしながら、前回計画における課題を検証すると、未だ取組の成果が十分でない施策や、今後より一層推進すべき施策が存在することから、基本の方針の実現に向けて引き続き、子どもの読書活動を推進するための取組を進めていく必要があります。

第2次計画においては、基本的な考え方は前回計画を踏襲し、基本の方針は変えず4つの基本の方針を定め、これまでの施策の見直しにより、今後の充実と発展、質の向上に努めます。また、前回計画策定されてから5年余りが経過する中で、新型コロナウイルス感染症の世界的流行や、気候変動に伴う激甚災害*、デジタル技術の急速な進展など、策定時点では予想できなかった変化や課題が発生しており、社会の変化に対応する必要があります。これらの新たに発生した課題にも対応するための施策を本計画に盛り込み、今後5年間、課題解決に向けた取組を推進します。

2 前回計画の主な成果

- 1 学校・図書館・保育所・児童館・公民館等、さまざまな場所で子どもが楽しく本と出合うことのできる機会が増え、ボランティア団体の活動も活発化しました。
- 2 図書館とボランティア団体、図書館と児童館等、それぞれの団体や機関とが連携する活動が始まりました。
- 3 ブックスタート（4か月児）の定着により、家庭における読み聞かせの重要性が認識されてきました。
- 4 学校・図書館の連携による、子どもと良書を出合わせる取組が充実しました。
- 5 図書館における「読書通報」等の取組により、子どもが読書活動に興味を持つ機会となりました。

3 今後の主な課題

- 1 本をよく知り、読み聞かせ・ブックトーク等で、子どもに読書の楽しさを伝えることのできる人材を育成し、さまざまな施設・地域で子どもが本を読む楽しさを実感できる取組を推進することが必要です。
- 2 近年のスマートフォンなどの情報通信機器やインターネットなどのデジタル情報メディアの急速な普及・発達は、子どもの生活習慣や読書環境に大きな影響を与えていると言われています。子どもの読書離れを食い止めて読書活動に向かわせるには、子どもがいつでも自由に読める環境を、これまで以上に整備することが必要です。
- 3 急激に進むデジタル化の中で、SNSやオンラインによる読書啓発が必要です。また子どものための電子書籍を取り入れることも必要です。同時に、生の声での読み聞かせ等、対面で実施する読書啓発や、子どもが長く親しんできた紙の本の魅力にも留意し、多角的に取り組むことも必要です。
- 4 読書推進の気運を高めるため、今後もより一層、学校・家庭・図書館・地域・関係諸機関等の連携強化が必要です。
- 5 読書活動が困難な子どもを支援するための環境整備を推進することが必要です。

第3章 第2次計画の方針

1 基本の方針

- (1) 家庭、地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実
- (2) 子ども読書活動を推進するための環境の整備・充実
- (3) 子ども読書活動に関する啓発・広報の推進
- (4) 子どもが読書に親しむための推進体制の充実

2 計画の体系

基本の方針1 家庭、地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実	
(1)	家庭における推進
	① ブックスタート
	② 読み聞かせ等
(2)	地域における推進
	① 市立の各図書館における推進
	② 民間団体等における推進
(3)	学校等における推進
	① 保育所等における推進
	② 小学校・中学校における推進
(4)	市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力
基本の方針2 子ども読書活動を推進するための環境の整備・充実	
(1)	市立の各図書館の整備・充実
	① 資料の整備・充実
	② 設備等の整備・充実
	③ 図書館職員研修の充実(市立図書館)
(2)	学校図書館の整備・充実
	① 資料の整備・充実
	② 設備等の整備・充実
(3)	学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進
	① 司書教諭の配置
	② 学校図書館指導員の配置
(4)	障害のある子どものための諸条件の整備・充実
基本の方針3 子ども読書活動に関する啓発・広報の推進	
(1)	「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報
	① こども図書館
	② 中央図書館
	③ 小・中学校
(2)	優良な図書普及
	① こども図書館
	② 中央図書館
	③ 小・中学校
基本の方針4 子ども読書に親しむための推進体制の充実	

第4章 読書活動の推進に向けた取組

1 基本的方針 家庭、地域、学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

(1) 家庭における推進

① ブックスタート

【現状と課題】

本市では、毎月実施される乳児（4か月児）健診の会場で、ブックスタートを平成16年8月から実施しています。

健診終了後、訪れた親子にこども図書館員、地域のボランティア団体が絵本の読みきかせや絵本の選び方等の説明を行い、絵本などが入ったバックを手渡します。絵本を通じて保護者と赤ちゃんがふれあい、豊かな時間を過ごすことで、赤ちゃんが健やかにたくましく育つことを目的としています。

今後は、国際色豊かな親子の増加に伴う多言語への対応や、視覚障がい、聴覚障がいの保護者、赤ちゃん向けの対応も必要となります。

※1 ブックスタート

4か月児健診などの機会に絵本を紹介し、プレゼントすることで絵本との出会いのきっかけをつくる事業。子育てに関する資料や絵本のリスト等も提供している。

【施策の方向】

家庭での本との出会いを充実させるために、こども課では、こども図書館、地域のボランティア団体と連携を図りながら、ブックスタート事業を継続的に実施します。ブックスタートが「絵本」との出会いの「きっかけ」となるように、それぞれの親子に合わせた取組になるよう、検討を進めます。

多言語への対応や視・聴覚障がいの親子への対応についても、こども図書館と連携を図り、支援をしていきます。

② 読み聞かせ等

【現状と課題】

子どもたちには、本を手渡すと同時に「ことば」を手渡すことが重要となります。家族に本を読んでもらう経験は、子どもたちの長い読書人生の礎を築く第一歩となります。こども図書館でも、親子で読みきかせをする姿をよく見かけるようになりました。

読みきかせに適する本は、こども図書館にも中央図書館にもあります。文字が読めるようになって「読みきかせ」等を継続することが大切です。

【施策の方向】

市立図書館の行事等を通じて、多くの人に読みきかせの大切さについてお知らせをし、家庭での読みきかせを行うきっかけや機会の提供について継続的な支援を行っていきます。

また、読み聞かせボランティア養成講座を継続的に行い、ボランティアに携わっていない方にも参加していただき、読みきかせの技術や素晴らしさを伝えていきます。

(2) 地域における推進

① 市立の各図書館における推進

ア こども図書館

【現状と課題】

乳幼児から小学校低学年を対象とした資料を中心に蔵書構成をしています。図書館員が利用者の好きな本の読みきかせを行い、子どもたちに耳から聞く豊かな言語環境を提供すると同時に、親子でホッとする時間を提供しています。

また、利用者の希望に応じて行うサービスを通じ、障がいのある利用者が読書に親しむ機会の提供や、本の選び方、読みきかせ方法等に関する質問にも対応しています。

本を仲立ちとして、家族で楽しいひと時を過ごしていただくようおはなし会やイベントの実施、様々なテーマでおすすめ本の展示を行う等、利用者が積極的に本を手にする機会の提供や読書の幅を広げる支援を行っています。

利用者の成長に合わせた行事の提供を心がけることが必要となります。

希望者には読書通帳を発行しています。貸出記録を残すことにより、どんな本を読んできたか振り返ることが出来、また、これだけの本を読んだという達成感を味わうことが出来るので読書の継続に繋がります。

【施策の方向】

利用者が言葉や本に触れる機会を増やすために、絵本の読みきかせ、おはなし会、イベント、展示等の様々な事業を通じて、家族そろって楽しい時間が共有できる場を提供していきます。

耳から聞く豊かな言語環境の提供とともに、親子での読みきかせや本を手にする機会の拡大、支援に努めます。

イ 中央図書館

【現状と課題】

小学校中学年以上を対象とした資料を中心に蔵書構成をしています。子どもたちの

知的好奇心を満たし、学習を助け、子どもたちの一生の友となる本との出会いを提供するため、子どもたちが利用しやすいように、子ども優先閲覧席の設置や、調べ学習の相談等を行っています。小学校中学年以上の児童書の充実を図り、おすすめ本の展示やヤングアダルト（※2）コーナーを設ける等、多くの子どもたちに利用していただけるよう、様々な取組を行っています。

市内3か所の公民館内にある図書館分室は、中央図書館が運営しているため、分室の児童書の整備、充実を図るとともに、分室のある各公民館との連携を進めていく必要があります。また、点字図書、デージー図書（※3）等を取集し、障がいのある子どもたちへの対応を行っています。

※2 ヤングアダルト

本計画では、概ね12歳から18歳を対象としている。

※3 デイジー図書

DAISY: Digital Accessible Information System「アクセシブルな情報システム」の略。誰もが使えるアクセシブルなデジタル資料。読みたい章や節、ページに容易にたどり着くことができる。

【施策の方向】

子どもたちが利用しやすい環境の整備に努め、魅力ある取組を実施していきます。また、図書館分室のある各公民館との連携や図書資料の更なる充実を図っていきます。

ウ 図書館分室（南部公民館・西部公民館・学習センター）

【現状と課題】

子どもたちが利用しやすいように、絵本や紙芝居などは中央図書館より多く配置していますが、子どもが閲覧しやすいような学習環境の整備が必要という課題があります。

また、分室と談話室が隣り合わせのため、声を出して読むことが難しい配置となっている施設もあることから、親子で本を楽しむことができるスペースが必要となります。

利用方法、開館時間等の更なる周知に努め、「市立図書館（中央図書館・こども図書館）以下、市立図書館という。」との事業の連携等についても、検討が必要となります。

【施策の方向】

施設の管理を各公民館が行っていることから、環境の整備や事業の連携方法等について、中央図書館と各公民館による協議・検討を行います。

② 民間団体等における推進

【現状と課題】

地域のボランティア団体は、各保育所での絵本の読みきかせやパネルシアター、各小学校でのおはなし会（※4）等を行っています。市内に3か所ある子ども文庫では、本の貸出を行う等、子どもの読書活動の推進のために様々な活動をしています。

また、市立図書館との協働事業としておはなし会、子ども読書まつり、児童文学講座等の実施や、その他、子どもの年代別に作成しているブックリスト（※5）の作成でも連携をしています。

【施策の方向】

今後も、地域のボランティア団体との連携、協力を推進していきます。

ボランティア養成講座を実施し、読みきかせに興味がある方と読みきかせボランティアとの橋渡しも行っていきます。

※4 おはなし会

絵本の読みきかせや昔話の語り等をする会。

※5 ブックリスト

「子どもたちの年代別おすすめ本」のリスト。中央図書館・こども図書館・ボランティア団体が連携して作成している。

(3) 学校等における推進

① 保育所等における推進

【現状と課題】

保育所では、乳幼児、幼児期、小学校入学前までに分けて、年齢ごとに絵本や紙芝居の読みきかせ等を行っています。保育指針の中で、絵本や紙芝居の読みきかせをすることによって親しみや興味を持ち、模倣・想像する楽しさを知ることや、言葉を伝え合うことで、豊かな表現力を身に付けること等が示されていることから、保育の中に積極的に取り入れています。

保護者にも絵本に興味を持てるよう、懇談会等で子どもたちの好きな絵本や紙芝居を周知し、保育所で読みきかせをしている本の紹介や保育士の感動した本の読みきかせ等を行っています。

家庭での読みきかせを推進するために、各保育所で所有している絵本の貸出も行っていきます。一人でも多くの保護者へ絵本の良さをお伝えしていくことが必要です。

【施策の方向】

絵本の読みきかせや絵本の紹介を通じて、家族と一緒に本を読む機会の拡大に努めるとともに、小学校入学前までの子どもたちの読書をする習慣づくりを支援します。

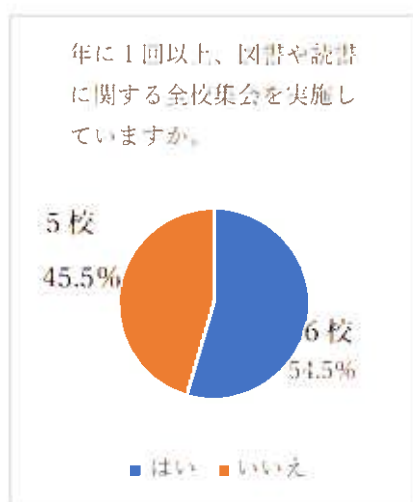
② 小学校・中学校における推進

【現状と課題】

小・中学校学習指導要領（平成29年3月告示）においては、「総則」、「国語」、「社

会」、「美術」(中学校のみ)、「特別活動」に、それぞれ学校図書館との関連についての記載があります。特に、指導要領の中心的な概念の一つである「主体的・対話的で深い学び」を実現するうえで、学校図書館を計画的に活用し、児童・生徒の自主的・自発的な学習活動や読書活動を充実させることが求められています。

そのような中、市内の小・中学校では子どもが読書に親しむ機会の提供と充実を図るために、学校図書館を活用したさまざまな取組を行っています。「図書や読書に関する全校集会」は、11校中6校の小・中学校で実施され、おすすめ本の紹介や貸出冊数の発表・表彰等の啓発活動を行っています。「朝読書」については、11校中9校の小・中学校で実施しており、「読みきかせ」等については、すべての小学校で、地域のボランティア団体の協力等により行われています。また、「定期的に本に触れる機会のある部活動」では、1校の中学校で部活動を行っており、「調べ学習」については、11校中10校の小・中学校で学校図書館を活用しています。子どもの主体的、意欲的な読書習慣の確立のために、今後も各学校で継続的な取組を行っていくことが必要となります。



【施策の方向】

子どもたちが読書の楽しさを知り、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、学校図書館の計画的な活用とともに各学校において特色のある読書活動を推進していきます。

(4) 市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力

【現状と課題】

子どもの読書活動を推進するために、市立図書館、各保育所、小・中学校、地域のボランティア団体がそれぞれの役割を担いながら、相互の連携、協力を図っています。

市立図書館と各保育所は、団体貸出、本のリサイクル等で連携・協力をしています。各学校とは調べ学習、図書館見学、学校図書館研修会、団体貸出、放課後こども教室

等で連携・協力を図っています。地域のボランティア団体とは、各種事業での連携・協力やおすすめ本のリストの作成を実施しています。

地域のボランティア団体は、各保育所及び各小学校で本の読みきかせ等を行っています。今後も継続した取組が必要となります。

【施策の方向】

子どもの読書活動を推進するために、相互の連携・協力を図りながら継続した取組を行っていきます。

図書館見学で図書館、本に親しみを持ってもらう。遠くてなかなか大人数で見学に難しい場合は、図書館から学校に向いて、出張版の図書館見学も行う事も検討します。

また、学校で使用しているタブレット端末で電子図書館を利用できるようにして、調べ学習や朝の読書などに活用することを推進します。

2 基本的方針 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実

(1) 市立の各図書館の整備・充実

① 資料の整備・充実

ア こども図書館

【現状と課題】

絵本、知識の本、読みもの等、子どもの成長段階に対応する本や、様々な興味関心を満たすための分野の本を収集しています。読書量の幅を考慮しつつ、乳幼児から小学校低学年くらいまでが利用しやすい蔵書構成を心がけています。絵本、読みもの、さらに調べ学習に役立つ辞典や、日本十進分類法の分類 0 類～8 類の本の充実を図り、子育て支援の本の収集にも努めています。調べ学習に役立つ、小学校低学年向けの歴史の本等の出版自体が少ないため、より良い蔵書構成とするために、どのように図書類を収集していくかという課題があります。

【施策の方向】

引き続き、0 類～8 類（※6）の本の充実を図るとともに、利用者の興味関心を満たすための分野の本の収集を行っていきます。また、小学校低学年の調べ学習にも役立つ蔵書構成に努めます。利用者の要望に応じてより詳しい資料を提供するため、初めて中央図書館を案内する場合は、子どもたちが安心して利用できるよう、中央図書館と連携したサポートを行っていきます。

令和3年10月に導入した電子図書館のサービスは、調べ学習に役立つ図鑑などを気軽に自宅で活用できることを周知します。

※6 日本十進分類法の分類

0 類：総記 1 類：哲学 2 類：歴史

3 類：社会科学 4 類：自然科学 5 類：技術

6 類：産業 7 類：芸術 8 類：言語 9 類：文学

イ 中央図書館

【現状と課題】

児童コーナーでの児童向け図書資料の収集、調べ学習や総合的な学習の時間のための参考図書資料等の充実に努めています。図書館にあるヤングアダルトの図書を手にとっていただくための展示の工夫や、中高生向けの図書資料を計画的に収集していく必要があります。

【施策の方向】

今後も、調べ学習に役立つ資料の収集を行うとともに、小学校中学年から中高生を対象とした図書資料の充実に努めます。

② 設備等の整備・充実

ア こども図書館

【現状と課題】

利用者の多くが赤ちゃんから小学生であることを考慮し、館内のサインを大きくする等の工夫をしています。本を低い位置に配架することで、小さな利用者も好きな本を手に取りやすいようにしています。棚の角が危なくないようにクッション材を取付け、設備を清潔に保ち、季節感のある装飾を手作りする等、居心地のよい空間の提供と安心して過ごせる環境づくりに努めています。

今後も、利用する全ての人が満足して穏かに過ごすことができる空間の提供が必要となります。

【施策の方向】

居心地のよい空間の提供と安心して過ごせる環境づくりに配慮するとともに、寄添い・声かけ等の丁寧な対応を行っていきます。

イ 中央図書館

【現状と課題】

大人の利用者が多い中央図書館内で、子どもたちが利用しやすいように、子ども優先閲覧席を設置しています。

また、ヤングアダルトの本の展示やコーナーを設け、良書を手にする機会の拡大に努めています。

子どもたちが安心して図書館を利用することができるよう、こども図書館と連携したサポートが必要となります。

【施策の方向】

こども図書館と連携した支援を行うとともに、調べ学習の相談、子ども優先閲覧席の利用等を通じて、子どもたちが中央図書館を利用しやすい環境の整備に努めます。

また、勉強や部活動等で忙しい中高生にも、本を手にとってもらえるよう、本の展示の工夫やヤングアダルトコーナーの充実に努めていきます。

③ 図書館職員研修等の充実（市立図書館）

【現状と課題】

児童サービスに携わる図書館職員は、子どもの本に関する豊富な知識と、子どもに対する深い理解が必要となります。

中央図書館では、児童奉仕、おはなし会、ブックトークについての研修等、児童サービスに必要な知識・技術を身に付けるための研修を行い、職員の専門性の向上を図っています。今後は、ヤングアダルトを対象とした、資料の知識を深めるための研修も必要となります。

こども図書館では、より良い児童サービスを提供するために著作権研修、検索技術の研修、絵本やおはなし会についての研修、救命救急講習、コンプライアンス等の研修を実施しています。なお、オンラインで行える研修が増えているため、現地にいかずとも効率よくスキルアップが行えるので、積極的に受講していきます。

【施策の方向】

文化庁や県立図書館等の研修を積極的に受講し、職員のスキルアップに努めるとともに、受講した職員が他の職員にフィードバックする仕組みを整えていきます。

また、児童サービスは中央図書館・こども図書館共通であり、連携したサポートを行うためにも、赤ちゃんから18歳くらいまでの幅広い層へのサービスについて、両者ともに学んでいく必要があります。

(2) 学校図書館の整備・充実

① 図書資料の整備・充実

【現状と課題】

学校図書館には、豊かな心をはぐくむ読書センター（※7）の機能と、児童生徒の学習活動を支援する学習情報センター（※7）としての機能があります。市内小・中学校では、学校

ごとに図書の購入希望調査等を行い、課題の自力解決に役立つ資料、調べ学習で不足している資料、興味を惹く図書等の購入に努めています。教員向けに図書見本の閲覧会を開き、購入希望調査を行って購入をしている学校もあります。

限られた予算の中で工夫して選書を行う等、図書の購入に努めているところですが、学校図書館図書標準（※8）を達成している学校は、小学校は7校中3校、中学校は4校中1校と半数に満たない状況でした。

【施策の方向】

蔵書の充実にも努めるとともに、貸出図書の確実な返却や適切な図書の保守・管理を行い、現有図書を大切に使用していきます。

※7 読書センター・学習情報センター

学校図書館が持っている2つの機能のこと。

○読書センター：児童生徒の創造力を培い、学習に対する興味・関心等呼び起こし、豊かな心をはぐくむ

○学習情報センター：児童生徒の自発的、主体的な学習活動を支援するとともに、情報の収集・選択・活用能力を育成して、教育課程の展開に寄与する

※8 学校図書館図書標準

文部科学省が定めた公立義務教育諸学校における学校図書館の標準蔵書数・学級数を基準に蔵書冊数の目標値を定めている。

② 設備・環境の整備・充実

【現状と課題】

校長のリーダーシップのもと、司書教諭（※9）・学校図書館指導員（※10）を中心として、学校図書館の環境整備に努めています。学校図書館指導員、保護者のボランティア、市立図書館等の協力を得て、すべての小・中学校において、おすすめ本のポップや季節ごとの室内掲示の工夫、読書イベントのお知らせ等を行っています。特に、小学校では「スタンプラリー」や「読書ビンゴ」等の取組が多く、中学校でも「おすすめの本の紹介」等の取組を行うことで、学校図書館に足を運んでもらえるようにしています。

※9 司書教諭

学校図書館の専門的職務を担う教員で、司書資格と教員免許が必要。学校図書館法により、12学級以上ある学校には配置しなければならない義務がある。

※10 学校図書館指導員

学校図書館における図書の貸し出しや図書の整理などの通常業務を各学校で組織された図書委員会の子どもたちと共に行うだけでなく、図書室内の掲示物を工夫して作成したり、子どもたちに読んでもらいたい本を推薦図書として紹介したり、本の読み聞かせ会などを企画して実践するなど、読書活動を推進する。

【施策の方向】

今後も、各小・中学校の効果的で特色ある取組を共有することで、魅力ある学校図書館環境づくりを推進していきます。

(3) 学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進

① 司書教諭の配置

【現状と課題】

司書教諭は、全校で12学級以上（特別支援学級含む）の公立学校に置くことが学校図書館法で定められています。

本市における令和5年度の状況では、小・中学校全11校中、司書教諭を置く義務があるのは9校ですが、10校に司書教諭を配置し、学校図書館の充実に努めています。

② 学校図書館指導員の配置

【現状と課題】

各学校に1名の学校図書館指導員を配置しています。週15時間の勤務により、配架、児童・生徒へのレファレンス、司書教諭や学校図書館教育主任の補助、季節の掲

示等を行い、学校図書館の充実に努めています。

【施策の方向】

今後も、今までと同様に学校図書館指導員を配置しつつ、各学校の司書教諭や学校図書館教育主任と連携し、学校図書館を活用した教育の推進に、より一層努めていきます。

(4) 障がいのある子どものための諸条件の整備・充実

【現状と課題】

障がいのある児童・生徒に対する取組については、11校中9校の小・中学校で実施をしています。取組内容としては、点字本の設置、車いすでも自由に移動できる机の配置、本を手に取りやすいように配架の高さへの配慮等を行っています。

【施策の方向】

障がいのある児童・生徒に対して工夫や配慮をしている事例を各学校で共有できる機会を設け、諸条件の整備等、更なる充実を進めていきます。

3 基本の方針 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

(1) 「子ども読書の日（※11）」を中心とした啓発・広報

① こども図書館

【現状と課題】

子どもへの読書の啓発と子どもにかかわる大人への啓発という2本の柱で行っています。こどもの読書週間（※12）に読みきかせの大切さを発信する他、ブックトークや様々なイベントを実施して、本を手にする機会の提供に努めています。

来館者の年齢が赤ちゃんから大人までと大変幅が広いので、イベント内容に工夫が必要となります。

※11 子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために4月23日を「子ども読書の日」と定めている。

※12 こども読書週間

子ども読書の日である4月23日から5月12日までの約3週間の期間。

【施策の方向】

ブックトーク等は対象年齢別に行うことで、それぞれのニーズに合う本の紹介等を心がけます。また、イベントについては、家族みんなで楽しめる内容を工夫し、年齢の幅を超えて本への興味関心が持てるような取組を行っていきます。

② 中央図書館

【現状と課題】

図書館行事の機会や図書館だより等で、読書活動の推進についての啓発を行い、こどもの読書週間に合わせた児童向け展示や工作会等のイベントを行っています。

また、夏休み期間中には、中央図書館、こども図書館、地域のボランティア団体が連携し、「子ども読書まつり」を開催しています。平成30年度は、こども図書館、中央図書館、地域のボランティア団体が同じ会場を使用して「わらべうた」、「ブックトーク」、「おはなし会」を行う「読書まつりスペシャル」を初めて開催しました。このほかにも、毎年、児童文学作家や翻訳家等を講師に招いて、児童文学講座を実施しています。

今後も、事業内容の検討を行いながら、より充実した取組を行っていく必要があります。

【施策の方向】

子ども読書の日を中心とした啓発やイベント等を実施するとともに、子ども読書まつりや児童文学講座等の事業を継続して行っていきます。

③ 小・中学校

【現状と課題】

11校中8校の小・中学校でポスターの掲示や各種たよりの活用、読書啓発のためのイベント、校内放送での周知等の取組を行い、「子ども読書の日」に関連した啓発や広報活動を行っています。

【施策の方向】

子ども読書の日を中心とした読書活動に関する啓発・広報に関する取組を継続して行っていきます。

(2) 優良な図書の普及

① こども図書館

【現状と課題】

読書感想文の課題図書や夏休み・冬休み等の推薦図書の展示、特集展示等を実施して、良書を手にする機会を提供しています。また、おはなし会、ブックリストの作成、ブックトーク等を通して、多くの利用者に良書の存在を伝え、本を手渡し、読書に繋がる支援を行っています。

長く読み継がれてきた本の紹介についても、様々な工夫が必要となります。

【施策の方向】

展示方法の工夫やおはなし会等で読みきかせを行う等、家族で楽しい時間を共有していただき、本を手にする機会を提供していきます。

② 中央図書館

【現状と課題】

推薦図書、推奨図書、児童向け図書の展示や図書館だより、冊子等で優良な図書の紹介と情報の提供を行っています。また、家庭、学校等の関係機関へ優良な図書の情報を提供しています。図書の紹介のためのより良い情報発信や広報の方法について、検討していく必要があります。

【施策の方向】

図書館だより、冊子等での情報提供を行うとともに、メールやTwitterなどのSNSを活用した若い世代の家庭や中高生への情報発信について、検討をしていきます。

③ 小・中学校

【現状と課題】

すべての小・中学校で、優良な図書の普及のための展示や紹介等の取組を行っています。

【施策の方向】

優良な図書の普及のための展示や紹介等の取組を継続して行っていきます。

4 基本の方針 子どもが読書に親しむための推進体制の充実

【現状と課題】

子ども読書活動推進計画の改定にあたり、市内関係部課等と連携・協力して推進していきます。施策を総合的・計画的に推進するためには、児童・生徒を取り巻く市内関係部課等および学校、図書館、保護者、地域ボランティアなどの関係者との連携が努める必要があります。

【施策の方向】

子どもの読書活動の推進に向けて、市内関係部課等の連携を強化するとともに、学校、保護者や地域ボランティアなどと協力し、魅力的な施策の推進に努めます。

北本市子ども読書活動推進計画に係る進捗状況調査（令和元年度から令和4年度）

節	項目	事業名	細目	実施状況				今後の課題・方向性				担当部署	
				令和元年度実施状況	令和2年度実施状況	令和3年度実施状況	令和4年度実施状況	令和元年 今後の課題・方向性	令和2年 今後の課題・方向性	令和3年 今後の課題・方向性	令和4年 今後の課題・方向性		
(1)家庭における推進	①ブックスタート			乳児（4か月児）検診の会場でブックスタートのコーナーを設け、子ども図書館スタッフ、支援ボランティア（北本市子ども読書推進委員会）による絵本の読み聞かせや絵本の選び方を説明し、絵本が入ったバッグを手渡します。実施回数30回、参加者数315人、協力支援ボランティア 延べ37人	乳児（4か月児）検診の会場でブックスタートのコーナーを設け、子ども図書館スタッフ、支援ボランティア（北本市子ども読書推進委員会）による絵本の読み聞かせや絵本の選び方を説明し、絵本が入ったバッグを手渡します。実施回数20回、配布絵本冊数409冊 ※新型コロナウイルス感染症により、令和2年度の絵本読み聞かせは中止	乳児（4か月児）検診の会場でブックスタートのコーナーを設け、子ども図書館スタッフ、支援ボランティア（北本市子ども読書推進委員会）による絵本の読み聞かせや絵本の選び方を説明し、絵本が入ったバッグを手渡します。実施回数24回、配布絵本冊数368冊 ※新型コロナウイルス感染症により、令和3年度の絵本読み聞かせは中止	乳児（4か月児）検診の会場でブックスタートのコーナーを設け、子ども図書館スタッフ、支援ボランティア（北本市子ども読書推進委員会）による絵本の読み聞かせや絵本の選び方を説明し、絵本が入ったバッグを手渡します。実施回数24回、配布絵本冊数320冊	国際色豊かな親子の増加に伴う多言語への対応や、視覚障がい、聴覚障がい、保護者や赤ちゃん向けの対応も必要となります。ブックスタートが絵本の出会いのきっかけとなるよう、それぞれの親子に併せた取り組みになるよう検討していきます。	国際色豊かな親子の増加に伴う多言語への対応や、視覚障がい、聴覚障がい、保護者や赤ちゃん向けの対応も必要となります。ブックスタートが絵本の出会いのきっかけとなるよう、それぞれの親子に併せた取り組みになるよう検討していきます。	国際色豊かな親子の増加に伴う多言語への対応や、視覚障がい、聴覚障がい、保護者や赤ちゃん向けの対応も必要となります。ブックスタートが絵本の出会いのきっかけとなるよう、それぞれの親子に併せた取り組みになるよう検討していきます。	国際色豊かな親子の増加に伴う多言語への対応や、視覚障がい、聴覚障がい、保護者や赤ちゃん向けの対応も必要となります。ブックスタートが絵本の出会いのきっかけとなるよう、それぞれの親子に併せた取り組みになるよう検討していきます。	子育て支援課	
				②読み聞かせ等	・「これよんで!」300回/695人（子ども391人、大人304人） ・出前おはなし会（社会福祉協議会子育て支援部会等）4回/155人（子ども56人、大人99人）	・出前おはなし会1回/25人（子ども18人、大人7人）	・読み聞かせボランティア養成講座「ステップアップ講座」を開催した。読み聞かせのノウハウを基礎から学び、図書館で読み聞かせをしている団体に一人でも多く市民が関心を持ち、活動に加わってくださる機会を提供することを目的とした。募集40名のところ、一般参加者24名、ボランティア団体代表4名の参加があった。	・読み聞かせボランティア養成講座「ステップアップ講座」を開催した。昨年の基礎講座に続き、同じ講師に依頼。基礎講座より一歩踏み込んだ講座になった。募集人数40名のところ、一般参加者22名、ボランティア代表者が3名参加した。	・赤ちゃんから小学生までを対象に「言葉を中心とするお手伝い」を行う。 ・「読み聞かせ」の経験を積むことの大切さを先生や保護者に伝える。	・赤ちゃんから小学生までを対象に「言葉を中心とするお手伝い」を行う。 ・「読み聞かせ」の経験を積むことの大切さを先生や保護者に伝える。	令和4年度は「読み聞かせボランティア養成講座 ステップアップ講座」を開催し、読み聞かせ技術の向上を図る。また、令和3年度の基礎講座に参加できなかった方のために「読み聞かせボランティア ミニ講座」を開催し、ステップアップ講座への参加につなげていく。読書支援の方法として、「読み聞かせ」を積極的に伝えていく。夏休みには小学生対象の「読み聞かせ講座」を開催する。	引き続き今年度もボランティア養成講座を開催する。ステップアップ講座も開催し、読み聞かせ技術の向上を図る。また、令和3年度の基礎講座に参加できなかった方のために「読み聞かせボランティア ミニ講座」を開催し、ステップアップ講座への参加につなげていく。読書支援の方法として、「読み聞かせ」を積極的に伝えていく。夏休みには小学生対象の「読み聞かせ講座」を開催する。	子ども図書館
				③読み聞かせ等	・絵本の月別テーマ展示（12回、貸出151冊） ・わくわく工作教室（2回、35名） ・児童文学講座「言葉の翻訳、翻訳の言葉」（60名）	・絵本の月別テーマ展示（12回、貸出169冊）	・児童向け月別テーマ展示（12回、貸出247冊）	・児童向け月別テーマ展示（12回、貸出315冊）	子どもが自ら本を借りていくことが少ないため、子ども向けの講座開催だけでなく、保護者に対する講座開催等を通して、子どもの読書習慣を育む環境をつくりたい。	コロナ禍で人の集まる催し物中止となっており、展示絵本の貸出数は増加したが、今後のウィズコロナアフターコロナの生活様式に即した展示イベント、講座の開催を目指す。	令和2年度までは絵本コーナーで絵本のみの展示だったが、令和3年度から展示場所を移動し、絵本以外の児童書も展示するようになり、貸出数が大きく増加した。しかし展示スペースが狭いため、分限によっては資料が足りないこともあったため、蔵書の構成のバランスに気をつけたい。	令和3年度に展示場所や内容の変更を行い、貸出数が増えたところから、更に貸出数を増やすことができた。今後もより良い展示方法や内容にできるような取り組み、児童の読書推進につなげていく。	中央図書館
				④市立の各図書館における推進	ア 子ども図書館	・蔵書の充実 児童書(23,425点) 子育て支援の資料(1,375点) ・行事等（図書館員が担当） ・書展のおはなし会 154回/1,856人（子ども1,021人、大人835人） ・毎月のおはなし会 41回/323人（子ども292人、大人231人） ・イベント等 12回/147人（子ども99人、大人48人） ・おすすめ本の展示 65回/貸出5,192点 ・視察・見学対応 39回/566人（子ども476人、大人90人）【合 体験おはなし会の実施 17回/251人（子ども209人、大人42人）】	・蔵書の充実 児童書(26,445点) 子育て支援の資料(1,896点) ・おすすめ本の展示 61回/貸出5,627点 ・視察見学対応 9回/65人（子ども61人、大人24人）	・蔵書の充実 児童書(27,809冊) 子育て支援の資料(2,006冊) ・月別テーマ展示、おすすめの本展示、書展展示 68回/貸出数 6,807冊 ・視察見学対応 9回/64人（子ども55人/大人9人）	・蔵書の充実 児童書(28,438冊) 子育て支援の資料(2,184冊) ・月別テーマ展示、おすすめの本展示、書展展示 68回/貸出数 6,318冊 ・視察見学対応 11回/209人（子ども177人/大人32人）	子どもを対象とした内容、子どもを取り巻く大人を対象とした内容の二つの側面を念頭に、蔵書構成、各種行事、おすすめ本の展示、視察・見学対応等を行っていく。	子どもを対象とした内容、子どもを取り巻く大人を対象とした内容の二つの側面を念頭に、蔵書構成、各種行事、おすすめ本の展示、視察・見学対応等を行っていく。	子どもの発達に沿った内容、子どもを取り巻く大人を対象とした内容の二つの側面を念頭に、蔵書の充実、各種事業、図書と子どもたちを結びつける展示、視察見学の対応を行っていく。	子どもの発達に沿った内容、子どもを取り巻く大人を対象とした内容の二つの側面を念頭に、蔵書の充実、各種事業、図書と子どもたちを結びつける展示、視察見学の対応を行っていく。
⑤市立の各図書館における推進	イ 中央図書館	絵本の月別テーマ展示（12回、貸出151冊） ・YAコーナー展示（書展展示：25冊/月別テーマ展示：60～70冊、貸出1,314冊） ・ヤングアダルトコーナーを学生の利用が多い学習コーナー入り口側に設置（書展展示：10冊/月別テーマ展示：10～15冊、貸出506冊） ・リストコーナーを新書コーナー横の目に入りやすい場所に移動（貸出216冊）	・絵本の月別テーマ展示（12回、貸出169冊） ・YAコーナー展示（書展展示：25冊/月別テーマ展示：60～70冊、貸出1,314冊）	・児童向け月別テーマ展示（12回、貸出247冊） ・YAコーナー展示（リスト展示：10冊/月別テーマ展示：70～100冊、貸出：908冊） ・YAリスト「OPEN THE DOOR」の作成、配布（単4回、配布：156部）	・児童向け月別テーマ展示（12回、貸出315冊） ・YAコーナー展示（貸出：1,673冊） ・YA向けブックリスト「OPEN THE DOOR」の作成、配布（単4回、配布：156部）	ヤングアダルトコーナーは設置後順次貸出が伸びているが、実際に借りているのは大人が多い。学習コーナーを利用する学生を、図書の利用にもつなげられるような取り組みが必要。	YAコーナーの月替りの特選資料の数を増やしたところ、貸出数が大幅に伸びた。また2021年6月より、YA向けブックリストの発行（単4回）を開始した。	昨年度より作成、配布を開始したYAリストについて、利用音からも好評を頂いており、今後もYA世代の利用促進を図っていく。	YAコーナーの貸出数が昨年度の約1.6倍に増え、学習コーナーを利用する中高生にも認知されるようになってきた。ブックリストの配布も好評なため、他の図書館の取り組も参考にしつつ、より多くのYA世代にアプローチできるようにしたい。	中央図書館			
⑥市立の各図書館における推進	ウ 図書館分室	・分室児童書蔵書数：13,130冊/分室全蔵書数：23,723冊 ・児童書の月別テーマ展示（12回、17冊）	・分室児童書蔵書数：14,171冊/分室全蔵書数：23,902冊 ・児童書の月別テーマ展示（12回、貸出169冊）	・分室児童書蔵書数：13,170冊	・分室児童書蔵書数：13,039冊	資料が古く状態の悪いものが多いため、買い替え可能なものは随時新しいものにした。また、各分室の利用状況や蔵書傾向を把握し、実態に即した資料の配置や準備を心がけた。	中央図書館と各分室におけるブックリスト掲載資料の最新状況を随時確認し、借り方を改訂した。依然として古い資料の状態の悪い資料も少なくないため、買い替えも進めていく。	新刊の購入もしているが、依然として古い状態の悪い資料も少なくない。買い替えも進め、分室資料のアップデートを図りたい。	引き続き古い資料の入れ替えや買い替えを進める。	中央図書館			
(2)地域における推進	⑦民間団体等における推進	ボランティア団体（北本市子ども読書推進委員会）との連携 ・書展のおはなし会 20回/166人（子ども100人、大人66人） ・子ども読書まつり ・イベント 9回/75人（子ども43人、大人32人） ・おすすめ本の展示 7月、8月/貸出319点 ・対象年齢別のブックリスト作成および改訂作業	ボランティア団体（北本市子ども読書推進委員会）との連携 ・書展のおはなし会 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ・対象年齢別のブックリスト作成および改訂作業 ・子ども読書まつり ・おすすめ本の展示 7月、8月/貸出319点 ・対象年齢別のブックリスト作成および改訂作業	ボランティア団体（北本市子ども読書推進委員会）との連携 ・書展のおはなし会（毎月第4金曜日・第2土曜日） ・協働「ふゆのおはなし会」を開催した。 ・ブックリスト（対象年齢別3種類）作成及び改訂作業と随内配布。 ・「2021 夏 この本よんで」ページをめくれば「ドキドキわくわく」リスト本展示を行った。	ボランティア団体（北本市子ども読書推進委員会）との連携 ・書展のおはなし会（毎月第4金曜日・第2土曜日） ・協働「季節のおはなし会」を開催した。 ・ブックリスト（対象年齢別3種類）作成及び改訂作業と随内配布。 ・「2022 夏 この本よんで」ページをめくれば「ドキドキわくわく」リスト本展示を行った。	行事、勉強会、ブックリストの改訂作業等、様々な場面で各団体と連携を深め、読書活動の支援を継続したい。	行事、勉強会、ブックリストの改訂作業等、様々な場面で各団体と連携を深め、読書活動の支援を継続したい。	協働おはなし会、勉強会、ブックリストの改訂作業、情報交換などの様々な場面で各団体との連携を深め、読書活動の支援とボランティアの育成を継続する。	協働おはなし会、勉強会、ブックリストの改訂作業、情報交換などの様々な場面で各団体との連携を深め、読書活動の支援とボランティアの育成を継続する。	子ども図書館			

北本市子ども読書活動推進計画に係る進捗状況調査（令和元年度から令和4年度）

節	項目	事業名	細目	令和元年度実施状況	令和2年度実施状況	令和3年度実施状況	令和4年度実施状況	令和元年 今後の課題・方向性	令和2年 今後の課題・方向性	令和3年 今後の課題・方向性	令和4年 今後の課題・方向性	担当 部署
1 家庭・地域・学校における子ども読書活動の充実		民間団体等における推進	ブックリスト作成（対象学年別3種類、配布・ホームページ掲載） 子ども読書まつり ブックトーク（3回、17名） パネル展示 リスト本展示 おはなし会 児童文学講座「言葉の翻訳、翻訳の言葉」（60名）	ブックリスト作成（対象学年別3種類、配布・ホームページ掲載） 子ども読書まつり（旧読書まつり） パネル展示 リスト本展示、貸出	ブックリスト作成、配布（対象学年別3種類、ホームページ掲載） 読書まつり「この本よんで」 パネル展示 リスト本展示、貸出	ブックリスト作成、配布（対象学年別3種類、ホームページ掲載） 読書まつり「この本よんで」 パネル展示 リスト本展示、貸出 ニントランスパネル展示 リスト本展示（貸出：107冊） 鳥・SDGs展示（貸出：60冊）	ブックリストの改訂も実施し、一部ではあるが資料の買、送えもした。今後も各団体と連携を取り、各事業を継続していきたい。	中央図書館と各分室におけるブックリスト掲載資料の所蔵状況を精査し、取りを改訂した。コロナ禍で縮小開催したこの本よんで（旧読書まつり）だが、今後も各団体と連携を取り、各事業を継続していく。	コロナ禍で縮小開催した読書まつり「この本よんで」だが、今後も各団体と連携を取り、各事業を継続していく。	前年度に引き続き縮小しての開催となった「この本よんで」だが、児童文学講座（11月開催「絵本と鳥のふしぎ」）に合わせたテーマ展示（鳥）やSDGs関連の展示が好評だった。今後も各団体と連携を取り、事業を継続していく。	中央図書館	
			民間団体等における推進	保育所で地域ボランティア団体による読み聞かせを行った。 保育所における絵本の購入時に、ブックリストを参考にした。	保育所で地域ボランティア団体による読み聞かせを行った。 保育所における絵本の購入時に、ブックリストを参考にした。	保育所で地域ボランティア団体による読み聞かせを行った。 保育所における絵本の購入時に、ブックリストを参考にした。	保育所で地域ボランティア団体による読み聞かせを行った。 保育所における絵本の購入時に、ブックリストを参考にした。	今後も地域ボランティア団体と連携し、読み聞かせ等の事業を継続する。	今後も地域ボランティア団体と連携し、読み聞かせ等の事業を継続する。	今後も地域ボランティア団体と連携し、読み聞かせ等の事業を継続する。	今後も地域ボランティア団体と連携し、読み聞かせ等の事業を継続する。	保育課
			民間団体等における推進	北本駅子育て支援センターが北本市子どもの本を楽しむ会に依頼し、年2回、絵本の読み聞かせやわらわらうた、手遊びを楽しむ行事を開催。実施回数2回 参加者数29組（41人）	北本駅子育て支援センターが北本市子どもの本を楽しむ会に依頼し、絵本の読み聞かせやわらわらうた、手遊びを楽しむ行事を開催。実施回数1回 参加者数19人	北本駅子育て支援センターが北本市子どもの本を楽しむ会に依頼し、絵本の読み聞かせやわらわらうた、手遊びを楽しむ行事を開催。実施回数2回 参加者数39人	北本駅子育て支援センターが北本市子どもの本を楽しむ会に依頼し、絵本の読み聞かせやわらわらうた、手遊びを楽しむ行事を開催。実施回数2回 参加者数31人	事業の実施を継続します。	事業の実施を継続する。	事業の実施を継続する。	事業の実施を継続する。	子育て支援課
			民間団体等における推進	「おはなし会」の実施（小学校6校中1校） 地域のボランティア団体に協力を得て、副読本等を活用し、絵本の読み聞かせや講話の語り等をする会を開催した。		実施できなかった。	実施できなかった。 （1校のみ地域ボランティア等の活動あり）	実施できなかった。 （1校のみ地域ボランティア等の活動あり）	実施できなかった。 （1校のみ地域ボランティア等の活動あり）	実施できなかった。 （1校のみ地域ボランティア等の活動あり）	通常であれば、民間団体等と連携し読み聞かせ等の活動を行っているが、感染症拡大の影響で活動機会が減少している。今後、感染症の動向を注視しながら、各校で工夫して推進していく予定である。	民間団体等と連携し読み聞かせ等の活動は、感染症拡大防止のためストップしてきたが、順次状況を見ながら復旧させていく。
3 学校等における推進	小学校・中学校における推進	保育所の図書を保護者へ貸し出した。保育所において読み聞かせを行った。	保育所の図書を保護者へ貸し出した。保育所において読み聞かせを行った。	保育所の図書を保護者へ貸し出した。保育所において読み聞かせを行った。	保育所の図書を保護者へ貸し出した。保育所において読み聞かせを行った。	実施事業を継続する。 保護者へ積極的に絵本を紹介する。	実施事業を継続する。 保護者へ積極的に絵本を紹介する。	実施事業を継続する。 保護者へ積極的に絵本を紹介する。	実施事業を継続する。 保護者へ積極的に絵本を紹介する。	実施事業を継続する。 保護者へ積極的に絵本を紹介する。	実施事業を継続する。 保護者へ積極的に絵本を紹介する。	保育課
		「図書や読書に関する全校集会」（12校すべて）おすすり本の紹介や貸出冊数の発表、表彰等の啓発活動の実施した。 「副読本」（12校すべて） 「調べ学習」すべての学校において学校図書を読ませる学習で活用した。		読書に関する全校集会を行い、読書に関する啓発を行った。（2校） 読書を推進する催し物を行った。（5校） 掲示物等を作成し推進した。（5校） 児童生徒、教職員、学校応援団等が読み聞かせを行った。（4校） 副読本の時間を設け読書推進を行った。（4校） 授業内で学校図書を利用し、本に触れる機会を設けた。（5校）	読書に関する全校集会を行い、読書に関する啓発を行った。（2校） 読書を推進する催し物を行った。（5校） 掲示物等を作成し推進した。（5校） 児童生徒、教職員、学校応援団等が読み聞かせを行った。（4校） 副読本の時間を設け読書推進を行った。（4校） 授業内で学校図書を利用し、本に触れる機会を設けた。（5校）	学校によって集金の回数異なるが、読書活動の啓発は継続する。 副読本は短時間ではあるが、読書を習得するためには必要な活動であるため各校で実施できるようにする。 学校図書を身近に感じるためにも、調べ学習での積極的な活用を努めていく。	感染症拡大防止が最重要課題となる中、可能な限り推進活動を行った。今後も感染症拡大防止対策を講じながら推進していく予定である。	リモート等、各校で工夫を凝らした取組を生かし、今後は徐々に対面での活動を増やしながら読書の充実を図っていく。	学校教育課			
4 市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力	市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力	市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力	学校との連携 放課後子ども教室等への出前おはなし会（7回/175人（子ども141人、大人34人）） 学校図書との連携 「令和元年度第1回図書指導員研修会」講師派遣 民間団体等との連携 子ども文庫、コミュニティ青少年部会共催行事等への出前おはなし会（2回/64人（子ども36人、大人28人））	学校との連携 放課後子ども教室等への出前おはなし会 学校図書との連携 令和2年度は講師の依頼なし。 民間団体等との連携 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度はおはなし会の連携はなし。	小学校の生活科見学（11回/36人） 学校との連携 石戸小学校放課後子ども教室への出前おはなし会の協力をした。 学校図書との連携 令和3年度第1回図書指導員研修会で講師として講演した。 民間団体との連携 「北本市子ども文庫連絡会」「北本市子どもの本を楽しむ会」と協働で「ふゆのおはなし会」を開催した。 中央図書館との連携 「図書館を使った読める学習コンクール」の協力、ボランティア団体「北本市子ども文庫連絡会」「北本市子どもの本を楽しむ会」と協働事業「2021 夏のこの本よんで～ページをめぐれば ドキドキわくわく～」で展示を行った。 地域の子育て支援サロンは新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止となった。	小学校の生活科見学（10回/168人） 学校との連携 石戸小学校放課後子ども教室への出前おはなし会の協力をした。 学校図書との連携 令和4年度第1回図書指導員研修会で講師として講演した。 民間団体との連携 「北本市子ども文庫連絡会」「北本市子どもの本を楽しむ会」と協働で「季節のおはなし会」を開催した。 中央図書館との連携 「図書館を使った読める学習コンクール」の協力、ボランティア団体「北本市子ども文庫連絡会」「北本市子どもの本を楽しむ会」と協働事業「2022 夏のこの本よんで～ページをめぐれば ドキドキわくわく～」で展示を行った。	市立の各図書館・学校および学校図書・ボランティア団体等の連携を深め、子どもたちのより良い読書体験づくりを目指す。	市立の各図書館・学校および学校図書・ボランティア団体等の連携を深め、子どもたちのより良い読書体験づくりを目指す。	小学校以外の施設見学を受け入れる。 石戸小学校放課後子ども教室へ出前おはなし会の協力（6回/年）を行う。 令和4年度第1回図書指導員研修会の講師として学校図書に協力する。 地域の子育て支援サロンで出張おはなし会の協力をする。 中央図書館とボランティア団体「北本市子ども文庫連絡会」「北本市子どもの本を楽しむ会」と協働で「2023 夏のこの本よんで～ページをめぐれば ドキドキわくわく～」事業で展示、おはなし会と読み聞かせなどを行い、読書の紹介と読書推進を図る。	小学校以外の施設見学を受け入れる。 石戸小学校放課後子ども教室へ出前おはなし会の協力（6回/年）を行う。 令和4年度第1回図書指導員研修会の講師として学校図書に協力する。 地域の子育て支援サロンで出張おはなし会の協力をする。 中央図書館とボランティア団体「北本市子ども文庫連絡会」「北本市子どもの本を楽しむ会」と協働で「2023 夏のこの本よんで～ページをめぐれば ドキドキわくわく～」事業で展示、おはなし会と読み聞かせなどを行い、読書の紹介と読書推進を図る。	市立各図書館	
		市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力	読める学習コンクール（応募作品：21作品、全国に2作品を推薦） 小学校施設見学（2回、157名） 中学校団体貸出（80回、167冊） 埼玉県の高校司書が進んだイデオシ本展示 ブックリスト作成（対象学年別3種類、配布・ホームページ掲載） 子ども読書まつり ブックトーク（3回、17名） パネル展示 リスト本展示 おはなし会 児童文学講座「言葉の翻訳、翻訳の言葉」（60名）	読める学習コンクール（応募作品：9作品、全国に2作品を推薦） 小学校施設見学（3回、207名） 中学校団体貸出（106回、439冊） 埼玉県の高校司書が進んだイデオシ本展示 ブックリスト作成（対象学年別3種類、配布・ホームページ掲載） 子ども読書まつり ブックトーク（3回、17名） パネル展示 リスト本展示、貸出	読める学習コンクール（応募作品：33作品、全国コンクール優良賞：1作品） 小学校施設見学（3回、210名） 中学校団体貸出（96回、260冊） 埼玉県の高校司書が進んだイデオシ本展示 ブックリスト作成、配布（対象学年別3種類、ホームページ掲載） 読書まつり「この本よんで」 パネル展示 リスト本展示、貸出 第37回児童文学講座	読める学習コンクール（応募作品：42作品、全国コンクール：2作品） 小学校施設見学（2回、109名） 中学校団体貸出（80回、193冊） 埼玉県の高校司書が進んだイデオシ本展示 ブックリスト作成、配布（対象学年別3種類、ホームページ掲載） 読書まつり「この本よんで」 ニントランスパネル展示 リスト本展示（貸出：107冊） 鳥・SDGs展示（貸出：60冊） 第38回児童文学講座（参加者数：17名）	読める学習コンクールは全国コンクール優良賞受賞者が出たこともあり、今後も継続的に参加を呼びかけたい。 図書館に興味を持ってもらうため、図書館に興味を持ってもらうためのブックトークなど実施できればと思う。	多くのイベントや行事の規模の縮小、変更、中止が余儀なくされた。今後のウィズコロナ、アフターコロナの生活様式に即したイベントや行事の開催を目指し、各学校・団体との協力を継続していく。	読書まつりや児童文学講座などのイベントが再開できるようになった。今後も各学校、団体との協力を継続していく。	中央図書館		
		市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力	市立図書館と連携し、図書館見学や図書の貸し出しを行った。	市立図書館と連携し、図書館見学や図書の貸し出しを行った。	市立図書館と連携し、図書館見学や図書の貸し出しを行った。	市立図書館と連携し、図書館見学や図書の貸し出しを行った。	今後も市立図書館と連携し、図書館の蔵書を活用した事業を継続する。	今後も市立図書館と連携し、図書館の蔵書を活用した事業を継続する。	今後も市立図書館と連携し、図書館の蔵書を活用した事業を継続する。	今後も市立図書館と連携し、図書館の蔵書を活用した事業を継続する。	今後も市立図書館と連携し、図書館の蔵書を活用した事業を継続する。	保育課

北本市子ども読書活動推進計画に係る進捗状況調査（令和元年度から令和4年度）

節	項目	事業名	細目	令和元年度実施状況	令和2年度実施状況	令和3年度実施状況	令和4年度実施状況	令和元年 今後の課題・方向性	令和2年 今後の課題・方向性	令和3年 今後の課題・方向性	令和4年 今後の課題・方向性	担当 部署
		市立の各図書館・学校等・民間団体等の連携・協力		・子どもの読書活動を推進するために、市立図書館、小・中学校、地域のボランティア団体がそれぞれ役割を担って、相互の連携、協力を図った。 ・調べ学習、図書館見学、学校図書館指導員研修会、放課後子ども教室等で連携を図った。 ・地域のボランティア団体が小学校で本の読み聞かせを実施した。	・学校図書館指導員研修会において子ども図書館長を講師として招き、コロナ禍における図書館運営等の研修を実施した。	・学校図書館指導員研修会において子ども図書館長を講師として招き、「これからの学校図書館運営」について研修を実施した。 ・市立図書館の図書資料を活用した。(7校) ・生徒が部活動の一環で市立図書館へ図書資料を借りに行った。(1校)	・市内小学校全校で、市立図書館の図書資料を活用した。特に、社会的な学習の時間や社会科等の教科の調べ学習で市立図書館から本を借りた。 ・小学校低学年の生活科「まじたんけん」にて、教職員と児童が市立図書館に赴き、公共施設のまじたんけん図書の仕事について学んだ。	・相互の連携で生み出せる効果的な活動を推進し、更に子どもの読書活動を推進していった。 ・小学校の集客に応じて、地域のボランティア団体との読み聞かせ活動を継続していく。	・今後も市立図書館と連携し、学校図書館の充実を図る。	・感染症拡大防止の観点から他所との連携の機会が減少したが、今後も各学校、市立図書館、民間団体等の連携の充実を図る予定である。	・今後も各学校、市立図書館、民間団体等の連携の充実を図る予定である。	学校 教育課
		①資料の整備・充実	ア 子ども図書館	・子育て支援の資料(1,575点) 衣食住、健康、成長等多岐に渡る件名の選書。 ・児童書(25,428点) 年齢を考慮した選書、発行年にとらわれない良書の選定、英語の本等の選書。 ・雑誌の充実、子育て支援情報誌(18タイトル)、子ども向け雑誌(8タイトル)、子ども向け雑誌(8タイトル)。 ・その他の資料の充実 紙芝居(813点)、CD(245点)	・子育て支援の資料(1,596点) 衣食住、健康、成長等多岐に渡る件名の選書。 ・児童書(26,448点) 年齢を考慮した選書、発行年にとらわれない良書の選定、英語の本等の選書。 ・雑誌の充実、子育て支援情報誌(18タイトル)、子ども向け雑誌(8タイトル)。 ・その他の資料の充実 紙芝居(833点)、CD(352点)	・子育て支援の図書資料(2,000冊)は衣食住、健康、成長等多岐にわたる件名の選書を行った。 ・児童書(27,809冊)は年齢を考慮した選書、発行年にとらわれない良書の選定、英語の本等の選書を行った。 ・雑誌の充実、子育て支援雑誌(18タイトル)、子ども向け雑誌(8タイトル)。 ・その他の資料の充実 紙芝居(943点)、CD(367点)	・子育て支援の図書資料(2,184冊) 児童書(28,483冊) ・雑誌の充実、子育て支援雑誌(18タイトル)、子ども向け雑誌(8タイトル)。 ・その他の資料の充実 紙芝居(997点)、CD(386点)	子育て支援の本・雑誌の充実を図り、親子のリピーターを増やす。良書に出会いきっかけを作る資料の整備・充実を心がける。	子育て支援の本・雑誌の充実を図り、親子のリピーターを増やす。良書に出会いきっかけを作る資料の整備・充実を心がける。	・小学生(主に3年生位まで)の学習単元に合った選書と年齢に相応しい読み物を充実させる。幼児期に必要な良書を選定し充実を図る。親子で楽しめる内容の本や子育てに悩む親の助けになるような資料を収集し、子育て支援を促進する。 ・電子書籍コンテンツの充実を図り、子どもが電子図書館を活発に利用できるようにする。(令和4年度は199点受入)	・小学生(主に3年生位まで)の学習単元に合った選書と年齢に相応しい読み物を充実させる。幼児期に必要な良書を選定し充実を図る。親子で楽しめる内容の本や子育てに悩む親の助けになるような資料を収集し、子育て支援を促進する。 ・電子書籍コンテンツの充実を図り、子どもが電子図書館を活発に利用できるようにする。(令和4年度は199点受入)	子ども 図書館
		①資料の整備・充実	イ 中央図書館	・中央図書館児童書蔵書数：19,326冊 ・ヤングアダルトコーナー(常設展示：70冊/月別テーマ展示：10～15冊、506冊)	・中央図書館児童書蔵書数：19,790冊 ・YAコーナー展示(常設展示：25冊/月別テーマ展示：60～70冊、貸出：1,314冊)	・中央図書館児童書蔵書数：20,639冊 ・YAコーナー展示(リスト展示：10冊/月別テーマ展示：70～100冊、貸出：905冊)	・中央図書館児童書蔵書数：21,210冊 ・YAコーナー展示(貸出：1,673冊)	新しいものだけでなく、広く子どもたちの読書活動や調べ学習に役立つ資料の把握、収集に努めたい。	新しいものだけでなく、広く子どもたちの読書活動や調べ学習に役立つ資料の把握、収集に努める。	新しいものだけでなく、広く子どもたちの読書活動や調べ学習に役立つ資料の把握、収集に引き続き努める。	新しいものだけでなく、広く子どもたちの読書活動や調べ学習に役立つ資料の把握、収集に引き続き努める。	中央 図書館
	(1)市立の各図書館の整備・充実	②設備等の整備・充実	ア 子ども図書館	乳幼児と保護者が安心して本に親しめる場所。乳幼児も小学生も共に利用しやすい空間の提供に努めた。	乳幼児と保護者が安心して本に親しめる場所。乳幼児も小学生も共に利用しやすい空間の提供に努めた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めた。 自動貸出機、ICゲート導入。	・おはなし会に使用するスペース「おはなしのひろば」のレイアウト変更を行い、子どもたちが安心して読み聞かせを楽しめるようにした。 ・4月1日から自動貸出機とICゲートの導入。11月1日から電子図書館の導入をし、利用者の利便性、利便性のサービスの向上に努めた。	・未所蔵本のリクエストの申請が出来るフォームを図書館ホームページに実装	利用者のニーズを考慮し、利用環境を整える。	利用者のニーズを考慮し、利用環境を整える。 コロナ対策を万全にし、子どもたちが安心・安全に利用できる環境を目指す。	・利用者が安全で快適に利用できるよう、自動貸出機の利用と電子図書館の利用を促進する。 ・今年度から北本市民はメールで未所蔵本のリクエストができるようになった。利用を促進する。	・利用者が安全で快適に利用できるよう、自動貸出機の利用と電子図書館の利用を促進する。	子ども 図書館
		②設備等の整備・充実	イ 中央図書館	・学習席の利用を2時間毎の時間制、席指定にすることで、これまでより多くの方が利用できるようになり、利用者同士のトラブルも減った。	・自動貸出機、ICゲート導入のため各図書にICタグ貼付を行った。	・電子図書館の導入。(2021年11月)	学習コーナー(YA特設読書席)にYA掲示板、YAポストを設置し、特設読書コーナーを設置し、目録が気になることなどの募集を始めた。	今後も子どもたちに、安心・安全な利用環境の整備に努めていきたい。	今後も利用者の利便性を高めるため、ニーズを把握し環境を整えることに努める。	電子図書館の利用促進、利用継続につながる取組の構築に努める。	時事や生活のことについて読書が興味、関心から回答として、小冊子やおすすめ本の紹介などとした。設置初年度から反応があったので、今後も展示などを進めて13世代へのアプローチを続けていきたい。	中央 図書館
		③図書館職員研修等の充実(市立図書館)		・後半、おはなし会に関する研修(毎月、全職員) 読書活動推進講座(4回、2人) ・協議会 メディアにむしばまれる子どもたち(1回、1人) 児童文学講座「言葉の翻訳、翻訳の言葉」(1回、2人)	・子どもの発達等に関する研修(2回、6人) ・読書活動推進講座(4回、25人) ・協議会 「人権・同和問題の解決に向けて」1人 「図書館サービスと著作権」(オンライン配信) 11人	・内部研修を28回/72人受講した。 ・図書館業務全般研修、個人情報保護研修、新任責任者研修、読み聞かせ研修、おはなし会研修、電子図書館サービス研修等。 ・外部研修を20回、23人受講した。 ・読書推進講座、児童サービス研修会、参考図書研修会、図書館中級職員研修会、読書のバリアフリー研修、読み聞かせボランティア養成講座、人権啓発推進研修会、児童文学講座等。	・内部研修 20回 ・図書館業務全般研修、個人情報保護研修、読み聞かせ研修、おはなし会研修、電子図書館サービス研修等。 ・外部研修 18回 ・読書推進講座、児童サービス研修会、参考図書研修会、図書館中級職員研修会、読書のバリアフリー研修、読み聞かせボランティア養成講座、応答者サービス研修	研修、協議会への参加を継続したい。学んだ内容については職員間で共有できる体制を整え、図書館員のスキルアップに努めていく。	研修、協議会への参加を継続したい。学んだ内容については職員間で共有できる体制を整え、図書館員のスキルアップに努めていく。	・内部研修では課題解決に向けた内容で図書館員としての向上を図る。オンライン研修は特に積極的に受講していく。 ・埼玉県図書館協会主催の研修、その他の外部研修の受講を積極的に継続し、職員間で共有する。職員会員のスキルアップを図る。	・内部研修では課題解決に向けた内容で図書館員としての向上を図る。オンライン研修は特に積極的に受講していく。 ・埼玉県図書館協会主催の研修、その他の外部研修の受講を積極的に継続し、職員間で共有する。職員会員のスキルアップを図る。	子ども 図書館
	2子ども読書活動の推進するための環境の整備・充実	③図書館職員研修等の充実(市立図書館)		・児童サービス研修会(2回、1名) ・ヤングアダルトサービス研修会(1回、1名)	・児童サービス研修会(2回、1名)	・オンライン研修を受講した。 児童サービス 児童文学講座 多文化サービス レファレンス研修 など	・オンライン研修を受講した。 調べ学習支援 多文化サービス 広域物作成 ほか ・県立図書館研修を受講した。 参考図書研修会	研修への参加を継続したい。また、参加した研修内容など、学んだ知識や技術をスタッフ間で共有できる環境づくりを努めたい。	研修への参加を継続したい。また、参加した研修内容など、学んだ知識や技術をスタッフ間で共有できる環境づくりを努めたい。	今後も各種研修を通じてスキルアップに努める。	今後も各種研修を通じてスキルアップに努める。	中央 図書館
	(2)学校図書館の整備・充実	①図書資料の整備・充実		・学校ごとに図書の新規購入や整理等を行い、課題の自立解決に役立つ資料、調べ学習等で不足している資料、興味をひく図書等の購入に努めた。 ・学校図書館図書標準を達成している学校は、小学校は6校中3校、中学校は4校中0校と少ない状況であったが、小学校5校中4校で中学校4校中4校で充足率が80%を超えている。		・各校において適切かつ定期的に図書資料を購入し、図書資料の充実を図った。 ・蔵書数が「学校図書館図書標準」を達成している学校は11校中8校であった。 ・各校において計画的に新規購入や廃棄を実施した。	・各校において適切かつ定期的に図書資料を購入し、図書資料の充実を図った。 ・蔵書数が「学校図書館図書標準」を達成している学校は11校中6校であった。 ・各校において計画的に新規購入や廃棄を実施した。	・予算を適切に活用し、学校図書館図書標準を満たす学校を増やすため、学校ごとの対応を検討していく。		・「学校図書館図書標準」については基準に達するよう改善すべき課題であり、計画的な図書資料の新規購入と廃棄を行う必要がある。この点について、各校の学校図書館指導員を中心に積極的に進めているので、今後も図書資料の整備・充実に向けて推進していく予定である。	・「学校図書館図書標準」については、前年度より達成率が1校増とはなったが、基準に達するよう改善すべき課題であり、計画的な図書資料の新規購入と廃棄を行う必要がある。この点について、各校の学校図書館指導員を中心に積極的に進めているので、今後も図書資料の整備・充実に向けて推進していく予定である。	学校 教育課
		②設備・環境の整備・充実		・すべての小・中学校において、学校図書館の室内掲示の工夫、季節ものの飾り付け、おすすめ本のポップ作り、学年に合わせた本の紹介ポスター等取り組んだ。	・掲示物・表示等の工夫、配架の工夫等を行い、児童生徒が来室しやすいよう環境整備を行った。	・児童・生徒や教職員が選んだ本とその児童自らポップを作成し、掲示した。 ・テーマに合わせた本を薦め、展示した。 ・小学校では、児童の目線の高さに展示した。 ・時季に合わせた掲示物の作成、掲示を行った。	・学校図書館指導員や司書教諭間で、各小・中学校での得意な取組を共有する機会が設けられるように検討していきたい。	・掲示物・表示等の工夫について各校で力を入れて行っている。今後も環境の整備・充実に向けて推進していく予定である。	・掲示物・表示等の工夫について各校で力を入れて行っている。今後も環境の整備・充実に向けて推進していく予定である。	学校 教育課		

北本市子ども読書活動推進計画に係る進捗状況調査（令和元年度から令和4年度）

節	項目	事業名	細目	令和元年度実施状況	令和2年度実施状況	令和3年度実施状況	令和4年度実施状況	令和元年 今後の課題・方向性	令和2年 今後の課題・方向性	令和3年 今後の課題・方向性	令和4年 今後の課題・方向性	担当 部署
(3) 学校図書館の活用を充実していくための人的配置の推進	① 司書教諭の配置			・司書教諭は、12学級以上（特別支援学級を含む）の公立学校に置くことが学校図書館法で定められており、本市では、司書教諭を置く義務があるのは、11校だが、11校に司書教諭を配置し、学校図書館の充実に努めた。	・司書教諭は、12学級以上（特別支援学級を含む）の公立学校に置くことが学校図書館法で定められており、本市では、司書教諭を置く義務があるのは、9校だが、10校に司書教諭を配置し、学校図書館の充実に努めた。	・司書教諭は、12学級以上（特別支援学級を含む）の公立学校に置くことが学校図書館法で定められており、本市では、司書教諭を置く義務があるのは、9校だが、10校に司書教諭を配置し、学校図書館の充実に努めた。	・司書教諭は、12学級以上（特別支援学級を含む）の公立学校に置くことが学校図書館法で定められており、本市では、司書教諭を置く義務があるのは、9校だが、10校に司書教諭を配置し、学校図書館の充実に努めた。	・引き続き、司書教諭の配置を適切に行い、学校図書館の充実に努める。	・引き続き、司書教諭の配置を適切に行い、学校図書館の充実に努める。	・引き続き、司書教諭の配置を適切に行い、学校図書館の充実に努める。	・引き続き、司書教諭の配置を適切に行い、学校図書館の充実に努める。	学校教育課
				・各学級に1名の学校図書館指導員を配置し、今年度は勤務日数を3日に増やした。司書教諭や学校図書館教育主任の補助、児童生徒のリクエスト対応、団体貸出、調べ学習対応、季節の掲示等を行い、学校図書館の充実に努めた。	・各学級に1名の学校図書館指導員を配置し、連日勤務している。司書教諭や学校図書館担当と連携し、図書館の整備、活用の推進を行った。	・各学級に1名の学校図書館指導員を配置し、連日勤務している。司書教諭や学校図書館担当と連携し、図書館の整備、活用の推進を行った。	・各学級に1名の学校図書館指導員を配置し、連日勤務している。司書教諭や学校図書館担当と連携し、図書館の整備、活用の推進を行った。	・引き続き、学校図書館指導員を配置し、より専門性を高めるためにも、計画的に研修等を実施していきたい。	・引き続き、学校図書館指導員の配置を配置し、学校図書館の充実に努める。	・引き続き、学校図書館指導員の配置を配置し、学校図書館活用の充実に努める。	・引き続き、学校図書館指導員の配置を配置し、学校図書館活用の充実に努める。	学校教育課
	② 学校図書館指導員の配置			・掲示物の拡大やき分け、イラストなどで興味をひくように工夫を図ったり、本を手にとりやすいように配架の高さへの配慮等、工夫を図った。		・案内掲示や表示等を分かりやすくした。 ・新聞閲覧台の高さを工夫した。 ・リーディングトラッカーを導入し活用した。 ・手で触る絵本等を購入した。	・案内掲示や表示等を分かりやすくした。 ・配架する高さを工夫した。 ・車いすでも自由に動かせる書架の配置を工夫した。 ・リーディングトラッカーを活用した。 ・文字の大きさや絵図等の多い本の選定をした。 ・特別支援学級用のパンフレットを作成した。	・すべての学校において、障がいのある子どものための配架の工夫等に引き続き努める。		・様々な視点から各校が工夫をしているので、今後も整備の充実に推進していく。	・様々な視点から各校が工夫をしているので、今後も整備の充実に推進していく。	学校教育課
(4) 障がいのある子どもたちの読書活動の整備・充実												
(4) 「子ども読書の日」を中心とした読書・広報	① 子ども図書館			子ども読書の日、子どもの読書週間行事 おはなし会等 3回/25人（子ども15人、大人10人） ブックトーク 2回/10人（子ども6人、大人4人） クイズラリー 1回/44人（子ども38人、大人6人） 子どもの読書週間おすすめ本の展示（4・17～5・12）貸出125点	・子ども読書の日、子どもの読書週間行事 おはなし会・ブックトーク・クイズラリーは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・子どもの読書週間おすすめ本の展示 ・臨時休館中につき貸出は0冊	ボランティア団体「北本市子どもの本を楽しむ会」「北本市子ども文庫連絡会」と協働で年齢にあわせた4種類のブックリストの作成・改訂・配布を実施、良書の普及に努めた。 ・子どもと親しむに（ブックスタート向け） ・このほんよんでⅠ（赤ちゃん＆小さい子から小学3年生くらいまで） ・このほんよんでⅡ（小学3年生くらいから小学5年生くらい） ・このほんよんでⅢ（中学生から大人） ・おすすめの本展示・テーマ別企画・特展展示 56回実施 貸出冊数 5,507冊 ・読書感想文課題図書等の展示 ・ブックリストの本の展示（2021 夏 このほんよんでページをめくれば ドキドキわくわく〜）貸出冊数1,377冊 ・おはなし会・ブックトーク等は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・図書館日より（毎月発行 おすすめ本の紹介） ・HP（毎月掲載）	ボランティア団体「北本市子どもの本を楽しむ会」「北本市子ども文庫連絡会」と協働で年齢にあわせた4種類のブックリストの作成・改訂・配布を実施、良書の普及に努めた。 ・子どもと親しむに（ブックスタート向け） ・このほんよんでⅠ（赤ちゃん＆小さい子から小学3年生くらいまで） ・このほんよんでⅡ（小学3年生くらいから小学5年生くらい） ・このほんよんでⅢ（中学生から大人） ・おすすめの本展示・テーマ別企画・特展展示 56回実施 貸出冊数 5,315冊 ・読書感想文課題図書等の展示 ・ブックリストの本の展示（2022 夏 このほんよんでページをめくれば ドキドキわくわく〜）貸出冊数1,200冊 ・このほんよんで ブックトークとおはなし会（ボランティア団体と協働で開催） ・図書館日より（毎月発行 おすすめ本の紹介） ・HP（毎月掲載）	児童・長期休暇等に生きざらず、図書館や本に興味を持ってもらえるようなイベントを工夫する。	児童・長期休暇等に生きざらず、図書館や本に興味を持ってもらえるようなイベントを工夫する。	ボランティア団体「北本市子どもの本を楽しむ会」「北本市子ども文庫連絡会」と協働し、継続しておはなし会やブックリストを紹介していく。子どもが良書を手にとる機会を増やすため、楽しいイベント・展示・配布物・ホームページ等の異なる媒体を活用し、子どもたちが「お気に入りの1冊」にめぐり会えるきっかけづくりをする。	ボランティア団体「北本市子どもの本を楽しむ会」「北本市子ども文庫連絡会」と協働し、継続しておはなし会やブックリストを紹介していく。子どもが良書を手にとる機会を増やすため、楽しいイベント・展示・配布物・ホームページ等の異なる媒体を活用し、子どもたちが「お気に入りの1冊」にめぐり会えるきっかけづくりをする。	中央図書館
		② 中央図書館			・読書まつり（ブックトーク、パネル展示、リスト本展示、おはなし会） ・図書館日より（毎月発行、リクエストランキング） ・図書館ニュース（巻頭発行、新刊情報）	・このほんよんで（旧読書まつり）パネル展示 リスト本展示、貸出 ・図書館日より（毎月発行、リクエストランキング） ・図書館ニュース（巻頭発行、新刊情報）	・読書まつり「このほんよんで」パネル展示 リスト本展示、貸出 ・図書館日より（毎月発行、リクエストランキング） ・YAリスト「OPEN THE DOOR」の作成、配布（単4回、配布：127部）	・読書まつり「このほんよんで」パネル展示 リスト本展示（貸出：107冊） ・SDGs展示（貸出：60冊） ・図書館日より（毎月発行） ・YA向けブックリスト「OPEN THE DOOR」の作成、配布（単4回、配布：156部）	児童を対象とした広報が少なく、児童（ヤングアダルト）に向けた情報発信が必要。	2021年6月より、YA向けブックリストの発行（単4回）を開始した。今後も利用につながる情報発信をできるような努める。	YA向けブックリストをはじめ、図書館の発行（単4回）を増やした。今後も利用につながる情報発信をできるような各所と協力していきたい。	中央図書館
	③ 小・中学校				・すべての小・中学校でポスターの掲示や各種の活用、読書啓発のためのイベント、校内放送での周知等の取組を行い、「子ども読書の日」に関連した啓発や広報活動を行った。		・ポスター、図書日より、放送等で読書啓発活動を行った。 ・児童生徒・教職員による推奨図書の紹介を行った。 ・学校図書館でのイベントを行った。	・ポスター、図書日より、放送等で読書啓発活動を行った。 ・児童生徒・教職員による推奨図書の紹介を行った。 ・学校図書館でのイベントを行った（読書かるた、貸し出し本の配布、）。	・読書啓発、おすすめ本紹介、ポスター掲示等、引き続き読書活動を推進していく。		・感染症拡大防止策を講じながら、各校において様々な推進活動を行っている。今後も継続的に読書活動を推進していく。	・今後も各校の実態に応じて、継続的に読書活動を推進していく。
3 子どもの読書活動に関する取組												

北本市子ども読書活動推進計画に係る進捗状況調査（令和元年度から令和4年度）

節	項目	事業名	細目	令和元年度実施状況	令和2年度実施状況	令和3年度実施状況	令和4年度実施状況	令和元年 今後の課題・方向性	令和2年 今後の課題・方向性	令和3年 今後の課題・方向性	令和4年 今後の課題・方向性	担当 部署	
②優良な 図書	①子ども図書館			<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体「北本市子どもの本を楽しむ会」/北本市子ども文庫連絡会)と協働で年齢にあわせた4種類のブックリストの作成・改訂・配布を実施。良書の普及に努めた。 子どもと親しむに「ブックスタート」向け このほんよんでⅠ(赤ちゃん&小さい子から小学3年生くらいまで) このほんよんでⅡ(小学3年生くらい〜小学5年生くらい) このほんよんでⅢ(中学生から大人) おすすめ本の展示…貸出 14回/貸出 5,111点 テーマ別企画 特異展示等 読書感想文課題図書等の展示 ブックリストの本の展示(子ども読書まつり) おはなし会・ブックトーク等の開催 図書誌より(毎月発行)おすすめ本の紹介 HP(毎月掲載) 新書本からのおすすめ 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア団体「北本市子どもの本を楽しむ会」/北本市子ども文庫連絡会)と協働で年齢にあわせた4種類のブックリストの作成・改訂・配布を実施。良書の普及に努めた。 子どもと親しむに「ブックスタート」向け このほんよんでⅠ(赤ちゃん&小さい子から小学3年生くらいまで) このほんよんでⅡ(小学3年生くらい〜小学5年生くらい) このほんよんでⅢ(中学生から大人) おすすめの本展示…1回実施/貸出 5,627点 テーマ別企画・特異展示 読書感想文課題図書等の展示 ブックリストの本の展示(子ども読書まつり) おはなし会・ブックトーク等の開催 新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止 図書誌より(毎月発行)おすすめ本の紹介 HP(毎月掲載) 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、子ども読書の日おはなし会は中止した。 子どもの読書週間にはおすすめ本の展示(23〜5.12)を行った。この展示の貸出冊数は110冊であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書週間にはおすすめ本の展示(4.23〜5.12)と、ボランティア団体と協働で年齢のおはなし会を開催した。 6月中旬から8月末まで、読書感想文の課題図書を表示。167冊の貸出があった。 	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会等で、リスト本を取り上げるなど、実際に本を手にとる機会の提供を心がけた。HP、配布物、行事等、異なる媒体を利用して、子どもたちが「この1冊」にめぐり合うきっかけづくりをめざしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> おはなし会でリスト本を取り上げるなど、実際に本を手にとる機会の提供を心がけた。HP、配布物、行事等、異なる媒体を利用して、子どもたちが「この1冊」にめぐりあうきっかけづくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月23日の子ども読書の日、ボランティア団体「北本市子どもの本を楽しむ会」/「北本市子ども文庫連絡会」と協働で「子ども読書の日おはなし会」を開催する。ストーリーテリング・手袋シアター・ブックトーク・大型絵本の読み聞かせ等、子どもが興味を持つようにプログラムを作成し、読書への興味を啓発する。事前に館内ポスターやチラシ、図書館ホームページ、指定管理者のポータルサイトとインスタグラムで広報する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども読書の日、ボランティア団体と協働で「子ども読書の日おはなし会」を開催する。ストーリーテリング・手袋シアター・ブックトーク・大型絵本の読み聞かせ等、子どもが興味を持つようにプログラムを作成し、読書への興味を啓発する。事前に館内ポスターやチラシ、図書館ホームページ、指定管理者のポータルサイトとインスタグラムで広報する。 	子ども図書館	
				②中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> 推薦図書・課題図書展示 リスト本コーナー(貸出216冊) 埼玉県高校の司書が進んだイテオン本展示 	<ul style="list-style-type: none"> 推薦図書、課題図書展示 リスト本コーナー(貸出453冊) 埼玉県高校の司書が進んだイテオン本展示 YAコーナー展示(書架展示:25冊/月別テーマ展示:60〜70冊、貸出1,314冊) 	<ul style="list-style-type: none"> 推薦図書、課題図書展示 リスト本コーナー(貸出:546冊) 埼玉県高校の司書が進んだイテオン本展示 YAコーナー展示(リスト展示:10冊/月別テーマ展示:70〜100冊、貸出:905冊) YAリスト「OPEN THE DOOR」の作成、配布(年4回、配布:127部) 	<ul style="list-style-type: none"> 推薦図書、課題図書展示 リスト本コーナー(貸出:440冊) 埼玉県高校の司書が進んだイテオン本展示 YAコーナー展示(貸出:1,673冊) YAリスト「OPEN THE DOOR」の作成、配布(年4回、配布:186部) 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も推薦図書・課題図書の展示紹介、中高生(ヤングアダルト)向けの良書を体系的に展示、紹介していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 2021年6月より、YA向けブックリストの発行(年4回)を開始した。今後も推薦図書・課題図書の展示紹介、中高生(YA)向けの良書を体系的に展示、紹介していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年より作成、配布を開始したYAリストについて、利用者からも好評を頂いており、高校司書のイテオン本なども併せ、今後もYA世代の利用促進を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> YAコーナーの貸出数が昨年度の約1.5倍に増え、学習コーナーを利用する中高生にも認知されるようになってきた。ブックリストの配布も好評なため、他の図書館の取り組み等も参考にしつつ、より多くのYA世代にアプローチできるようにしたい。 	中央図書館
				③小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> すべての小・中学校で、優良な図書の普及のための展示や紹介等の取組を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 優良図書の紹介コーナーの設置や図書誌よりでの紹介を行った。 優良図書を用いた校内移動図書館を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、優良図書の普及のために、ポップ作りや本の紹介等の取組を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 各校で様々な工夫をしているので、情報共有し各校の異なる取組の推進を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 各校で様々な工夫をしているので、情報共有し各校の異なる取組の推進を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 各校で様々な工夫をしているので、情報共有し各校の異なる取組の推進を行っていく。 	学校教育課	

北本市図書館協議会委員名簿

No	氏名	選出区分	備考
1	安田 一也	北本市小中学校校長会 (1号委員)	
2	大野 弥生子	社会教育委員の会議 (1号委員)	
3	森川 和代	文化団体連合会 (1号委員)	
4	福島 達雄	PTA 連合会 (2号委員)	
5	かねこ ともこ 金子 友子	学識経験者 (3号委員)	
6	ながの きょうこ 永野 京子	学識経験者 (3号委員)	
7	おざき みつえ 尾崎 美津枝	学識経験者 (3号委員)	
8	よひやま きよみ 米山 清美	学識経験者 (3号委員)	

任期:令和5年7月1日～令和7年6月30日

○北本市図書館協議会規則

平成 26 年 12 月 25 日

教委規則第 10 号

北本市立図書館協議会規則（昭和 58 年教委規則第 1 号）の全部を改正する。

（趣旨）

第 1 条 この規則は、北本市執行機関の附属機関に関する条例（昭和 56 年条例第 26 号）第 3 条の規定に基づき、北本市図書館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（組織）

第 2 条 協議会は、委員 10 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから北本市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- （1） 学校教育及び社会教育の関係者
- （2） 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- （3） 学識経験者

（任期）

第 3 条 委員の任期は、2 年とし、再任されることを妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第 4 条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 協議会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、教育委員会生涯学習課において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成27年1月1日から施行する。